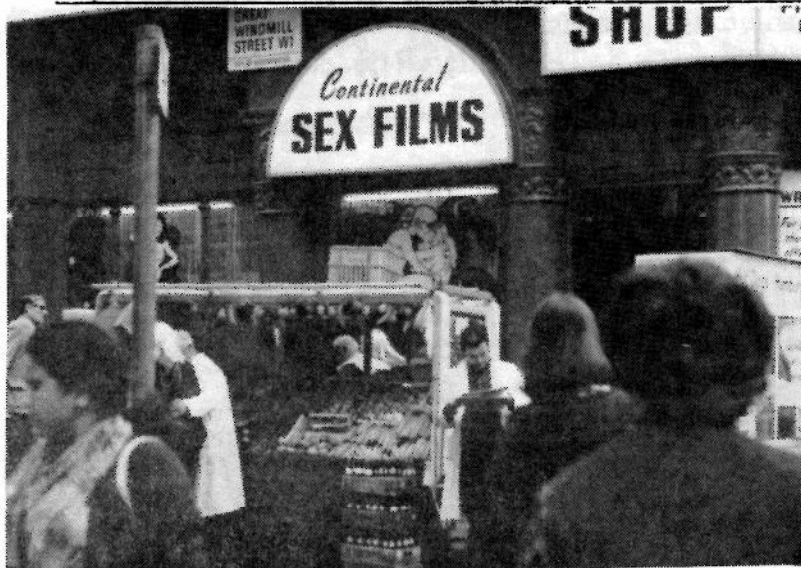


VERDA MONTETO

Redaktita ĉe MAEDA Yonemi (dumonata) N-ro 61



こんなフィルム買うてもアカンで。税関で没収やで！

VOJAGEME

航空券はちよごでも
安い方がいい
……けれど……

HASEGAŪA JOSIHUMI

La 19-an de sept. 1975

Mi vizitis la biletvendejon "Tokyo Travel Care LTD" apud subterfervoja stacio "Earls Court". Ĝi estis malgranda, kaj tie laboris japanino.

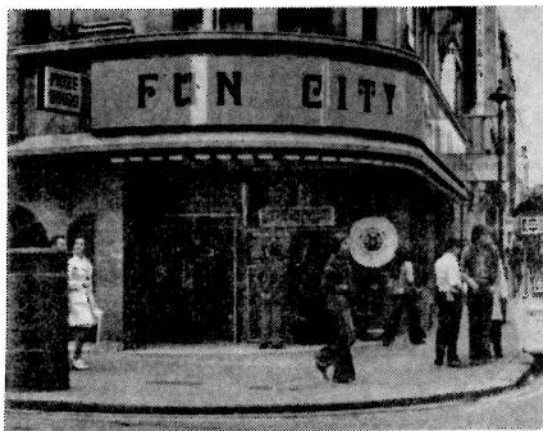
Bedaŭrinde la bileto de £ 165 estis jam forvendita kaj por gajni la sampezan bileton mi devis atendi ankoraŭ kelkajn tagojn.

Ankaŭ en alia biletvendejo tia malmultekosta bileto estis jam forvendita. Sed bileto de £ 185 restis en "Tokyo Travel ...". Kaj mi povos ekveturi en la venonta dimanĉo per tiu bileto. Mi abonis ĝin.

Se mi havus ankoraŭ multajn libertagojn, mi povus aĉeti malmultekostan bileton de £ 165.

La aeroplano de mia bileto iros tra Londono, Parizo, Frankfurto,

Teherano, Karaĉo, Bangkoko, Manilo al Tokio. Se mi havus pli multajn libertagojn, mi povus plie viziti tiujn ĉiujn urbojn dum kelkaj tagoj per la sama bileto. Mi devis atingi Japanion almenaŭ ĝis la fino de ĉi tiu monato. Mi intencis viziti nur Bangkokon de Tajlando.



ピカデリー・スクエア (広場)。6本の
大通りがここに集まっています。
若者の町です。

Nu, mi vidis unu japanan junulon en la biletvendejo. De Tokio li unue vizitis Karaĉon per aeroplano, kaj de tie per la motorciklo li venis al Londono vojaĝante dum 8 monatoj. Tio tre surprizis min.

Vespere sur la strato mi vidis hazarde japanan junulinon, kun

kiu mi antaŭ ĉirkaŭ unu monato serĉis la tranoktejon kune en Zaragoza en Hispanio. Ni tre ĝojis pri tiu neatendita denova renkontiĝo. Ni vespermanĝis. Si nun lernas anglan lingvon en Londono, kaj revenos dimanĉe al Japanio.



はいろか、はいらんとかか。



『がはは！』 はとがは はがゆく ナヤマしい
テニヲハの「は」と「が」考

…の4…

前田 米美

[は、が 構文]

前号の終りにご紹介した、たくま・けんじさんの「は、が構文」にとりかかります。

関西エスペラント連盟（KLEG は KANSAJA LIGO DE ESPERANTO-GRUPOJ の略。クレグと通称されています。）の機関紙「LA MOVADO」の中で、たくまさん担当の連続講座「初等作文」1987年の2月号と3月号に、この「は、が構文」が、ていねいに説明されていました。

私のこの長駄文のとっかかりは、「が」も「は」も主語をあらわす（??）という仮説でしたが、これまでの1、2、3回分の怪論文で、逆は真ならず、「が」や「は」のついたものすべては、主語でない、とわかってきました。

ところが、「は」と「が」が両方ともひとつの文の中に出てくると、どうなるのか。サアたいへん。

[いろいろな「は、が構文」]

実は、前の1、2、3回には、既に「は、が構文」がお目見えしているのです。

①まず第1回中の例文

これが ほしい。（対象）
主 語

に、くどくどと文句をつけて、

「私は これが ほしい」

と、別の主語をつけるべきだと申しました。これ、「は、が構文」

②続いて、第2回中の例文、

7. 色が きれいだ。

8. 泳ぐが よい。

9. 泳がせるが よい。

10. 泳ぐのが じょうずだ。

にも、「原文にない主語がほしくなっ」て、あなたは は とか、警察は は とか、彼は は とか、かわうそは は などと、主語をつければ、「は、が構文」。

③ひとつ、毛色の変ったのがありました。

{例1} 雨は 降ったが、少しかった。

この「は、が」は、あの時の説明のように、「が」の方が別の意味「しかし、けれども」をもった接続助詞ですので、「は、が構文」の仲間からはずします。

④そして、前回第3回の中に出てきた、

{例4} 富士山は、姿が 美しい。

⑤私が出した例文（実は、たくまさんの例文に少し手を加えたものですが）

明日は、次男が 試験を受けに行く。

ここは、冬、雪がたくさん降ります。

⑥LA MOVADO 1987.3月号の中で、たくまさんの出した課題文に、こんなものもあります。

ベトロは、母の仕事を手伝うのが楽しかった。

新しい本箱は、置く場所がない。
この問題は、よく考えてみる必要がある。

たくまさんは、『私はまだ分類を試みていないのですが、「は、が構文」には、いろいろな種類があるようです。簡単なものを課題文に取りあげました。』ということで、⑥のような文を出題されましたが、

「は、が構文」で、いちばん典型的なのは、④のような文です。また、「象は、鼻が長い。」などは、「は、が構文」以外の日本文法の説明によく使われています。

どの例文も、「は」の前の言葉が、短い簡単なことばなのに、「が」の前後のことばがいろいろ複雑になっていて、訳者を困らせます。

②は「泳ぐのが」、「泳がせるが」などと動詞になっているし、

⑥の例文の中で、「が」の前後のことばを見てください。これこそタイヘン。

[日本語は 主題-説明。

ESP. は 主語-述語(あるいは述語動詞を中心とした述部)]

例えば、④の例文のなかま

この本は、私が書いたものです。

という日本語文について考えてみます。

たくまさんの説明のことばを借りますと

『日本語の文法では、「は」のついたことばは、主語(主格)なのか、目的語(目的格)なのかは問題にしていません。』『「は」の基本的な働きは、あることがら(本)をとりたてることであり、とりたてられたものを主題(本)と呼び、残りを説明の部とする、「主題-説明」の関係でとらえられる考え方が広まっています。』

そこで、これをEsp. に訳する時、まずナヤムのは、「は」のついた「本」を主語にするか、「が」のついた「私」の方を主語にするか、よく考えて決めねばならないこと。

第一感、「本」を主語にすると、

Ĉi tiu libro estas verkita de mi.

原文「書いた」なのに、なぜ verkita 「書かれた」と受身にするのか。これまたEsp. 文化(欧米語文化?)と日本語文化のカルチャーショック(Kultura kolizio)で、日本語では、欧米語の他動詞・自動詞の区別や使い方について、なんとなく、時には非常に無関心のように思います。

上の試訳文では、libro が主語であり、estas verkita が述部で、その中の verkita という形容詞は libro を飾り、libro の立場から見たら、libro が自分で書いたのではなくて、私によって書かれたものだから、受身にするのです。そして、mi は、「私によって」と、verkita を修飾する副詞句 de mi の形にします。

勿論、「私が書いたものです。」というから、「は」のついた「本」の方を目的・対象として-nをつけて、

Mi verkis ĉi tiun libron.

と、基本的な作文形式(主語+述語動詞+目的語)をとってもいいのですが、どうも私の感じでは、

原文の「この本は」と、本をとりたてて主題にしている気持ちが、訳出されていないように思うので
す。そこで、

Ĉi tiun libron mi verkis.

と、語順をひっくりかえしてやると、少しは原文の気持ち・意図に近づいたかなと思います。

[「は」が時や場所をあらわしている場合]

はじめに挙げた、いろいろな「は、が構文」の種類6つのうち、①②③の説明や訳しかたは、既に前回までに書きましたので省きます。

また、⑤の「は、が構文」では、「は」のついたことばが、時や場所をあらわしているのです、そのように訳し、「が」のついたことばを一応主語と考えて訳していけばいいでしょう。でも、実際に訳すると、こんな具合になるのです。

◇明日は、次男が試験を受けに行く。

(たくまさんの初等作文では、「明日は、次男が試験だ。」これでは、初等の方は、

次男 estas 試験 と、ついひっかりそうなので、上のように私が手を加えました。)

Morgaŭ mia dua filo havos ekzamenon.

estas でなく havosが使えるようになったら、かなりエスペラントのくせをのみこんでいる人。

havos ekzamenon の代わりに、

ricevos ekzamenon

ekzameniĝi とやった人もかなりあったそうです。

◇ここは、冬、雪がたくさん降ります。

Ĉi tie multe neĝas en vintro.

雪が降ります は、neĝo falas とやりたくなるのですが、Esp.には neĝas という無主動詞(主語がいらない動詞で、おもに気候・天候・雰囲気・話題<gravas>などをあらわすもの)があって、これを使えば便利。

Oni havas amason da neĝo ĉi tie en vintro.

これは、雪を主語にせず、Oni havas として、「たくさんの雪」を目的語にしました。かなり手なれた訳しかたですね。

[havas が ハバをきかす]

④のなかまの例文「富士山は、姿が美しい」を訳する時、havas を使うやり方があるのは、はじめちょっとびっくりします。

日本語式にこの文を分析すれば、「富士山は」が主題としてとりたてられたもの、その主題について「姿が美しい」と説明するという「主題—説明」ということになりませんが、さてエス訳する段になるとまた、「姿が」も主語のようにも思えてくるのです。

まず「富士山」を主語にして、

La Monto Fuji estas belforma. (belaspekta) など、

havas を利用して、

La Monto Fuji havas belan figulon.

「姿が」を主語にしたかったら、

La figulo de la Monto Fuji estas bela.

どれがいちばん原文に忠実か、どれが外国人（特に欧米人）にわかりやすいか、エスペラントはヨーロッパ的だというのに反発して *havas* を使うのをやめて日本式エス訳をとるか、皆さん、どう思われま
すか。

⑥に分類した例文は、みんな LA MOVADO、1987、3月号からいただいたものです。この中で、

新しい本箱は、置く場所がない。

をとりあげてみます。たくまさんの説明を下敷きにして、

「場所」は、第一感 *loko* ですが、置く「余地」という意味ですから *spaco* が適当。

「本箱は」を「本箱を」とよみ替えて、「本箱を置く(ための)場所が」と考えたら、「場所」が
主語になってきます。

訳例(1) *Ne troviĝas la loko por meti la novan libroŝrankon.*

Ne troviĝas の代りに、*mankas* を使った人も多かったそうで、*mankas* という語が頭に浮かぶ
人は、かなりエスペラントに慣れた人で、高等。

主語を別に *mi* とか *ni* にして

訳例(2) *Ni ne havas spacon por meti la novan libroŝrankon.*

ここで筆者のおせっかい。「本箱」は、訳例(1)(2)とも目的語になりましたが、これを主
語にできないものか、考えてみました。ええかっこに *havas* を使って、

La nova libroŝranko ne havas spacon(lokon) metiĝi. ちょっとムリしたかな。

以上、いろいろやってみましたが、「は、が構文」の Esp. 訳をするにあたって、どれを主語にする
かを考える以外に、別にきまった方式といったものはなさそうです。

今回は、「は」と「が」の違いについて、考えてみます。

~~~~~

前号 N-ro 60の記事の中で、筆者・鴉忠郎さ  
んから、次のような記事訂正のお申し入れが  
ありました。

『「三保の天女」について、次号へ次のよ  
うに訂正をのせて下さい。』

\_\_\_\_\_ のことばを挿入する

7. ...kvazaŭ ŝi estas amata nepino  
sur ekrano, ...

9. ...veston kun si, nek tukon nek  
fig-folion por meti antaŭ la  
parton. Plie....

# エコロギイスト (環境保護運動)

// Enlanda Informilo de SAT

1990. 7 月号 // より

\*\*\*

\* Ĉu vi ekologiemas? Ĉu vi estas kontraŭ atomenergio? Ĉu al vi malplaĉas tro da golfejoj? Se jes, kial ne aliĝi al la Ekologiista Frakcio de SAT? La Eko-frakcio fondiĝis lastan jaron kaj ekaktivis ĉi-jare. La iniciatinto estas k-do Claude Rouget el Svedio. Li jam eldonis du numerojn de sia EKO-BULTENO. Ekde la venonta numero, EKO-BULTENO kunfandiĝos al SUNRADIOJ, kiu estos la komuna bulteno de AVE (Asocio de Verduloj Esperantistaj), AMIK-ARB (Amikoj de la Arbaro), k.a., kaj estos eldonata de nia k-do Emilo Mas el Francio.

Al interesatoj mi (Tani) donos fotokopiitajn ekzemplerojn de EKO-BULTENO kaj la prova numero de SUNRADIOJ, kaj ankaŭ peros aliĝon volonte.

\*\*\*

\* Se vi estas vojaĝema kaj diskutema, aŭ gastama kaj diskutema, aĉetu la gvidlibron de l'Amikeca Reto de SAT! 268 adresoj en 33 landoj. (Ankoraŭ du adresoj en Japanio: k-dino Nakamura en Yokohama kaj s-ro Brozovsky en Kameoka, do ankaŭ aliĝu!) Unu ekz. kostas FF 30. Interesatoj turnu sin al:

Amikeca Reto /k-do ROLLIN Gérard, 63 rue de la République, à Chargé, F-37530 Amboise, Francio.

pĝk: ROLLIN Gérard: No. 1544 95 V, La Source  
aŭ al la Reto-peranto en Japanio:

Joel Brozovsky, EPA, Oomoto, J-621 Kameoka.

\*\*\* \* \* \* \* \*

La venonta numero de Enlanda Informilo aperos jarfine.



mi (Tani) さんの 住所は

〒561 豊中市庄内東町3丁目4-6

タニ ヒロユキ 様

( SATの日本の peranto です )

郵便はがき



6 4 2 - □ □

海 南 市

東 浜 186

田 中 正 美 様

K-do Miyamoto kaj mi

Tanaka Masami

わたしと宮本兄との出会いは1937年だった、と、以前発表した私のエスプラント漫筆に書いた。それには、わたしは当時田辺市のさる会社に勤めていて、それは全く突然彼は会社に私を訪ねてきた、としている。

『エスプラントの勉強にきた。』

と言って私を誘い出し、市内の神社など見て廻った。……。もう50年も前のことで、私の記憶もあいまいで、思いつくままに書いたのだったが、彼はこれを読んで次のように誤りを指摘してきた。

「君は、あの時が初対面のように書いていたが、実はその前年の暮れ、和歌山市商工会議所で開かれたザメンホフ祭で一度会っている、当時は田辺は市ではなく町であった。」

そして彼の手紙には次のようなことが書いてあった。

「私はあの時、君に会うのが主目的ではなく、他に重要な要件を持っていた。当時、紀南地方の労働組合の指導的立場にあった糸川氏と連絡をとるためだった。組合の機関紙のこと、その他、……。」

今でこそ組合運動や文化運動など自由に行われているが、あの頃は、組合運動などは非合法として禁止されていた。まして、機関紙の発行などは最も危険な行為であった。

エスプラントも危険な言語と見なされ、外国と文通していた私のような者にも 特高警察から再三呼び出しや訪問を受けたものである。このような状況下で運動をつづけていた彼の不屈の行動には全く頭があがらない。

再び彼とのかかわりが生れたのは戦後である。ある日、彼から連絡があり、大阪市で開かれる関西エスプラント大会に是非くるようにとのこと。



私が豊中の彼の家を訪ねたのは大会の前日であった。初めて彼の家に泊めてもらった。家族は、彼、奥さん、幼児の三人だった。幼児（女の子）は病氣だとかで覆かされていた。可愛らしい人形さんのような顔をしていた。

翌朝、宮本兄と二人、大会へ出席のため乗りこんだ電車の中で、彼はわたしに、ささやくように語った言葉は、未だに私の脳裏にやきついている。

Ni estis tre feliĉaj, vidante nov-naskitan inan bebon. Mi pensadis pri ŝia nomo kaj finfine donis al ŝi "Lumi", esperante ke ŝi estu ĉiam klara kiel plena luno sur la ĉielo, sed baldaŭ ni devis rimarki, ke ŝi estas malsana je cerbo kaj ne povis vidi aĵojn.

その後の彼はエスペラント運動に専念し、著作に、出版に活躍していた。新しい出版についての相談にわたしの家にも何回かきていた。彼が長谷川テルの本を出す折り、たまた

ま私の手元にあったアルバムに、テルらしき人が写っているので利用しないかと言ってやった。写真というのは 1931 年、京都で開かれた第 19 回日本エスペラント大会のときのプロエス関係の同志たちだけの記念写真である。

そのときの彼の返事、( 82-11-10 付 )

「あすで、由比忠之進の 15 年。写真一度見せてください。ただし、Verda Majo (長谷川テル) が大会に行ったとは考えられません。この年彼女は富士五湖に行っているはずです。」

∴由比忠之進・・・1967.11.11. ベトナム戦争反対を叫んで公邸前で焼身自殺をしたエスペランティスト。三省堂、大島・宮本著『反体制エスペラント運動史』に詳しい。

長い間、宮本兄とは会う機会がなく、わたしは僅かに雑誌や彼の著作で、その活躍ぶりを見ていた。するとある日、次の葉書がまいこんできた。

Kara kamarado,

80 10 22

Jam pasis tre longaj jaroj, de kiam ni ne vidis nin. Antaŭ kelkaj tagoj mi aŭdis de Egawa, ke vi estas malsana, aŭ estis malsana. Mi tre volas vin vidi.

Verdire Itogawa zyuiti, kiu iam estis en Tanabe, nun restas en Wakayama-nisseki pro la malsano je faringa kancero, kaj oni operacis lin. Espereble li revenos al Singŭ post nelonge. Do, mi devus iri al Wakayama, ĉar povas esti la lasta okazo por lin vidi. Ĉu tiam vi ne povos veni al Nisseki? Mi volas iri al li je la venonta 9-a tago ĉ. tagmeze, aŭ iom malpli frue.

Se vi donos al mi ian respondon, mi tre ĝojos, kaj espereble ankaŭ vian telefonnumeron, por ke mi povu telefoni tiam.

♪ やま と ま こ り

わたしは約束通り、約束の日、正午少し前に、和歌山日赤病院に行き、待合室で彼を待った。やがて小肥りのあの宮本兄があらわれた。杖をついている。歩行が少しややこしい。わたしたちは見舞いにゆく前の暫くの間待合室で語りあった。彼の話は専ら『日本語エスペラント辞典』のことだった。

「編集にあたって勉強のため三省堂にも行って勉強させてもらったが、辞典の発行は如何に大変な作業であるかよくわかった。そして辞典は発行された日から次の仕事待ちがまえている。誤植、補遺、新語訂正など——これは辞典のもつ宿命である。それを考えると私の仕事は終ることがない。」

宮本兄はまた 自分の健康についても語った。今はペースメーカーのお蔭でこうして動くことができるが、この器具にも寿命があって、この年末には、新しいものととり替えるため入院することになっている・・・といながら、つと、わたしの手をとって、自分の胸におしあてた。わたしは彼の胸の、ここ

ろもち隆起した処に、かすかな得（え）も言われぬリズムを感じた。この器具が彼のいのちを守っているのかと思うと、不思議な感慨をおぼえた。

糸川さんは思った以上に元気で、ベッドの上に乗ってわたしどもを迎えてくれた。話はすべて筆談であった。糸川さんはこう頭ガン手術で声帯が失われていた。わたしは糸川さんとは初対面であったが、和歌山労働組合運動史で、彼のことはよく知っていた。彼もまたわたしのことを知っていて、話は尽きなかった。勿論、宮本兄とは旧知の間柄であり非法時代を共に闘った同志であるから、話の尽きる筈はない。夕刻、病院を後にした。わたしは日赤病院前で、バスに乗り込む宮本兄を見送った。これが最後であった。



## Krucvorto enigmo



Edzino entuziasmiĝas en krucvorto enigmo.

Ŝi cerbumas kaj cerbumas. Fine ŝi petas de sia edzo helpon:

" Kio estas ĉi vorto, kiu komenciĝas per V kaj finiĝas per N, en radika vorto? "

" Kio estas la sugesto por tiu vorto? "

" Kutime oni kaŝas tion, por ke oni ne vidu tion. "

Edzo dum iom da tempo cerbumas kaj respondas:

" Eble, ĝi devas esti V,E,N,E,N' "

" Jes ja, ĝi plejtaŭgas por ĉi loko. "

Kaj ŝi rapide forigas prove skribitajn literojn A,G,I, per skrapgumo.

[来年1991年の世界大会]

UEA ノルウエーのベルゲン、7月27日 ~ 8月3日  
青年大会はスエーデン、7月20日 ~ 7月26日

1992年は、チェコのプラハの予定

Aliĝilo

**BERGENO**



76-a UNIVERSALA  
KONGRESO  
DE ESPERANTO  
27-a julio - 3-a aŭgusto 1991  
Bergeno, Norvegio

Konstanta adreso: 76-a UK de Esperanto  
Nieuwe Binnenweg 176  
3015 BJ Rotterdam, Nederlando  
Poŝtĝira konto: 62 73 37 (Centralo Den Haag)  
AmRo Bank, Rotterdam: konto 42.69.01.444

Adreso de LKK: 76-a UK de Esperanto  
Boks 3160, Arstad  
5029 Bergen, Norvegio  
Poŝtĝira konto: 0824 0753600  
Den Norske Bank: konto 5201.23.41555

ĈIU ALIĜANTO UZU APARTAN ALIĜILON, FOTOKOPION AŬ SAMFORMATAN PAPERON - BONVOLU  
TAJPI AŬ SKRIBI PRESLITERE. LAŬBEZONE METU KRUCON EN LA KONCERNAJN KVADRATETOJN.

FAMILIA NOMO ..... VIRO/VIRINO  
(por alfabeto ordigo) (forstveku unu)

PERSONA NOMO ..... UEA-KODO .....

KOMPLETA POŝTA ADRESO (naciilingve en latinaj literoj kun poŝtkodo)

Esperanto, 1990, 10がつどう.

SAT ベルギー・ブルッセル  
8月3日~8月10日

1992年はリトワニア・

カウナスの予定

VENONTAJ KONGRESOJ

Dum la kongreso okazis invito al la 64-a venontjara SAT-Kongreso, kiu okazos en la Universitato apud Bruselo, Belgio, plej verŝajne de la 3-a ĝis la 10-a de aŭgusto 1991. Vi povos legi la konfirmon en la oktobra numero de Sennaciulo.

Ni eĉ havis la inviton por la 65-a kongreso al Kaunas, Litovio. Kun granda aplaŭdo la kongresanoj salutis tiun inviton, ĉar tio estos la unua fojo de post la jaro 1929 (9-a kongreso en Lejpcigo) ke ni denove kongresos sur la teritorio de orienta Eŭropo (ni esceptas la Jugoslavion). Ni esperu ke ĉio iros glate kaj ke tiu tre dezirata kongreso certe okazos. Ĝi ebligos la alvenon de multaj orienteŭropaj esperantistoj, kio certe alportos al la kvalito kaj sukceso de nia kongreso.

Sennaciulo, 1990, 9がつどう.

前号誤字訂正

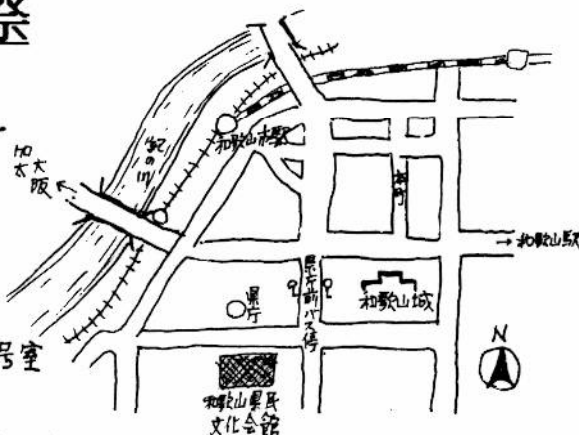
P. 6. ↓ 1 ĈEFROBULO ⇒ ĈEFROLULO

P. 10 ↓ VORTOJUDO ⇒ VORTOLUDO

# ザメンホフ祭

今年のザメンホフ祭について  
とくみえず”下記お知らせします。

1. 日時 12月8日(土)  
午後1時～4時
2. 会場 県民文化会館 4階 9号室



会場が 変わりましたので 御注意 下さい。和歌山市 川松原通 1-1  
TEL 0734 (36) 1331 (1F)

## 【ひさびさちかごろ】

辻 千早

午後1時前、子供達が続々やってくる。皆可愛らしい。お母さん達も若く美しい。3時頃 子供達は帰り、大人や高校生がやってくる。油画や石膏デッサン。それがすむと6時を過ぎている。家に帰るともう暗い。土曜日

松江文化教室の授業です。他に、月と木は県社会保健センター。

皆様、御無沙汰致しています。お変わりありませんか。エスペラントと別れて随分久しい。約1年半かな！

Nur mi forgesis Esperanton.

Pardonon! Pardonon!

## VORTOLUDO

前回⑥⑦の答え

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ⑥ | G | E | S | T | ⑦ | G | L | O | B |
|   | E | R | A | R |   | L | I | N | I |
|   | S | A | K | E |   | O | N | K | L |
|   | T | R | E | D |   | B | I | L | D |

福本博次

今回の問題

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ⑧ | H | E | R | B | ⑨ | K | A | M | P |
|   |   | R |   |   |   |   | F |   |   |
|   |   |   | D |   |   |   |   | N |   |
|   |   |   |   | L |   |   |   |   | N |

# VERDA MONTETO

Redaktita ĉe MAEDA Yonemi (dumonata) N-ro 62



いいお天気に恵まれて、のんびり遊びました。  
どこの公園だったか、失念。

## VOJAGEME

### イギリス人気質(かたぎ)

HASEGAŬA JOŠIHUMI

La 20-an de sept. 1975  
Matene mi sendis leterojn al miaj  
amikoj pri la dato de mia reveno  
al Japanio. Mi planis revenon al  
Japanio post unu semajno.

Kaj mi devis telefoni al miaj  
gepatroj pri tio per "collect call".  
Sed mi ne sciis, kiel mi povas  
telefoni rekte per "collect call".

Mi eksciis, ke mi devis telefoni  
unue al numero 107, post  
demando al japana ambasadorejo.  
Mi faris tiel, sed neniŭ ricevis  
ĝin. Morgaŭ mi telefonos denove.

Ankaŭ hodiaŭ mi tagmanĝis en  
ĉina restoracio en la kvartalo  
Soho, kie mi manĝis hieraŭ. Mi  
aĉetis glaciaĵon sur strato.  
Londona glaciaĵo estis tre  
bongusta.

Sur strato kaj en "Hyde Park"  
mi vidis grandan laboristan  
manifestacion. Mi admiris, ke tiam  
britaj policianoj ne havis la  
armilojn, kaj la anoj de  
manifestacio marŝis orde. En la  
parko aliflanke unu negro  
disaŭdigis sian opinion. Tie mi  
sentis liberan demokratisman  
atmosferon pli progresan ol en  
Japanio.

Nu, mi skribu miajn rimarkojn  
dum la vojaĝo en Britio.

Brito diras ofte "Pardon" "I'm

sorry" "Thank you"

Reklamoj de "SANYO" kaj "Panasonic (National)" estis panelitaj sur la flankoj de duetaĝaj stratobusoj.

Junuloj gajnis monon kantante sur subvojo, kaj ili kantis bone.

Subtera fervojo en Londono estas en tre profunda loko, kaj sur la eskalatoro oni ĝenerale staras dekstre, kaj rapidemaj personoj iras maldekstre. Pro la profundeco ankaŭ troviĝis lifto anstataŭ la eskalatoro.

En Londono ĉinoj kaj negroj estis multaj, kaj ĉinoj praktikis ofte manĝejojn en la kvartalo Soho. Negroj estis multaj kiel biletotruisto de stacio.

Mi vidis kelkfoje japanajn aŭtojn "Celica"

La taksioj estis plejparte de "Austin".

Paŝantoj transiras malgraŭ la ruĝa signalo lumas, kiam aŭtoj ne kuras.

Fruktoj estis tre karaj.

Matenmanĝo en brita hotelo enhavis kune ŝinkon kaj ovon, sed en aliaj eŭropaj landaj,

kutime ne.

Brito trinkis ofte teon.

Malgrandaj turismaj agentejoj estis multaj, kaj ili vendis malmultekostajn biletojn.

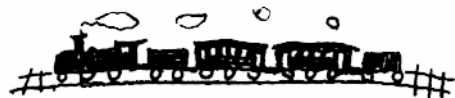
☆☆☆ De Parizo al Londono ¥5000 enoj (de Parizo nokte ekiras), la plej malmultekosta. Oni nomas ĝin "Night boat".

☆☆☆ Ĉe turisma agentejo "Top Notch" en Londono, de Londono al Japanio \$500 (¥120,000 en tiama valuto).

☆☆☆ "Hot Pot" estas malmultekosta sed bongusta restoracio.



なんとも中つたりしたデモ行進。



## DANK' AL ESPERANTO

KAKUO Masao

[角尾先生(高岡市在住・元高校の先生)から編集子へおたより]

VERDA MONTETO の N-ro 60 と N-ro 61 有り難うございました。お礼に何か原稿を書きたいと思いながら、ご無沙汰をしていました。

どうやら少し暇を作ることができましたので、一枚送ります。しかし十分な暇を得て十分に推敲したものではありませんから、お気に召さないかも知れませんが、終わりに近いところに、古いサミデアーノの伊東三郎や栗栖という懐かしい名前が出てきますので、紹介したかったです。

忙しくてご無沙汰していましたのは、老妻が入院しており、拙宅には 84 才の足腰の弱くなった私一人です。 . . . . .



Mi ricevis poŝtkarton ilustritan el Francio. Sur ĝi skribas ĉina esperantisto:

"Estimata S-ro Masao,

Dank' al Esperanto, mi plej feliĉe kaj facile vojaĝas en Francio.

Mi salutas vin ĉe S-ro Lentaigne. Via

WANG Xigen "

Sube Lentaigne skribas:

"Plej koran saluton. Vi imagu mian ĝojon renkonti kaj havi la viziton de W.X. Len. 21-10. 90 "

Mi korespondas kun Lentaigne, kiu estas eminenta franca esperantisto, dum kvardek jaroj. Antaŭ dudek jaroj mi vidis lin en Parizo.

Antaŭ nur kelkaj jaroj ĉina junulo skribis al mi. Li studis Esperanton en universitato kaj post la fino de la universitata kurso li instruas Esperanton en lernejo.

Mi eksciis, ke li jam korespondas kun Lentaigne. Lentaigne helpis al li pri la lingvo. Krome Lentaigne sendis konsiderindan sumon da mono al Wang por ke Wang povu partopreni en UK de Warszawa. Tre bedaŭrinde la mono alvenis al li nur post la fino de UK!

Lentaigne kompilis libreton:

omaĝe al mia 'ĈINA FILO' agema kaj promesplena esperantisto-  
UNUA LEGOLIBRO 40 PAĜETOJ AL PLUA POSEDO

"mia 'ĈINA FILO'" estas Wang Xigen kompreneble. Unu ĉapitron mi prezentas:-

#### S-RO? ĈU VI PAROLAS JAPANAN?

Amiko informas min, ke du japanaj "samideanoj" ĵus eniris la poŝtoŝtacion. Tuj mi iras renkonte al ili.

Kiam mi abrupte salutis ilin, ili returniĝas, mirigitaj! Mi prezentas min al ili, ili al mi. Fulmotondro! Ni korespondis unu kun la alia antaŭ pluraj jaroj. Kia ĝojo konatiĝi reciproke. Nia entuziasmo tiklis la atenton de la oficistino.

"Sinjoro! sinjoro! ĉu vi parolas la japanan?"

"Ne! Sed mi povas helpi se necesas."

Efektive, mi alvenis ĝustatempe por klarigi la afereton.

Vi, leganto, volas scii pli, ĉu? Li, Ito Saburo (kune kun Kurisu Kei) iniciatis verki "VIVA GEOGRAFIO DE FRANCIO" por la junaj japanoj. Li petis francajn esperantistajn instruistojn provizi lin per abundaj tekstoj, faritaj de francaj lernantoj mem, el ĉiuj regionoj. Tradukitaj en la japanan, ili konsistigis 200-paĝan libron. Miriga realigo! Des pli, ke aperis 15 similaj verkoj, faritaj de lernantoj el aliaj landoj.





## Pri RUĜA DARUMA

OKUMURA Rinzo



奥村林蔵先生は、元高校の数学の先生。70ウン才。世界の子供達にやさしくお話するように文通して、Japana Onklo と暮わられています。これはダルマと、それにまつわる日本の風習の紹介。

1) Ĝi nomiĝas DARUMA, aŭ Feliĉ-dona Daruma, Ben-dona Daruma, Bon-dona Daruma, aŭ Ne-Renversebla Avo.

2) Origine, ĝi estas simbola figuro de Sankta Budaano nomata DARUMA.

3) La budaano Daruma studis multe kaj meditis profunde por trovi la 'Universala Vero'-n por la bono de la homaro. Li meditadis dum 9 jaroj, sidante sur falditaj kruroj, kaj pro tio liaj kruroj forputris.

(Eŭropanoj sidas sur seĝo, sed japanoj sur falditaj kruroj, tradicia kutimo.)



4) Do, oni nomas 'Daruma' tian homon, al kiu mankas rimedo por iri (bicikle, aŭtomobile, vagonare): mankas mono por veturi, manĝi, amuzi kaj aliaj. Ekzemple: Mi estas Daruma hodiaŭ. = Mi estas sen poŝmono hodiaŭ.

5) Tiel li, post penego, trovis la 'Universala Vero'-n kaj savadis homojn el suferoj, kaj oni lin respektas profunde, simbolante per figuroj, bildoj kaj aliaj.

6) Posedi Daruma-n signifas posedi feliĉon, benon kaj bonon. Do, la figuro nomiĝas Feliĉ-dona Daruma, Ben-dona Daruma, aŭ Bon-dona Daruma.

7) Vidu, jen, la Daruma! Vi trovas ke liaj okuloj estas blanke mankaj je pupiloj. Kial?

La posedanto unue donu nigran pupilon en lian dekstran okulon. Kaj poste, petu al li sincere ke li donu al vi benon, feliĉon, familian prosperon, aŭ ĉarman amatinon, aŭ abundan poŝmonon, aŭ sukceson en ekzameno, aŭ venkon en la elektiĝo de prezidanteco, aŭ iun ajn.



8) Post plenumiĝo de via peto, kun kora danko, vi aldonu al li lian mankantan pupilon en la maldekstran okulon. Ĉe ni, oni kutimas tiamaniere, ofte en okazo de elekto de urbestro, parlamentano, aŭ de ekzameno, diplomiĝo kaj ceteraj. Oni preparas iam gigantan Daruma-n unu aŭ du metrojn alta. Haveblas mini-Daruma unu centimetra kaj malpli granda.



9) Metu ĝin en kia ajn pozicio. Ĝi tuj ek-re-staras en ĝustan pozicion. Pro tio, ĝi nomiĝas Ne-Renversebla Avo, simbolo de resaniĝo, restariĝo, el sufero, malsano, malespero, aŭ de malprospero.

10) En neĝa tago, infanoj faras homofiguron el neĝo.

Ĝin ni japanoj nomas Neĝo-Daruma.



# 『がはは！』 はとがは はがゆく ナヤマしい

テニヲハの「は」と「が」考

前田 米美

…の5…



[「は」と「が」の違い]

この「がはは論文」初回の例文にこんなのがありました。

|                                                                                                               |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 3. Sur la tablo estas libro.      テーブルの上に 本が あります。<br>Sur la tablo estas <u>la</u> libro.    本は テーブルの上に あります。 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

3. の日本語訳文中の 本には「が」がつき、 4. の本には「は」がついています。どう違うのでしょうか。 4. の 에스文中 libro の前に 冠詞 la がついています。この意味は？

- ① ワテが 雁之助 だ。
- ② ワテは 雁之助 だ。

関西弁でも、「は」と「が」を区別して、主語の後につけています。

ワテが雁之助だ。と答える場合、問う人は既に雁之助という名前は知ってはいたが、顔は知らない、そこで目の何人かの人々の中からさがし出そうとして、「どの方が、雁之助さんですか？」と尋ね、それに対し、雁之助が自ら名乗り出た時の答えの状況であり、

ワテは雁之助だ。と答える場合、質問者は 目の前にいる一人の人の名前を知らないで、「あなたは どなたですか？」と尋ね、それに対して、雁之助が（ワテの顔、そんなに売れてへんのかなあ）と苦笑しながら答えている状況。

即ち ①では、「どの人」が求められている答えであり、雁之助という人名は、質問者が既に知っていた情報ですが、

②では、目の前にいるひとりの人に、まだ知らないその人の名前を、求めています。

くどい説明のし方で恐縮ですが、もう一度説明しなおしますと、

①では、質問者は、雁之助という名前は知っていたが、顔は知らないで、「どの方が」と尋ね、その答えの「ワテが」は、質問者にとって初めての情報、今までは知らなかった未知情報。未知情報のことばの後には「が」が付き、

②では、「ワテ」は目の前にいて尋ねた人なので、質問者にとっては既知情報。既知情報の後には、「は」を付ける。

3. の例文「テーブルの上に 本があります。」の本は、未知情報。はじめて出てくる情報ですが、

4. 「本は、テーブルの上にあります。」の本は、今まで会話をしていた2人のどちらも、なんの本だかわかっているのです。例えば、「今お話ししたそのお料理の本は」などといった具合に、話者2人には、どんな本だか既にわかっている、即ち、既知情報だから「は」がついている。

2人とも、どれとわかっている特定の本ということになるので、 에스ベラントでは、こんな名詞には冠詞 *la* をつけるくせがあります。計らずして、冠詞 *la* の働きのひとつと、日本語の「は」の働きのひとつが合致しました。

と、これはまだ第一段階の単純な説明。「が」は未知、「は」は既知。

[同じことですが、この話にハクをつけて]

*La Movado* 初等作文で(1987年 3月号)、たくまけんじさんは以下のように明快に説明されていますので、そのまま書き写します。

#### 「は」と「が」の違いについて

これについては、文法学者によって研究が進められているようですが、『日本語の世界』6北原保雄(中央公論社)がわかりやすいと思います。

AはB という文では Aは既知、Bが未知の情報で、

AがB という文では、Aが未知、Bが既知の情報という 逆転した関係になっていることが多いです。 例えば、

(1) あなたは どなたですか? 私は 田熊です。

(2) どなたが 田熊さんですか? 私が 田熊です。

答えの場合で説明しますと、(1)は「あなたは」と聞かれたのですから、「私」は既知、「田熊」が新しい(未知の)情報です。 逆に、(2)では、「田熊」は既知、「私」が新情報です。

エス文では、「は」「が」の区別がありませんので、(1)(2)の答えの部分はどちらも *Mi estas Takuma.* というほかはありません。

[大野 晋さんの場合]

この駄文でよく受け売りに借用される、大野 晋さんの『日本語の文法を考える』(岩波新書53)では、もう少し複雑です。(「」内原文。[ ]内筆者付加)

文というものは、元来未知情報を相手に提供するものなのですが、その場合でも、単に「言葉と言葉との関係を見るだけでは不足である。言葉に表現されていなくても、事実そのものについて、話し手・聞き手の間に、どんな諒解が存在するのか、また、一つの文が他の文と どう関係してゆくかという点について 深く考慮することが大切だと私は思う。」

また、「文は常に未知の内容だけで成り立つものではなくて、相手がすでに知っているはずのことと知らないはずのこととの組合せで文をつくる。つまり、文表現には、既知と未知という二つの要素がある。だから 文はその二つの要素の組合せによって成り立ち、そこに四つの型がつけられる。

(1) 既知(扱い) と 未知(扱い) [ワテは 雁之助だ。]

(2) 既知(扱い) と 既知(扱い) 広いことは 広い。

(3) 未知(扱い) と 既知(扱い) [ワテが 雁之助だ。]

(4) 未知(扱い) と 未知(扱い) 金銀が 大暴騰!

はじめに 既知がくる(1)と(2)では、既知(あるいは既知扱い)の下に「ハ」という助詞を使う。また(3)と(4)では、未知(あるいは未知扱い)の下に「ガ」という助詞を使う。これが現代日本語の文の基本的な構造である。まず(1)の文例を示そう。」

ということで、(1)～(4)の文例を挙げて説明されています。全部を紹介するにはとても紙面が足りませんので省略します。

[「が」の例外]

自然語にはどうしても例外が付きまといまいます。同じ大野さんの本からですが、日本語では、条件文の時は(もし・・・なら、・・・した時、・・・の場合、など)、既知であっても「が」がつくという話です。

昔々 おじいさんと おばあさんが [新出・未知だから「が」]  
ありました。

おじいさんは 山へ柴刈りに、

おばあさんは 川へ洗たくにいきました。 [もう紹介済、既知だから「は」]

おばあさんが 川で洗たくをしていると、 [この「が」がひっかかる]

大きな桃が ドンブラコ、ドンブラコと、... [桃は新出だから「が」]

大野さんの説明:

おばあさんが 川で洗たくをしていると、と[既知なのに]「が」を使うのは、[この文の部分の最後が]「と」で導かれる条件文だからである。条件文には「が」を使うという一般的なきまりがある。.....

つまり、 에스ペラントで例えば、*kiam maljunulino lavas...*とか、*se .....*といった条件をあらわす文がきて、そのあと(あるいは前に)新しい未知情報の文がくる場合、条件文の方の主語には「が」がついて、新しいお話がきますよと、予告しているみたいだなと、私は思いました。おばあさんが の「が」には、「おじいさんでなく、おばあさんの方ですよ。その おばあさんの方に、何か新しい情報あるいは事態がおこるのです。」という、...

*Se la cirkonstancoj estos malbona por vi, vi rajtas ne akcepti ...*を訳する時、都合に関しては既知であっても、

都合は 悪ければ と訳さないで、

都合が 悪ければ と訳するのが日本語のくせという訳です。

[それでも「は」と「が」はわりきれない]

今年(1990年)5月、NHK教育チャンネル「現代ジャーナル」で、この「は」と「が」について、面白い話をうかがいました。発言は、東大助教授(国語学)の尾上圭介さん。お話の一部だけを取り上げるのは不適切かも知れませんが、

「は」と「が」の使い分けは、未知、既知という一条件だけでは実際の場合、うまくいかない。例えば、「は」も「が」も使いたくない場合がある。

『はさみ ある?』 これには「は」や「が」をつける気持ちになれない。若しつけるとしたら、何か特別な条件がある場合だ。

『あ、あの時計 とまってる!』 「は」「が」を使う余地がないように思う。

どっちでもいい場合がある。

都はるみの「涙の連絡船」

.....

独りぼっちで泣いている  
忘れられない 私口ばかね  
連絡船の着く港

さて、口の中に「は」を入れますか、「が」ですか?

カラオケの好きな方なら、すぐわかります。そう、「が」ですが、「は」でもいけるでしょう。だからこの場合、必ず「が」でなければいけないという、きめつけの発想がおかしい。でも人は、その場で瞬間的に判断して、「は」か「が」を選んでる。文を書く人は、両方口でいって選んでる。

アダモの「雪が降る」に二つの訳詩がある。

岩谷時子 訳詩

雪が降る あなたは来ない  
雪が降る 心のなかを

安井かずみ 訳詩

雪は降る あなたは来ない  
雪は降る 重い心に

どちらも成り立ち、それぞれに表現効果がありそうだ。「が」の方は、単に目の前に見たひとつの情景を、ふっとすくいあげてきただけで、何もつけない。何も評価していない。それが、淡々とさびしさを語る という表現効果をあげている。

「は」の方は、副助詞の中の「係り助詞」といわれているもので、話し手がある気持ち・姿勢をもって承認・把握するという働きをもつ。即ち、この雪は、普通の既知情報ではなくて、ちょっとちがうんだぞという。。。そして「雪は降る」のあとに。。。 なのに という気持ちが出てくるという。

即ち、「は」でも「が」でも、使う人の好みにより、大した差がでない場合もありますし、また聞く人のうけとり方にもよる。。。という話でした。

近ごろは日本の経済力の発展に伴って、世界の各地で日本語学習熱が盛んなようです。現地で日本語を教える日本人たちにとって、若しこの「は」と「が」の説明をせまられたら、日本語文法の知識と、現地語のそれとをかなり深く知っておく必要がありそう。といっても、国によってことばの構造は、ひとつひとつかなり違っている筈。現地語一つ習得しても、お隣の国へ行けばもう役に立たない。こちらにも Pontlingvo (橋渡し語)としての、 에스ベラントの機能が見直されるべきです。

あのテレビ「現代ジャーナル」以後も、「は」と「が」の研究が進められていると思います。若し新しい「はが情報」に接することがありましたら、どうか前田までお教えいただければ、有難く思います。

「は」「が」考・・・(完)



LAŬVICE



"Mi vojaĝis en Italio. Kiam mi estis en Romo, mi hazarde ŝtelaŭskultis radiotelefonan komunikadon de itala polico intervene per mia kurt-onda aparato kaj jen mi registris ĉion. Vere italaj policanoj estas ege feliĉaj. Ili parolas en Esperanto por ke neniu alia aŭdu tian komunikadon, krom esperantistaj policanoj."

"Ĉu vi bonvolus aŭdigi al mi la registritajn voĉojn de ili?"

"Jes, ja volonte. Jen!" :

"Ĉi tiu estas la 26a patrolaŭto. Nun ni trovas nudan virinon kuranta sur la strato Komatubara!"

"Bone, vi estu for de la strato. Vi jam spertis tion hieraŭ vespere. La 48a kaptu mian voĉon. La 48a! ... La 48a! ... Ĉu la 48a aŭdas min?"

"Jes! Ĉi tiu estas la 48a kaj aŭdas vin!"

"Tre bone! Laŭvice la 48a rapidu al tiu strato kaj neniu alia alproksimiĝu tien kaj atendu vian vicon!"

## Semado



Lante teren falis la matura greno.  
 Pasante, cervino ĝin enprofundigis.  
 Sub ŝirmeja neĝo, paciencis semo  
 ĝis varma printempo, kiu ĝin vivigis.

Tion, praa viro nevole rimarkis.  
 Li, tiam, termetis la plukitajn grenojn,  
 Per nuda kalkano, li ilin sublokis.  
 Mirakle! printempo kreskigis avenojn.

Juna servutulo, sur la feŭdan agron,  
 Kiun plugpioĉe li jam pretigadis,  
 Diligente jetis la maldensan semon,  
 Kaj ontan printempon kviete atendis.

Altesidiĝinte, agrokulturanto  
 Stiras potencegan luksan semmaŝinon.  
 Li ne plu servigas ilojn de semanto.  
 Homoj jam forgesas la patran kutimon.

Kiam, por sin nutri, en tempo venonta,  
 Kemiajn pilolojn homoj rave glutos,  
 kiuj, post jarcentoj, en menso abstrakta,  
 Gestojn de semanto, memori kapablos.



将来、人は 食事には、  
 化学錠剤を楽しんで飲んだりして、  
 そして何世紀も経ったら、アブストラクटना頭で  
 昔種を蒔いた人のしぐささえ、憶えてもないこと  
 だろう。

## 種蒔き



みのった穀物は、仰つくり地にあちた。  
 農鹿がやってきて、踏み付けた。  
 深い雪の下で、それは待った。  
 暖かい春が来て、生かしてくれるまで。



大昔、男はひよつとそれに気付いた。  
 農鹿がやめて、種を地に蒔いて、  
 そこで、踏み取った種を踏み込んだ。  
 はだしのかかどで、踏み込んだ。  
 やったあ！ 春、麦は育った。



若い百姓は小作地で  
 つるはしをふるって、下ごしらえをし、  
 まばらな種を、でもがんばって蒔いた。  
 そして、来たるべき春を静かに待った。



(今の) 農業者は、すごく、りっぱな  
 動力種まき機の上にとんと座って操縦。  
 もはや、種まき百姓の道具など使わない。  
 人はもう父祖のやり方を忘れてる。



Jeannier  
 (Francio)

ジャンニエール  
 (フランス)



1990年度 会計報告

1989.11.17 ~ 1990.11.16

収入の部

| 項目          | 金額      | 摘要             |
|-------------|---------|----------------|
| 前年度繰越       | 200,065 |                |
| 会費          | 93,000  | ザ祭当日会費 18 人を含む |
| JEI, KLEG割引 | 5,520   |                |
| 寄付          | 24,000  |                |
| 貯金 利子       | 3,411   |                |
|             | /       |                |
| 計           | 325,996 |                |

支出の部

| 項目    | 金額      | 摘要           |
|-------|---------|--------------|
| 通信費   | 49,609  | 切手、送料        |
| 事務用品費 | 92,638  | 印刷・コピー・封筒 他  |
| 交際費   | 5,000   | gasto への謝礼   |
| 会議費   | 14,950  | ザ祭部屋借賃、茶菓子 他 |
|       | /       |              |
|       | 162,197 |              |

|      |         |
|------|---------|
| 収入の部 | 325,996 |
| 支出の部 | 162,197 |
|      | /       |
| 次期繰越 | 163,799 |

和歌山緑丘会会計係 牛島美恵子

# VORTOLUDO

FUKUMOTO

[解きかた]

⑧

|   |   |   |   |
|---|---|---|---|
| H | E | R | B |
|   | R |   |   |
|   |   | D |   |
|   |   |   | L |

1 2 3 4

|    |   |   |   |   |
|----|---|---|---|---|
| 一  | H | E | R | B |
| →二 | E | R | A | R |
| →三 | R | A | D | I |
| 四  | B | R | I | L |

1のたての行と、一のよこの行が、どちらも同じ単語 HERB となっています。

2のたて行、二のよこ行も同じ ERAR

3のたて行、三のよこ行も同じ RAD I

4のたて行、四のよこ行も同じ BRIL

ここでは単語は、語根 (radiko, 語尾の -a, -o, -asなどを除いたもの) だけを使います。

⑧の問題を見たら、一のよこの行は、HERB だから、1のたてもHERBだとわかりますから

そう書き込みます。

すると二のよこの行、2のたて行はどちらも、ERではじまる単語だとわかります。

この辺から少しややこしくなり、今までのあなたの単語の蓄積と、辞書を根気よくくりかえし眺める努力とカンが試されます。

三のよこ行、3のたて行は R□D□、四と4は B□□L となります。

二2、三3、四4に当てはまる単語で、思い付いたもの、あるいは辞書でみつけたものを、仮に鉛筆で二つ三つ書き込んでみて、たてよこうまくつながるように選んでいくのです。

[前回⑧の答え]

|   |   |   |   |
|---|---|---|---|
| K | A | M | P |
| A | F | E | R |
| M | E | N | U |
| P | R | U | N |

では今回の問題・・・少しやさしくしました。

⑩

|   |   |   |   |
|---|---|---|---|
| K | A | M | P |
|   | P | E |   |
|   |   | N |   |
|   |   |   | N |

⑪

|   |   |   |   |
|---|---|---|---|
| K | O | R | P |
|   | F |   |   |
|   |   | V |   |
|   | R |   | N |

ここで使っている単語は初級程度に最もよく出ているものです。



[前号誤字訂正]

P. 2. 中ほど、2つの写真説明を入れ替える

P. 9. ↑7行、operacis ⇒ operacijs

# VERDA MONTETO

Redaktita ĉe MAEDA Yonemi (dumonata) N-ro 63

EL ESTONIO



バルト三国の一番北に、エストニアがあります。その首都ターリンに住む、女性 에스ベランチストが、最近の国情を切々と訴えた手紙を、フランス、ボルドーに住む 에스ベランチスト、レオ・ロベールに送ってきました。昨年(1990)6月、レオから私(前田)への手紙に、それが原文のまま、東欧の激変という話のあとに、つけ加えられていました。私は早速、V. M. 誌の記事にと考えました。彼女にその許可をもらってこないかと、レオに頼んだところ、12月8日着便のレオからの手紙で、彼女の同意を得たこと、そして「日本の皆さんにも、少しはバルト三国の実状をより理解してほしい」という添え書きもつけて、知らせてくれました。

私たちは今情報の洪水の中において、それはそれで有難いことですが、その、おびただしい情報がいろんな理由で、(この場合、ゴルバチョフのベレストロイカへの配慮、アメリカや国内情報提供者の意向など)、『偏向』していないか、心配されます。戦前、大本営発表を一途に信じこみ、破局に向けたことも思い出します。エスベラントはこんな時に、力を発揮します。エストニア-フランス-日本という情報の道が、無翻訳でつながるのです。ドイツのステファン・マウルの「MONATO」誌はこの意味で、大きな意義があります。

まず、6月のレオ・ロベールの手紙から、彼女についての紹介文を...  
(意識を別ページにつけました。) 前田

Mi havas korespondantinon en Tallinn, ĉefurbo de la balta lando Estonio, submetita de Soveta reĝimo dum jam 50 jaroj. Memkompreneble ŝi detale kaj ekskluzive pritraktas tiun temon (grava ŝanĝiĝo de orienta eŭropo) pri nacia liberigo ek de kiam ŝi ne plu timis cenzuran perforton dank'al apliko de perestrojko, jam de preskaŭ du jaroj.

Multe pli trafa ol ĉiaj klarigoj de mi ja estas enhavo de ŝia lasta letero. Mi aldonas ties tekston. Vi mem konstatos, kiel pasie ŝi pritraktas tiun aferon aparte grava por ŝi kaj samlandanoj. Mi entute ŝin komprenas; tamen timante, ke per tiaj agoj la liberiĝantaj popoloj malstabiligos Gorbaĉev ĝis faligo, kaj ke post li, venos konservativa komunista perfortema, kiu eĉ sange celos restarigi la iaman komunistan diktatorecan reĝimon. Sed tamen respektinda kaj subteninda ja estas la arda sopiro al liberiĝo de delonge submetataj popoloj; mi ne sentas min rajta elmeti konsilojn al ili, kiuj tiom multe kaj longe suferis. .... Leo Robert

以下、エストニアの女性の現場からの訴え。少し長いので何回かに分けます。  
最近ソ連の様子が不安定なので、女性の名前は当分伏せておきます。

## LETERO EL-ESTONIO

...Mi troigas nenion. Miaj pensoj ne estas nur personaj: Nia nacio estas tiel malgranda kaj kompakta, ke mi povas prezenti pensmanieron de tuta nia estona popolo. Samtempe ni estas bone informitaj pri t.n. okcidenta pensmaniero ( kvankam ni ankaŭ estis kaj estas okcidentanoj, ĉu estas surprizo por francoj?) kaj dum lastaj jaroj ni ofte trompiĝis en tio, bedaŭrinde. Kompreneble mi parolas momente pri eminentaj okcidentaj politikistoj, ne pri nacioj, popoloj tute. Por pli ĝustegan faktan situacion klarigi, mi petas vin pensi al sekvantaj punktoj :

1) Rigardu al mapo de la jaro 1939 kaj demandu nun, kien perdiĝis tri suverenaj memstaraj ŝtatoj apud Balta maro? Ili ekzistis sed perdiĝis. Kial kaj kien? Kaj tio okazis en Eŭropo sub okuloj de demokrata Okcidento!

2) Baltaj landoj estas okupataj jam de 50 jaroj, duonon de jarcento. Ĉu vi mem eltenus tiel longtempan okupacion? Imagu, ke hispanoj aŭ italoj okupadus Francion ... Kiel vi rilatus al afero? Ĉu vi volonte subiĝus al ili ?

3) Ni vivis dum 50 jaroj en kondiĉo de genocido. Dum soveta tempo pereis en Siberio 1/3 da estona popolo, nia estona registaro, kaj nacia elito estis tuj arestitaj kaj deportitaj al Siberio. Ili estis unuaj viktimoj, poste trafis la sama sorto ankaŭ t.n. simplajn homojn. Tiel ni perdis unu trionon de nia nacio. Ĉu ne sufiĉas ankoraŭ ?

4) Dum lastaj kvindek jaroj pereis en Sovetio pli ol kvindek malgrandaj popoloj. Ĉu mondo vere ne interesiĝas pri tiu ĉi fakto? Tio ĉio estis kaj estas antaŭvidita genocida politiko de komunista partio kaj partikrato, kiu penis krei t.n. "homo soveticus". Entute kaj enhave tio signifas tutan asimiladon de ĉiuj popoloj en rusojn. Okazis tuta rusigado.

Kaj pro tio ĉiuj popoloj en Sovetio rilatas al rusoj malbone. Ni povas retore demandi, ĉu rusa popolo kulpas en la afero? Jes ĝi kun-kulpas, ĉar tutatempe subtenas tiun genocidon. Rusoj havis tutatempe avantaĝon esti, vivi, resti, agadi, politiki, ktp...ĉie en Sovetio. Ilia amasa invado al ĉiuj respublikoj estis ankaŭ antaŭvidita, per tio komunista partio garantiis, asekuris sovetan potencon en ĉiuj respublikoj. Dank'al tio en Estonio 40% de nia loĝantaro estas rusoj. Kaj momente duono de ili kontraŭstaras al nia volo renovigi Estonan Respublikon. Komparu : en la jaro 1939 estis en Estonio 92% da estonoj kaj 8% aliaj. Fakte ni estas sufokitaj de rusoj kaj ni ne havas eblecon mem decidi pri niaj aferoj. Atentu, ke nun tiuj ĉi 40% nomas sin minoritata (!! ) nacio en Estonio kaj ke oni diskriminacias ilin... La samon diras TASS kaj Moskva TV. Rezulto: Okcidento kredas tion.

5) Pri faŝismo. Atentu, ke en Baltio neniam eblas faŝisma reĝimo. Ĝi estis tie ĉiam nepopulara. Siatempe ni batalis kontraŭ faŝismo (700 jarojn ni batalis kontraŭ germanoj) kaj nun devas daŭrigi la samon kontraŭ komunistoj de la Sovetia Ruslando. Sed vere, faŝisma movado disvastiĝas en Ruslando, ĉefe en grandaj urboj, kiel Moskvo, Leningrado, Kazan, ktp ... Tio eblas pro grand-rusa ŝovinismo. Ĉu vi scias, ke miloj da hebreoj-judoj fuĝas el Sovetio nome pro tio? Mi povas diri eĉ

plu: Hitlera faŝismo estis kvazaŭ infana ludo kompare kun rusa-sovetia faŝismo. Ŝajne okcidento ne scias vere - volas scii pri tio neniom.

6) Tiu procezo, kio okazas nun en Baltio, estas plej unue nacia liberecbatalo kontraŭ okupantoj kaj imperialisma Sovetio. Ni agadas nur per parlamenta vojo laŭ internacia justico kaj pravo. Alia eblo mankas. Ni esperas nur al rajto esti suverena kaj memstara, ni esperas laŭleĝe renovigi nian respublikon. Ni esperis ankaŭ al demokratio kaj konscio, same al bona memoro de Okcidento. Bedaŭrinde ni jam multfoje spertis, ke same kiel en Sovetio, ankaŭ en Okcidento demokratio kaj internacia justeco kostas neniom. Grandaj ŝtatoj ĉiam estas pretaj por sekretaj kontraktoj kaj englutigo de malgrandaj landoj. Historio jam montris tion.

7) Pri Gorby. Komence, ek de 1985 ni ĉiuj kredis lin kaj esperis al li. En la jaro 1987 ni jam dubis pri li. Ek de jaro 1988 al ni ĉio estas klara. Li publike daŭrigas Stalinan linion. Kial Okcidento ne protestas okaze de tio, ke jam miloj da homoj estis mortpafitaj sur la placoj en Tbilisi, Baku, Karabakio, Taŝkent, kaj en aliaj lokoj? Ĉu Okcidento ne scias, ke sub bezonataj dokumentoj estis subskribo de li? Okcidento entute ne reagis al tio. Ĉiuj niaj respublikoj tutatempe dum longaj jaroj vivas sub kontinua

streso. Estas vera miraklo, ke nur en Baltio oni ne verŝis sangon ĝis nun! Kvankam eblecoj estis kaj estas (en la 15a/5 lokaj rusaj ekstremistoj penis faligi nian registaron, ĉirkaŭigis registaran domon, profanis nian standardon

blua-nigra-blankan. Nia ĉefministro turnis sin pere de radio al popolo kaj petis helpon. Post kelkaj minutoj tuta estona loĝantaro kuris surloken kaj tiel savis nian registaron. Sen armiloj, sen sango..)

----- 次子へつづく



相川節子

エスペラントを学習していると、自己紹介をする機会がけっこう多いのです。合宿、ザメンホフ祭、外国のお客様がみえたとき・・・

### ①名前

例： Mi estas Aikawa Setuko.  
Mia nomo estas Nakamura Hideo.  
Mi nomiĝas Sasada Yasuharu.

いくとおりの言い方がありますが、どれかひとつだけ覚えればよいのです。ただ、人の自己紹介を聞いてまごつかないよう、「いろんな言い方があるんだ」ぐらいは承知しておいてください。

わたしの印象に残っているのは、いつかザメンホフ祭で聞いた、田平稔さんのユーモラスな自己紹介です。"Mi estas Tahira, sed en Esperantujo oni nomas min edzo de sinjorino Tahira."

自分の気に入っているニックネームがあればついでに披露します。

例： Mi estas Kikusima Kazuko, alinome Krizantemo.

### ②住所

例： Mi loĝas en Kioto.  
Mi loĝas en urbo Uzi.  
Mi loĝas en la norda parto de gubernio Nara.

### ③年齢

例： Mi havas 45 jarojn.  
Mi estas 60-jara.  
Mia aĝo estas 19 jaroj.

これもいくとおりかあります。数詞の部分をはっきり発音すること。

### ④職業

言わないひとも多いのですが、自分の職業をエスペラントでどう表現するかは、知っておいた方がよいでしょう。

20年ぐらい前は、わたしの職業（臨床検査技師）が世間に知られていなかったのもので、日本語でもエスペラントでも説明がめんどうで、"Mi laboras en Hospitalo" でごまかすことにしていました。

例： Mi estas instruisto.  
Mi laboras en fabriko de teo.  
Mi estas dommastrino.

年齢と職業をいっしょに言うこともできます。

例： Mi estas 64-jara emerito.

### ⑤所属 Rond

例： Mi apartenas al Uzi-Esperanto-Rondo.  
Mi estas membro de Uzi-Esperanto-Rondo.

### ⑥エスペラント歴

年齢や職業は言わないひとでも、エスペラント歴は言うことが多いようです。お互いに、先輩か後輩かわかったほうが、あとの話がしやすいですね。

例： Mi eklernis Esperanton antaŭ tri monatoj.  
Mi komencis lerni Esperanton antaŭ kvin jaroj.

### ⑦趣味など

エスペランティストの団体には、写真、囲碁、アマチュア無線など趣味の集まりもあります。また、グループをつくるどころまでいなくても、合宿などで同好の士が見つかったら楽しいですね。

例： Mi amas muzikon.  
Mi ofte ludas tenison.  
Mia ŝatokupo estas fotado.

エスペラントをどう役立てたいかを話せば、先輩のアドバイスが得られるかもしれません。

例： En la venonta jaro mi vojaĝos en Suda Ameriko.  
Mi deziras havi multajn korespondantojn.

※頭の中で考えているだけでは、いざという時、口が動いてくれません。  
ふだんから声を出して練習しておきましょう。

ロバールの日本語訳

レオ・ロベールの 筆者紹介文

私は、バルト地方エストニアの首都ターリンに、女性エスペランティストの文通者をもっています。この国は、50年間ソヴィエト政権の支配下にあります。彼女は、2年足らず前、ペレストロイカで手紙の検閲告発のおそれがなくなって以来、専らこのテーマ（東欧の大変化）と国家の自由化について、たいへん詳しく書き送ってくれています。

私があれば説明するよりも、彼女のこの前の手紙の内容の方が、ずっと適切なので、その原文を同封します。あなた自身でご検討ください、彼女や同国人にとって特に重大なこの問題を、如何に情熱をもって説いているかを。私には彼女の言うことは、すべて理解できますが、でも心配なのは、そういう行動によって、自由になった国民たちが、ゴルバチョフをゆり動かし、遂には失脚させ、そしてその後、暴力的な保守共産党が現われ、流血をもってしても、かつての独裁共産党政権を再建しようとするのではないかということです。とはいうものの長い間抑圧されてきた人々の、熱い自由へのあこがれは、全く尊敬すべきであり支持すべきでありましょう。あんなに長い間多くの苦しみを経験してきた人々に対して、とやかく意見を述べるべきでないことを私は感じています。 . . . レオ・ロベール

(本文)

私は何も誇張しません。私の考えは、私個人だけのものでもありません。私の国はとても小さく、人々は寄りかたまって住んでいますから、全エストニアの人々の考え方を紹介できると思います。一方、

私たちには、またいわゆる西側の考え方もよく報道されています。(私たちだって西側の人間であったし、今もそうだと申し上げたら、フランスの人達はびっくりされますか?)そして近年、その西側報道で、私たちは残念ながら、たびたびデマにひっかかりました。私の話は、東欧の国々や、その国民のことばかりでなく、時には勿論、西側のすぐれた政治家のこともふれたいと思います。私たちの実状をより正確にわかっていただくために、以下の諸点について考えていただきたいと思います:

1) 1939年の地図を見てください。そして今お尋ねしますが、バルト海に面した3つの主権独立国家がどこへ消えてしまったのでしょうか、お考えください。3つの国は存在していました、でも消えています。何故? そして何処へ? この事件が、ヨーロッパで、民主的な西側の目の前で、起こったのでした。

2) バルト三国は、もう50年、半世紀も占領されているのです。あなたご自身、こんなに長期にわたる占領に耐えられますか? たとえばスペイン人とかイタリア人がフランスを占領し続けているとしたら、. . . そうなったら、あなたはどうかされますか? 喜んで従いますか?

3) 私たちは50年間、大量虐殺という状況のもとで生きてきました。ソヴィエト時代、エストニア人民、エストニア政府要人の1/3が殺されました。エリートはすぐ捕えられて、シベリアへ送られていきました。その人達は最初の犠牲者で、続いて



同じような運命が、いわゆる一般人にまでふりかかりました。こうして国民の三分の一が失われたのでした。それだけではないのです。

4) この50年間ソヴィエトで、50以上の少数民族が滅亡しました。こういう事実について、世界はほんとうに関心を持たないのでしょうか？ これらのことはすべて、共産党及び支配階級の計画的なせん滅政治であったし、今もそうなのです。いわゆる『ソヴィエト化された人間』を作り出そうというのです。内容は結局、すべての民族をすっかりロシア人に同化させようということです。こうして全面的なロシア化が行われてきました。そのため、ソヴィエト内の各民族はすべてロシア人とはうまくいっていません。ロシア人はこのことに罪はないのか、私たちは声を大にして追及したい。まさに彼らも同罪です。そのわけは、ロシア人たちはあの大量虐殺をずっと支持していたからです。ロシア人たちはソヴィエトのどこにでも行って住みつき、政治活動をするという特権を、ずっと持っていました。各共和国への大量侵入も、計画的でした。そうすることで共産党は、各共和国内でのソヴィエト権力を保証し守っていったのです。おかげで、エストニアの住民の40%はロシア人。そして今、その半数の人がエストニア共和国再建に反対しています。1939年当時、エストニア住民の92%はエストニア人であり、他国人は8%でした。今は、全くたくさんのロシア人で息がつまりそう、そしてエストニア人は自分の事を自分で決められないのです。まだその上に、この40%のロシア人たちは、自分たちのことを、エストニアの少数派(!!)国民と称し、自分たちを差別しているというのです。... タス通信とモスクワテレビは毎日これを報じ、結果、西側はこれを信じています。

5) ファシズムについて。申し上げておきますが、バルト地方に、いまだかつてファシズム政権が存在することなどあり得ません。ファシズムはこの地方では常に受け入れられないのです。戦前当時既に私たちはファシズムと闘ってきましたが(ドイツとは700年間の闘いでした)、今日、ソヴィエトロシアの共産主義者に対しても、同じような闘いを続けなければならないのです。しかしロシアのファシズム運動は本当は、モスクワ、レニングラード、カザンなどの大都市で広がりました。それができたのも、大ロシアの排他的愛国主義(シヨビニズム)があったからです。そのため、何千人というユダヤ

人がソヴィエトから脱出しているのをご存知でしょうか。更に言えることは、ヒトラーのファシズムはソヴィエトのそれと比べれば、子供の遊びのようなものでした。西側の人達は、ほんとうにご存知ないのか、それを知ろうともなさらないようです。

6) 今、バルト地方に進行しているこの動きは、先ず第一に、占領者と帝国主義ソヴィエトに対する国民的な自由化への闘いなのです。私たちは国際法と正当性に基き、専ら議会制への道によって行動しています。他に実現可能な方法はないのです。私たちは主権を持ち、独立する権利を求め、共和国の再建を合法的に実現したいのです。以前、西側の人達が抱いていたのと同じような、民主政治とその精神に望みをかけていましたが、残念ながら、ソヴィエトでも西側でも同様で、そんな民主政治や国際正義に何の価値もないことを、私たちは幾度も体験してきました。大国はいつも秘密協定をして、小国を併合しようとします。歴史はそれを物語っています。

7) コルビーについて。当初、1985年以来私たちは皆、彼を信じ彼に希望を託していました。1987年になって、私たちは彼を疑いはじめ、1988年には、すべてがはっきりしてきました。彼はスターリンの線を引きながら継続しているのです。何千人もの人が、トビリシ、バクー、カラバキオ、クシュケントなどの広場で銃殺されたあの時、西側はなぜ抗議しなかったのですか？ コルビーが、あの事件の必要書類に署名しているのを、西側は知らないのですか？ 西側はそれについて全く何の反応も見せませんでした。バルト三国は、こういった打ち続くストレスの下で、何年もずっと生き続けているのです。今まで、バルト三国にだけ血を流さなかったのは、全く奇跡というほかありません！しかし、流血の可能性は、やはり過去にもあったし、今もあります。(5月15日、ロシアから派遣された過激派の人達が、私たちの共和国を倒そうとして、政府の建物をとりかこみ、青・黒・白の国旗を冒瀆しました。首相はラチオを通じて国民に救援を求めました。数分後、エストニアの全住民が現地に入り、政府を救ったのでした。武器も使わず、流血もなく、...)

長谷川好史さんの「VOJAGEME」、今回お休みされました。風邪にやられたそうです。本誌創刊以来初めての休載で、珍しいこと。

## ザメンホフ祭あれこれ

Nia lastjara Zamenhof-festo okazis en la 8a de decembro, 1990, kaj en tio partoprenis deknaŭ geesperantistoj kaj unu etulino.



### SKEĈO-1

A, B, estas sinjorinoj (eble ne jaŭdaj ! ?)

A: Bonan tagon!

B: Bonan tagon!

A: Kiel vi fartas?

B: Mi fartas ... eble bone, kaj vi?

A: Dankon, tre bone.

Ĉu vi fartas eble bone?

B: Jes, eble.

A: Kial eble?

Ĉu vi estas iom malsana?

B: Ne, ne malsana, sed hieraŭ mia edzo estis tre sana tranokte!



### SKEĈO-2

A: Bonan tagon!

B: Bonan tagon!

A: Kien vi iros?

B: Mi iros al Maruŝo-magazeno.

A: Ne, vi ne iru al Maruŝo.

B: Kial? Mi volas aĉeti ion tie.

A: Ne, vi ne iru al Maruŝo, sed vi iru al Kintecu.

B: Kial? Hodiaŭ mi havas libertempon tre maloftan.

A: Ne, vi ne iru al Maruŝo!

B: Kial?

A: Kial? Ĉar, hodiaŭ estas mardo, ĝi estas fermata!

B: Ne gravas.

A: Kial ne gravas?

B: Kial ĉar, mi nur atendas tie mian amaton!

## 太陽の心

高木さつき

心を開いてみなよ  
青い空の  
おいしい風を  
飲んでみなよ  
緑の大草原を  
抱いてみなよ  
太陽の暖かさに  
触れてごらん  
自然の気持ち  
伝わった?  
皆、優しい気持ち  
でしょ?  
心を澄ませたら  
優しい気持ちに  
出会えるよ

KORO DE SUNO

trad. O--R--O

Malfermu la koron!  
Englutu la venton  
Blu-Ĉielan!  
Enbraku verdon  
Vast-herbejan!  
Tuŝu la sunon  
Kor-varmigan!  
Akiris vi l'animon  
de l'universo, ĉu?  
Ĉio estas simpatia  
al vi, ĉu?  
Kun koro puriĝinta  
Ni renkontos Ĉion.

[高木さつきさんは、奥村林蔵先生が「郵便友の会ニュース」にエスペラントのことを投稿した時、おたよりをくれて、知りあった人。こんな詩をつくる人。そこで奥村先生、ちょっとエス訳されました。]



### 今年の国内大会

今年の関西大会は、6月22日(土)  
(会場:神戸タワーサイドホテル)、6月  
23日(日)(会場:芦屋ルナホールお  
よび隣接の芦屋市民センター)で  
開かれます。

日本大会は、8月24~25日、  
吹田市、阪急吹田駅前のメイシアター  
で開催されます。



## MAŝINETO



En najbara ĉambro, tre amikaj geknaboj reciprokas gajan konversacion inter si.

Knabino demandas:

"Kio estas tio?"

Knabo respondas:

"Ĉi tiu estas maŝineto."

"Kies maŝineto ĝi estas? Kiel ĝi Funkcias?"

"Ĝi apartenas al mi kaj samtempe al vi. Mi instruos al vi uzmanieron."

Iom da tempo daŭris silento. Fine la knabino demandas:

"Nia maŝineto ne moviĝas jam! ... Kio okazis?"

La knabo respondas dormeme:

"Ties baterio estas elĉerpita..... Atendu iom da tempo. Ĝi nun kolektas elektropovon."

うるさい Lernanto

松原いくの

「せんせい。//肩を叩く//は //Frapeti la ŝultron //でよろしいか？」

「いいえ。//frapeti sur la ŝultro //とします。」

「肩を叩くんだから、//肩を//を目的格にしては いけないんですか？」

「英語でも . . .」

「せんせい。私、英語はあまり知らないのです。日本語と、エスペラントを少々しか知らないのです。日本語かエスペラントの例で、おしえてください。」

博学で、外国語をたくさん知っている人は、ともすれば、その外国語で説明しようとして、けれども、これはエスペラントの用法の問題なのです。

このうるさい Lernanto に、外国語の例を引かないで、どう答えたら、教えたら、よろしいか？  
//頭をぶつ//、//財布をすりとられる//、//手を引っ張る// KTP?



ザメンホフ祭当日会費会計報告

|                   |        |  |
|-------------------|--------|--|
| 収入                |        |  |
| 当日会費 1,000円× 19 人 | 19,000 |  |
| 緑丘会本会計より補助        | 471    |  |
| 計                 | 19,471 |  |

|         |        |  |
|---------|--------|--|
| 支出      |        |  |
| 紅茶・コーヒー | 5,871  |  |
| 米由お菓子   | 12,500 |  |
| 中山果実店   | 1,100  |  |
| 計       | 19,471 |  |

1990.12.10 会計係 牛島美恵子

ザメンホフ祭(12.8)Libro-Servo会計報告

|            |       |
|------------|-------|
| 寄贈図書売上     | 5,850 |
| KLEG図書売上純益 | 1,615 |
| 計(本会計繰入れ)  | 7,465 |

KLEG図書売上収入内訳

|          |         |
|----------|---------|
| 売上総額     | 35,330  |
| KLEGへの支払 | △31,635 |
| 図書送料(往復) | △ 1,970 |
| 送金手数料    | △ 110   |
| 差引       | 1,615   |

1990.12.10 図書販売係 松下享代

クレマン・よしえさんの長男、  
トーマス君、日本に在住。  
兵役拒否の代りの病院勤務を終え  
たトーマス君は、去る1月8日(火)  
日本は群馬県太田市のよしえさんの  
実家に在任し、太田東高校に入学の  
手続きをすませ、日本での勉強にと  
り組みます。学校は4月からなので  
それまでに準備をし、3月には暇を  
見て、関西方面を廻るとのこと。  
(1月12日 荒よしえさんより)



〔前号誤字訂正〕

- P.2. 左段↑ 1. landaj ⇒ landoj  
 P.7. かも 記事下の行の頭、4. が 削れている。  
 P.9. ↑ 13. ,kiam の次に la を 挿入。  
 この la は、「は」でなく、「が」が 対応 する。  
 P.12. 詩の 最下行、memori の次に ne を 挿入。

# 和歌山緑丘会

Wakayama Klubo VERDA MONTETO

会費の払込は、郵便振替をご利用ください。

振替番号 [大阪 6-3630]

名 儀 和歌山緑丘会

会費は年 3,000円、家族、学生1人 1,000円。

会計係 和歌山市狐島65012 牛島美恵子

会費払込の方は、月曜、木曜の講座受講料は無  
料となります。



[活 動]  
★月曜講座 (1987年7月開始)  
毎週月曜日 午前10:30~12:00  
和歌山市九番丁、和歌山喫茶「けまり」3階  
(市役所の北 100メートル)

現在のテキスト  
POEZIA BUKEDO (詩の花束)  
Bertram Potts 著 950円  
NESENDITAJ LETEROJ EL JAPANIO (送迎帖  
つた日本だめ) Spomenka Štimec 著 500円

現在の出席者  
唐妻尋子、小林充佐子、杉浦真実、  
鈴木政子(連絡係)、福本信子の皆さん。

★木曜講座 (1984年11月開始)

毎週木曜日 午前10:30~12:00

和歌山市元寺町南ノ丁、サロン「会」

(長崎屋の西南 100メートル)

現在のテキスト 月曜と同じ

現在の出席者

上中章子、亀井幸枝、西原未佳子(連絡係)

船浜明美(新人)、吉富相子の皆さん。

時々、松下享代さん。

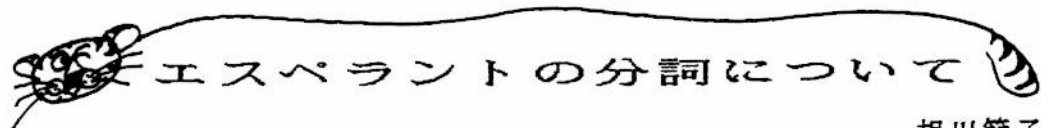
★土曜おしゃべり会  
毎月第一土曜日 午後1:00~3:00  
市駅前、英国屋喫茶店2階  
テキスト、会費不要、但し各自飲み物など、  
勝手に注文して、自由におしゃべり。

現在の出席者  
牛島美恵子、江川治邦、斎藤久美子、  
田中正美、谷上 屹、長谷川好史、  
福本博次 (Konstanta Zorganto)  
の皆さん。

★隔月刊「VERDA MONTETO」誌発行

# VERDA MONTETO

Redaktita ĉe MAEDA Yonemi (dumonata) N-ro 64



## エスペラントの分詞について

相川節子

分詞と呼ばれる接尾辞は6つあります。

|       |            |
|-------|------------|
| -ant- | 継続 (現在) 能動 |
| -int- | 完了 (過去) 能動 |
| -ont- | 未然 (未来) 能動 |
| -at-  | 継続 (現在) 受動 |
| -it-  | 完了 (過去) 受動 |
| -ot-  | 未然 (未来) 受動 |

現在・過去・未来と呼ぶのがわかりやすいかもしれませんが、継続・完了・未然という呼び名の方が各分詞のはたらきを正確に表現しています

### 能動分詞・形容詞として使われる例

|                     |           |                  |
|---------------------|-----------|------------------|
| dormanta infano     | 眠っている子供   | ( dormi 眠る )     |
| brilanta suno       | かがやいている太陽 | ( brili かがやく )   |
| promenantaj geedzoj | 散歩している夫婦  | ( promeni 散歩する ) |
| velkinta floro      | 枯れた花      | ( velki しおれる )   |
| pasintaj tagoj      | 過ぎ去った日々   | ( pasi 過ぎる )     |
| venonta gastoj      | 来る予定のお客   | ( veni 来る )      |
| mortonta hundo      | 死に瀕している犬  | ( morti 死ぬ )     |

※来週、来月はふつう la venonta semajno, la venonta monato  
と言います。

esti + 能動分詞というかたちの複合時制はあまり使われません。ほ  
かのもっと簡潔な表現で同じ意味を表すことができるので、必要がな  
いからです。しいて例文をつくると、たとえば次のようになります

|                     |                     |
|---------------------|---------------------|
| Li estas parolanta. | 彼は話しているところだ。        |
| Li estas palolinta. | 彼はもう話し終えた。          |
| Li estas parolonta. | 彼は話そうとしている。         |
| Li estis parolanta. | 彼は話しているところだった。      |
| Li estis palolinta. | 彼は話し終わっていた。         |
| Li estis parolonta. | 彼は話そうとしていた。         |
| Li estos parolanta. | 彼は（その時）話しているところだろう。 |
| Li estos palolinta. | 彼は（その時）話し終えているだろう。  |
| Li estos parolonta. | 彼は（その時）話そうとしているだろう。 |

分詞が形容詞として使われる場合は、普通の形容詞と同じように対格  
語尾や複数語尾がつきます。

Li forĵetis la velkintajn florojn. 彼は枯れた花を捨てた。

ところが動詞としての機能も持っているので、目的語をともなうこと  
もできます。

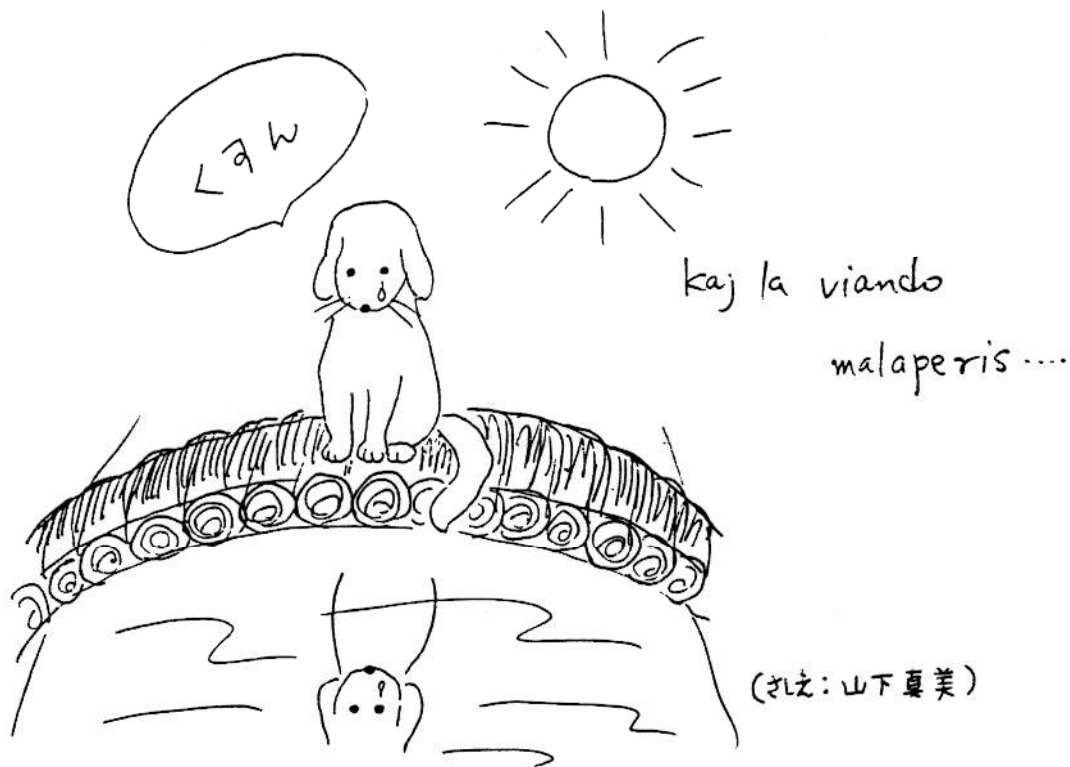
virino aĉetanta libron 本を買っている女性（aĉeti 買う）

Sur ponto staras hundo tenanta viandon en la buŝo .

口に肉をくわえた犬が橋の上に立っている。

( ponto 橋      teni 保持する      viando 肉      buŝo 口 )





能動分詞・副詞として使われる例

Promenonte mi surmetis ŝuojn.

散歩に行こうと靴を履いた。( surmeti 身につける )

Promenante mi ĝuis la pejzaĝon.

散歩をしながら景色を楽しんだ。( ĝui 楽しむ pejzaĝo 景色 )

Promeninte mi trinkis lakton.

散歩をしてから牛乳を飲んだ。( trinki 飲む lakto 牛乳 )

Skribonte leteron mi serĉis paperon.

手紙を書こうとして便箋をさがした。( papero 紙 )

Skribante leteron mi konsultis vortaron.

手紙を書きながら辞書をひいた。

( konsulti 相談する、参照する )

skribinte leteron mi ordigis sur la table.

手紙を書いてしまって机の上を片付けた。

( ordigi 秩序だてる、整理する )

副詞としての能動分詞は実際にはそうしばしばは使われません。ここにあげた例文は、分詞のはたらきを説明するためのもので、よい表現とは言えないものも混じっています。たとえば *promeninte mi trinkis lakton* は、*post la promeno mi trinkis lakton* とする方がすっきりした表現になります。(文脈にもよりますが)  
*estante* は、「～でありながら」というニュアンスで使われることがあります。

*Estante studento, ŝi bone enspezas kiel manekeno.*

学生の身で、彼女はモデルとしてよい収入を得ている。

( *studento* 学生 *en-spezo* 収入 *manekeno* マネキン、モデル )

### 能動分詞・名詞として使われる例

-anto は多くの場合～する者という意味で使われます。

|                   |         |                            |
|-------------------|---------|----------------------------|
| <i>vojaĝanto</i>  | 旅行者     | ( <i>vojaĝi</i> 旅行する )     |
| <i>lernanto</i>   | 生徒、講習生  | ( <i>lerni</i> 学習する )      |
| <i>gvidanto</i>   | 案内人、指導者 | ( <i>gvidi</i> 案内する、指導する ) |
| <i>loĝanto</i>    | 住人、住民   | ( <i>loĝi</i> 住む )         |
| <i>komencanto</i> | 初心者     | ( <i>komenci</i> 始める )     |

|                                         |                      |
|-----------------------------------------|----------------------|
| <i>la loĝantoj en urbo Uzi</i>          | 宇治市の住民               |
| <i>la partoprenantoj en la kongreso</i> | 大会の参加者               |
| <i>la legantoj de La Revuo Orienta</i>  | La Revuo Orienta の読者 |

-into は～した者、-onto は～しようとしている者です。

|                                  |             |
|----------------------------------|-------------|
| <i>la tradukinto de la libro</i> | その本を訳した人    |
| <i>la finintoj de la kurso</i>   | 講習会の卒業生     |
| <i>la kreinto de Esperanto</i>   | エスペラントを創った人 |

*La partoprenontoj en la kongreso nun pagu la kotizon.*

大会に参加する人は参加費を今払ってください。

( *pagi* 払う *kotizo* 会費 )

受動分詞 形容詞として使われる例

|                     |                               |
|---------------------|-------------------------------|
| atendata gasto      | 待たれているお客 (atendi 待つ)          |
| amata filo          | 愛されている息子 (ami 愛する)            |
| fame konata libro   | よく知られた本<br>(fama 有名な koni 知る) |
| nun konstruata domo | 今建設中の建物 (konstrui 建てる)        |

|                        |            |
|------------------------|------------|
| donacita floro         | 贈られた花      |
| fermitaj okuloj        | 閉じられた目     |
| letero ricevita hieraŭ | きのう受け取った手紙 |

|                                    |                |
|------------------------------------|----------------|
| domo konstruota en la venonta jaro | 来年建てられる(予定の)建物 |
| floroj donacotaj al ŝi             | 彼女に贈られる(予定の)花  |

La domo estis konstruata.

建物は建設中だった。

La domo estis konstruita.

建物の建設はすでに終わっていた。

La domo estis konstruota.

建物は建設される予定だった。

esti + 受動分詞のかたちは、esti + 能動分詞に比べればよく使われますが、それでも、ほかの言い方をする方がよい場合もあります。分詞体系はエスペラントに表現力の豊かさをもたらしている大きな要素のひとつですが、esti を伴わない使い方こそその価値が発揮されると言えます。なお、受動文では動作の主体を前置詞 de で示します。esti + 受動分詞の例をいくつかあげておきます。

La libro estas legata de multaj esperantistoj.  
= La libron legas multaj esperantistoj.

La libro estos legata de multaj esperantistoj.

= *La libron legos multaj esperantistoj.*

La libro estos legita post unu semajno.

= *La libron mi finlegos post unu semajno.*

( fin-legi 読み終える )

La libro estas aĉetita de li hieraŭ.

= *La libron li aĉetis hieraŭ.*

La Libro estas presota en Hungario.

= *La libron oni presos en Hungario.*

( presi 印刷する Hungario ハンガリー )

#### 受動分詞・副詞として使われる例

Kaptote li forkuris. 捕まりそうになったので逐電した。

( kapti 捕らえる for-kuri 走り去る、逃げる )

Ŝi hejmeniris akompanate de la fianĉo.

フィアンセに送ってもらって家に帰った。

( hejmen-iri 家に帰る akompani 同伴する fianĉo 婚約者(男) )

Ordonite ŝi iris al la arbaro en neĝo.

言いつけられて雪の中を森へ行った。

( ordoni 命令する arb-ar-o 森 neĝo 雪 )

#### 受動分詞・名詞として使われる例

-ato は能動分詞同様、～される者の意味で使われるのが普通です。

regato 被支配者 ( regi 支配する )

amato 愛されている者、恋人

konato 知人

premiito 授賞者 ( premio 賞 )

invitito 招待客 ( inviti 招待する )

( fino )



エストニア、ターリンに住む女性エスペランチストの、国情についての手記をフランス、レオ・ロベールを通じて手にいれ、筆者の許可ももらいました。

人はさまざまに物を考え、どの人の考えが中正不偏であるのか、すぐには判断はできません。このエストニアの女性の手記も、読む人によって、かなり奇異と見るか、偏っていると見るか、これが真実と見るか、各様でしょう。

編集子も、ひとつの見方を出しておきます。『西側は、TASS通信にまどわされている。ゴルビーはツアーだ』とまで言いきるこのエストニア人の、隣国に対する激しい不信感、いったいどこからくるのでしょうか。去年12月29日NHKテレビ、『世界が動いた!! 揺らぐソ連・模索する東欧(2)バルトの悲劇』は、これに答えるかなり中正な情報と私は思いました。

ところで、こうした不信感をなくすることが、平和の基盤となると思うのですが、各国では、歴史教育でどんどんこの不信感を育てているように思うのです。人間として避けられないことなのでしょうか。 . . .

前田

Tiel Gorby ne estas aŭtoritata tutsovetie. Vi skribas pri nigraj fortoj, kiuj povus ekaperi post li. Atentu, ke li mem plej unue prezentas nigrajn fortojn. Li nur volas konservigi t.n. "statu quo" (ekzistanta stato). Ne pli. Li ne volas kaj ne kapablas solvi verajn problemojn. Neniu kredas plu je li. Li ĉirkaŭigis sin per plej konservativaj politikistoj. Ni bone scias lian demagogion. Ĉu estas juste konduki tiel kun Baltaj landoj? Blokado, mensogo, ĉiutagaj minacoj, demonstrado de milita forto, ktp... Ankaŭ falsigado de historio. Okcidento vidas tion, sed silentas aŭ eĉ

apologias lin. Ni hontis, kiam ni vidas ĉe TV liajn renkontiĝojn eksterlande kaj precipe reagojn de publiko. Ĉu eŭropanoj estas vere blindaj? Ŝajne demando estas en unuflanka kaj malsufiĉa informado. Mankas rekta kaj objektiva informo por okcidento, vi ricevas nur kastritan informon pere de TASS.

8) Printempe ni elektis laŭ demokratia vojo novan estonan registaron, kiu konsistas el 105 personoj. 30 personoj el ili estas rusoj, lokaj "internaciistoj". Imagu nun, kiel malfacile estas labori, decidi, proponi, ktp.... se 30

personoj ĉiam kontraŭstaras kaj blokas aferojn. Tamen sukcesis deklari, ke Estonio ne estas plu sovetia. Nia respubliko havas nun oficiale novan nomon: Estona Respubliko. Sed tio estas nur deklaracio; ĝis nun ni estas okupata. Por tri homoj estas tie unu soldato. Nia lando estas plenkomprena de ruĝa armeo. Ankaŭ ni postulas, ke armeo estu portata for same, kiel en Germanio, ĉeĥoslovakio, Hungario, ktp...sed. Moskvo eĉ ne respondas al ni! Niaj junuloj rifuzis al servado en okupacia armeo kaj ne volas partopreni en punoperacioj ĉe aliaj popoloj. Atentu, ke unu celo de Moskvo estas kvereligi unu popolon kontraŭ alia. Tion oni faras jam dum kara tempo. Kompreneble tio estas por Moskvo utila; tiuj estas okazo enmiksiĝi.

Do konklude, ni konfidas en nia registaro(ĝenerale dirinte) 75 personojn. Ili vere penas renovigi Estonan Respublikon; estona popolo subtenas ilin. Aliaj 30 personoj daŭrigas linion de Moskvo, ili estas tie kiel t.n. kvina kolono. Senelira stato. Sed Baltaj landoj ne volas plu subiĝi al diktado de Moskvo.

9) Kiel eblas, ke litovoj, latvoj, kaj estonoj entute ekzistas ankoraŭ? Ankaŭ tio estas miraklo. Kaŭzo estas en nia kulturo, lingvo kaj nacia konscio. Ni ne fariĝis "homo soveticus". Gravis, ke niaj universitatoj estis kaj restis nacilingvaj (nur en Baltio!). Atentu, ke Moskvo intencis malpermesi nacilingvajn universitatojn, sed dank' al niaj protestoj ne sukcesis

ankoraŭ fari tion. Niaj literaturo, arto, muziko, kaj precipe nacia konscio, helpis nin. Ni ankoraŭ ne forgesas historion. Nia unusola kulpo estas en tio, ke ni estas tro malgranda popolo, nur 1 miliono. Okcidento, montru vian rilaton al internacia justico kaj al homaj rajtoj! Okcidento, vi havas sufiĉe da eblecoj limigi totalan antihomaran sovetian reĝimon. Sovetio restas ĉiam danĝero por la tuta mondo. Nur Henry Kissinger iam pravis, kiam li diris, ke potenco de unu partio anstataŭiĝas per potenco de unu homo. Tiel estis! Gorby estas jam caro.

Kara amiko, eble mi jam tedis vin per longa letero. Mi "disputis" ne kun vi, sed kun bela Francio. Volonte ankaŭ kun Mitterand ... Ankaŭ li estas tro singardema okaze de Moskvo. Estas la lasta tempo rekte diri al Gorby: vi devas fini okupacion en Baltio. Se Okcidento laŭtvoĉe tiel farus, li devus atenti tion.

Ankoraŭ, fakte Sovetio kaj ankaŭ baltaj landoj jam malsatas. Mankas ĉio. Sed ni, baltlandanoj, ne protestas pro kolbasomanko. Ni scias, ke plej unue ni devas esti politike liberaj, nur tiam al ni eblus solvi ekonomiajn problemojn.

---

Jen do dokumento, kiun verŝajne oficialaj informiloj ne publikigus. Sed dank' al Esperanto, rekta informo ebligas havi bildon pli komfortan al la reala situacio...

ゴルビーは、ソヴィエト内全体では、権威はありません。彼が去った後、黒い勢力が台頭してこないかと、あなたの手紙にありました。でも彼自身まっ先に、その黒い勢力を覗かせているのです。彼はただ、いわゆる「statu quo」（現状）を保持してゆきたいと思っているだけで、それ以上の何ものでもありません。ほんとうに問題を解決する気持ちもないし、その能力もないのです。もうこれ以上彼を信じる者はいません。彼は自分のまわりを、最も保守的な政治家にとりまかせているのです。彼の扇動的なやり方は、私たちはよく承知しています。バルト三国への、あのやり方は正しいといえましょうか？

封鎖、虚偽、連日の威嚇、武力示威、... それに歴史の歪曲。西側はそれを見ながら、何も言わず、時には彼を弁護させているのです。彼が外国で会見したり、殊にその時の大衆の反応をテレビで見て、恥ずかしく思いました。ヨーロッパの人達は、ほんとに何も見えないのでしょうか？たぶん問題は、一方的なそして不十分な情報にあるようです。西側に対する直接的、客観的な情報が欠けていて、あなたはTASSからの去勢された偏った情報しかうけていないのです。

8) この春、私たちは民主的なやりかたで、エストニアの新しい政府を選びました。105人で構成されています。そのうちの30人はロシア人、派遣された国際部隊。考えてみてください、もしこの30人が反対をくりかえし、議題を阻止するなら、国会で活動し、提案し、決議したりしていくのが、どんなに困難なことかを。しかしエストニアは、もはやソヴィエトではないことが宣言できました。私たちの共和国には今、公式に新しい名前がつけました：エストニア共和国。でもこれは単なる虚言。今でも私たちは占領されています。3人に1人は軍人。国は赤軍でいっぱいです。ドイツやチェコ、ハンガリーなどと同じように、軍隊は退去させてほしいと、私たちも要求しています。しかしモスクワは返事もしてくれません！若者たちは占領軍で働くことを拒否し、~~他~~民族への制裁行動には参加しようとはしません。モスクワのねらいのひとつが、民族間に紛争を起こさせることにあるので、注意すべきです。これは、ツァー時代に既に行われていました。勿論、モスクワにとっても、そうなれば有利；つけこむチャンスとなるわけです。

結局私たちは、政府（普通に言う）の中で、75人を信頼しています。彼らは条件が困難なのにもかかわらず、真面目な仕事をしています。エストニア共和国を再建することによく努力をしています。エ

ストニア人たちは彼らを支持しています。他の30人は、モスクワの線を通しています。いわゆる第五の柱。（敵に通じている部分）。出口のない状態です。か、バルト三国は、これ以上モスクワのいうままになる気持ちはありません。

9) リトワニア、ラトビア、エストニアの三国はどうすれば完全に生き残れるでしょうか？これもまた奇跡です。私たちの文化、言語、国民の意識という問題が、この前に横たわっています。私たちは、『ソヴィエト化された人間』にはなりませんでした。特に申し上げたいことは、エストニアの大学では、ずっとエストニア語で通したことです。（これは、バルト三国だけでした！）。モスクワは大学において国語で講義することを禁止しようとしたが、私たちの抗議によって、未だに実現していません。私たちの文学、芸術、音楽、そして国民の意識が私たちを助けたのです。私たちはまだ歴史を忘れていません。ただひとつ困るのは、国があまりに小さいこと。たった100万人。西側の皆さん、国際法と人権についてあなた方はどう関わっておられるのか、意志表示してください。ソヴィエトの全体主義的な、非人間的な政権を充分制御できる力をあなた方は持っておられます。ソヴィエトは全世界にとって、やはり危険です。ただ、ヘンリー・キッシンジャーのいつか言ったことば「一政党の権力が、一個人の権力にとってかわった」というのは、正しいと思います。その通りだったのです。ゴルビーはもうツァーです。

親愛なる友よ、私の長い手紙で多分貴方は退屈されたことでしょう。私が「議論をしかけていた」のはあなたではなく、美しいフランスへ、それに、ミッテランへも進んで申し上げたい... ミッテランはモスクワに対して慎重すぎます。ゴルビーに対して直接『あなたはバルト地方の占領をやめねばなりません』といえる、今が最後の機会です。西側がもし声を大にしてそういったら、ゴルビーも考えざるを得ないでしょう。

現実、ソヴィエトもバルト諸国もまだ馴えています。すべてが不足しています。しかし私たちバルトの国の人々は、ソーセージがないからといって、文句を言いません。まず第一に、政治的に自由にならねばならないことは、よくわかっています。その時になってこそ、経済問題が解決できるのです。

（以下は、レオ・ロベールのまとめ）

以上の手記は、おそらく公共の報道機関にとりあげられることはないでしょう。エスペラントあってこそ、直接的なこんな通信によって、実状を、より確かな実像にすることかできるのです。





Festo.



Nombraj muzikistoj tamburas kaj blovas,  
ĉiuj gute ŝvitas, Defilas lanĉaro,  
la fajresoldatoj tuj poste paradas  
kaj magistratanoj kaj ĉiuj infanoj.  
Multnombraj gapuloj la stratojn invadas,  
ili krias, aplaudas. Svingas la manoj.  
Hodiaŭ okazas la vilaĝa festo.

En arbo, nuntempe, belaj birdoj kovas  
ĉe trankvila loko de l'urba remparo.  
Tri idoj naskiĝis en la dolĉa nesto.  
Por beknutri ilin gepatroj foriras.  
Tuj ili revenas, estas vera festo.  
la birdidoj voras, iom pli deziras.  
Hodiaŭ okazas festeno en nesto.



Kaj por la insektoj kiujn ili manĝas!  
Kaj por la vermetoj kiujn ili voras!  
Ĉu okazas festo? Nenio ŝanĝiĝas.  
Kiam kelkaj ridas la aliaj ploras.

Jeannier

Festo

Nombraj muzikistoj tamburas kaj blovas,  
Ĉiuj gute ŝvitas. Defilas fanfaro.  
La fajrosoldatoj tuj poste paradas  
kaj magistratanoj kaj Ĉiuj infanoj.  
Multnombraj gapuloj la stratojn invadas,  
ili krias, aplaudas, svingas la manoj.  
Hodiaŭ okazas la vilaĝa festo.

En arbo, nuntempe, belaj birdoj kovas  
ĉe trankvila loko de l'urba remparo.  
Tri idoj naskiĝis en la dolĉa nesto.  
Por beknutri ilin gepatroj foriras.  
Tuj ili revenas, estas vera festo.  
La birdidoj voras, iom pli deziras.  
Hodiaŭ okazas festeno en nesto.

Kaj por la insektoj, kiujn ili manĝas!  
Kaj por la vermetoj, kiujn ili voras!  
Ĉu okazas festo? Nenio ŝanĝiĝas.  
Kiam kelkaj ridas, la aliaj ploras.

Jeannier  
(フランス)

ところで、小鳥たちが食べる昆虫にとって、  
そして、雛たちがむさぼり食う小虫にとって、  
お祭りがあるのですか？ 別に・・・何も、でも  
笑うものがある時、一方では立くものがあるのです。

ジャンニエ  
(フランス)

Esperante vian proksiman, longan leteron mi  
sendas al vi, al via familio, kaj al esperantistoj de via  
grupo miajn elhorajn salutojn.

Amike via

Wavy

ジャンニエさんから  
皆さんへ  
ごあいさつ

お祭り



楽士さんが大勢、太鼓をたたきラッパを吹き、  
みんな玉の汗をかいて、ブラスバンドが行進しています。  
そのすぐ後を消防士さんたちが続き、  
お次は役所の人達、村の子どもたち、  
通りを陣取っているのは、たくさんのやじ馬、  
皆、どなったり、拍手したり、手を振ったり、  
今日は、村のお祭りです。

木の上では今、きれいな小鳥たちが雛を育てています。  
まちを取り囲む城壁の、静かなところで。  
3羽の雛が、ふかふかの巣の中で生まれました。  
くちうつしに与える餌をさがしに、親鳥が飛び立ちます。  
でもすぐ帰ってきます。さあ、ほんとのお祭りです。  
雛たちはむさぼり食い、もっとほしがります。  
今日は、小鳥の巣の中でも お祭りさわぎです。

短信：ドイツのトーマス・クレーマン君、日本滞在中でしたが、本国の大学の入学手  
続きのため、京都・奈良見物は遂にあきらめて、3月13日(水)離日されました。

# VERDA MONTETO

Redaktita ĉe MAEDA Yonemi (dumonata) N-ro 65



排水設備がよくないので、一雨くると道路はこの有様。

仙都大旅社  
VIENG FAH HOTEL  
8175  
VOJAGEME  
バンコック  
(最終回)  
HASEGAŪA JOSIHUMI

Sept. 1975

En la 22-a tago mi foriris de Londono per aeroplano, kaj noktomeze mi atingis Bangkokon tra Teherano kaj Karaĉo.

Kiam mi staris sur la vojo antaŭ la flughaveno de Bangkoko, ŝoforo de privata taksio proksimiĝis al mi, kaj prezentis la hotelon. En tiu hotelo mi pasigis 4 tagojn dum vagado en Bangkoko pro la komforto.

Promenado sur strato en Bangkoko estis tre interesa.

Varprezo estis malkara. Raraj aspektoj estis tre multaj por mi.

Tajlandaj literoj estas ne kompreneblaj al mi. Mi ne povis legi indikpanelojn. Kaj tial mi demandis la celatan stacion en angla lingvo al la altlernejaj studentoj, kiam mi veturis per la buso.

Taksio, kiun uzas tajlanda popolo, estis malpeza tricikla aŭto. Sed mi veturis nur unu fojon, ĉar oni devas intertrakti

pri la prezo, antaŭ ol oni veturas per ĝi. Kompreneble la aŭto ne havis la prezmezurilon. La ŝoforo postulis pli altan prezon al alilandanoj.

Mi ofte manĝis tajlandan vermiĉelon. Ĝi estis tute malsama al japana, sed estis tre bongusta. Kaj mi manĝis mangaĵojn de moviĝebla budo. Ankaŭ skrapita glacio ornamita estis vendata tie.

Mi eniris en unu kafejon. Trinki kafon estas luksa por tajlandanoj. Tial kafo estas multekosta. En tiu kafejo multaj japanaj bildorakontaj gazetoj estis metitaj. Eble japanaj oficistoj ofte vizitus ĉi tiun kafejon.

Nun estis septembro, pluva sezono en Tajlando. Subite pluvas tre multe, sed baldaŭ



あみやげは、コブラとマングースのはく製。



路上の物売りに かわいい女の子。

ĉesigas. En Bangkoko drenado estas tre malbona, kaj tial stratoj tuj ŝanĝigas al rivero post la pluvo. Paŝantoj iras portante siajn ŝuojn tra tiu rivero. Aliflanke infanoj pisas en tiu rivero. Tial tiu rivero estas tre malpura.

Sed mi volas denove viziti interesan urbon Bangkokon. 4 tagoj en tiu urbo tuj pasis.

En Bangkoko raraj memoraĉetaĵoj estis multaj, mi aĉetis bestremburaĵojn de kobro kaj mungoto.

En ĉi tiu vojaĝo mi vizitis multajn landojn, mi ofte uzis anglan lingvon, sed angla lingvo ne estas universala. Mi esperas, iam oni povos libere vojaĝi per nur unu lingvo tre facila.

(fino)

フセインは残虐な独裁者、  
でも、独裁者の最たるものはブッシュ  
そして、UN（国連）は信頼できない！



と、湾岸戦争をはげしく批判するのは  
スエーデンの Jim Hornö さん、詩をたくさん投稿してくれています。  
高岡市の角尾政雄先生のご好意で掲載できました。



## PACMILITO

Jim Hornö

Jam de longe, mi pro la fizika domaĝo ne povis krei artaĵojn el ŝtono kaj osto, sed mi skribis multon kaj partoprenis en la gazeta polemiko pri la Persa golfmilito. Certe Saddam Husein estis kaj restas brutala fripono kaj diktatoro, sed la plej granda diktatoro estis Bush, kiu starigis ultimaton: "Saddam devas elmarŝi el Kuwaito la 15an de januaro, alie mi ordonas militon." UN, kiu komence decidis pri sankcio kontraŭ Irako por devigi lin aboli sian okupacion de Kuwaito, nur post du monatoj klinis sin antaŭ postulo de la Usona imperialismo kaj donis al la amerikaj militfortoj verdan lumon por la milito kontraŭ malfeliĉa sendependa Kuwaita popolo.

Mi kreis poemon pri tio!

### PACMILITO

Uno, la pacmakleristo turnis sin for  
Kiam USONO perfortis Vjetnamion  
Laoson Kamboĝon  
Grenadon Panamon,  
Kiam Anglio perfortis Falklandajn insulojn  
Kiam Irako perfortis Iranon.

Uno, la pacmakleristo donis verdan lumon  
por Uson-milito kontraŭ Irako.  
Jes, nun UN sankciigis la uson-militon kontraŭ Irako,  
ĉar tiam ĝi konvenis al Usono.

Sed kiam Irako perfortis sian najbaran landon Iranon  
UN ŝajnis nenion vidi,  
ĉar je tro da tempo, Usono kaj la ceteraj  
okcidentaj ŝtatoj faris brile profitegajn negocojn  
dum la 8jarojn longa milito.

Konscia socialisma homo neniam fidis al Uno,  
ĉar ĝi estas post la dua mondmilito  
konstruite de la kapitalismaj grandŝtatoj  
por iliaj interesoj.  
Ĝiaj statutoj kaj reguloj decidas ke  
ĝi per pacaj rimedoj solvos  
la ekaperontajn konfliktojn inter la ŝtatoj.  
Sed tio neniam okazis.

Mia opinio pri la pacorganizo UN, mi esprimas en tiu ĉi poemo:  
UN estas la fiservema ino de la grandpotencoj.  
La urba stratulino estas en la kamparo  
neĝblanka anĝelo.



**Hornö: La sveda Rotkviĉ?**

En la 3-a literatura konkurso "Ivo Rotkviĉ", organizita de Zagreba E-Ligo, la solan unuan premion kaptis Jim Hornö (Gotenburgo, Svedio) pro sia poemo *Himero* (supre). Gonçalo Neves (Portugalia) gajnis duan premion en la poezia kaj proza branĉoj.

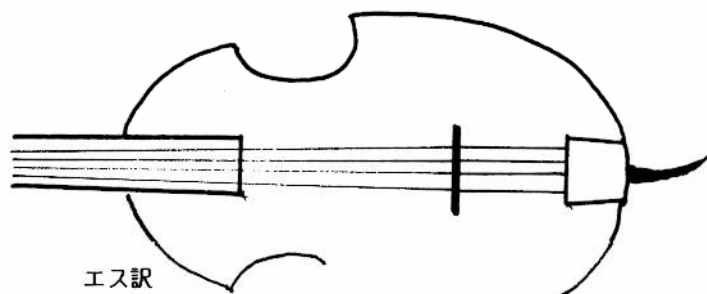
-UEA Esperanto, 4月号-

**Himero**

*Iam kaptis min  
kvazaŭ la tineon lampolumo  
alloga belega bildo  
sed baldaŭ montriĝis ĝi  
trompe falsa.  
Ĝi blindigis tiom  
ke mi forlasis  
la varman lumrondon  
en kies mezo brilis  
kare kaj fidele  
ridetanta radianta suno.*

*Frosta mi en kruda ombro  
kaj resopiras mian sunon.*

**Jim Hornö**



エス訳

「セロ弾きのゴーシュ」 (GOOŜ LA ĈELISTO)

あまりにも有名な宮沢賢治のこの短編童話「セロ弾きのゴーシュ」のほか、18篇がエスペラント訳で出版されました。訳は野島安太郎さん。この Majstroが苦心の訳を更に更に推敲されたそうで、原文と対照しつつ、エスペラントの勉強しながら、宮沢賢治をもういちど観賞する好適な本です。

ちょっとやってみます。ゴーシュの冒頭：

GooŜ okupiĝis pri ludado de violonĉelo en la kinematografa teatro de la urbo.

okupas (場所、地位を) 占める；(時間を) とる、(時間) がかかる；<軍> 占領する。

okupiĝas = okupas sin (自分を何かに充てる)；(. . . に) 従事する； . . .

ntr. [ per, je, pri ]

ludado ludi ....(音楽、楽器等) 奏する ....

-ad [動詞から名詞をつくり、動作や方法をあらわす]

violonĉelo ĉeloだけだと、細胞；独房などのイミがあります。表題の ' は、violon- を省略したもの。

kinematografa 映画の

kinoとよく省略されますが、kinoには、「植物のキナの木」のイミもあります。

teatro 劇場

[原文] ゴーシュは町の活動写真館でセロをひく係りでした。

活動写真館： 戦前は映画のことを活動写真といいました。活動写真館では、スクリーンの前の小さな舞台の下にボックス（楽士のいる囲われた席）があって、そこで楽団の指揮者が映画の場面にあわせて曲を選び、演奏しました。舞台の左の（右もあったかな）端に小さな演壇があって、弁士が声いろを使いながら、画面の説明に熱弁をふるっていました。

Oni diris tamen ke li estas ne tre lerta en ludado.

Oni diris ke ... ということ・うわさであった。

onidiro=うわさ onidire=うわさでは

ne tre あまり ... でない

lerta じょうずな、巧みな；器用な、手慣れた ...

en ludado 演奏において、演奏では

[原文] けれども あんまり じょうずでないという評判でした。

○ ○ ○ ○ ○

発行： 日本エスペラント図書刊行会。 1991年 3月25日

取扱先： 関西エスペラント連盟

書名： GOOŜ LA ĈELISTO

国内定価： 2600円+送料260円

振替名義： 関西エスペラント連盟 振替番号： 大阪-6-60436

電話 EAX： 06-841-1928

[発売記念特価（6月末まで） 2400円+送料260円]



## 兵役拒否



(編集部) 戦前日本の徴兵制度の体験のない方、あるいは女性の方には関心深くないかも知れませんが、軍隊による殺人行為を人道的に拒否しようとする信念から、フランス、旧西ドイツ、イギリス、デンマークなどの徴兵適齢青年の、良心的兵役拒否の話、本誌旧号(1990年6月号)に紹介しました。あの時、フランス語で書かれた関係法令は、編集生の語学力では手におえず、原文のままタイトルの横に出していました。例の編集生の兄キ、レオ・ロベールがそれを見て、早速エスペラントに訳してくれました。

法令の発令は 1971年、ちょうど 20 年経ったところ、思ったより新しい。

フランス語—エスペラント—日本語という重訳で、誤りがあるかもしれません。お教えてください。

前田

## LE SERVICE MILITAIRE N'EST PAS OBLIGATOIRE

(Loi n° 71-424 du 10 juin 1971)

### Section III. — Objecteurs de conscience.

Art. 41. — Les jeunes gens qui, avant leur incorporation, se déclarent, en raison de leurs convictions religieuses ou philosophiques, opposés en toutes circonstances à l'usage personnel des armes, peuvent être admis à satisfaire aux obligations du service national dans les conditions prévues par la présente section, soit dans une formation militaire non armée, soit dans une formation civile assurant un travail d'intérêt général.

Art. 42. — Les jeunes gens qui souhaitent se voir appliquer les dispositions de l'article 41 doivent adresser à cet effet au ministre chargé de la défense nationale une demande assortie des justifications qu'ils estiment utiles.

Art. 48. — Les jeunes gens affectés à une des formations prévues à l'article 41 sont astreints à une durée de service actif égale à deux fois celle accomplie par la fraction de contingent avec laquelle ils ont été incorporés.

Art. 50. — Est interdite toute propagande, sous quelque forme que ce soit, tendant à inciter autrui à bénéficier des dispositions de la présente section dans le but exclusif de se soustraire aux obligations militaires.

Toute infraction aux dispositions du présent article sera punie d'un emprisonnement de six mois à trois ans et d'une amende de 400 francs à 10 000 francs.

Renseignements : MAN - GIRONDE

Entrée 34 - Marly 1 - avenue Stehelin - 33200 BORDEAUX

Les 100 env. : 20 francs

Les 500 env. : 75 francs

兵役は強制されない  
フランスの良心的兵役拒否に関する法令  
1971年6月10日、法令 71-424

第3部 良心的兵役拒否

41条 - 宗教ないし哲学的信念によって、個人として兵器を使うことを、いかなる状況においても拒否すると、入隊前宣言する若者は、兵器を使わない軍部とか、公益の業務をしている市民団体において、本条に予定されている条件により、別途に、この国民奉仕義務を行うことができる。

42条 - 41条にある特典を認め、利用しようとする若者は、適切と考える弁明書を添えた請願書を国防省に提出しなければならない。

.....

48条 - 41条に示された奉仕義務を遂行する機関・団体のひとつに配置された若者は、徴兵部によって定められたに入隊期間の2倍の期間、奉仕義務を遂行しなければならない。

.....

50条 - 秘か(ひそか)に兵役義務をのがれようというだけの目的をもって、本条令に示された特典を利用するため、他人をそそのかす宣伝はすべて、いかなる形においても禁止される。

本条の規程に反するものは、6か月から3年の懲役、及び400フランから1万フランの罰金に処す。



親は刃(やいば)をにぎらせて  
人を殺せとをしへしや。

Ĉu viaj gepatroj edukis vin,  
portu glavon kaj murdu homon?

人を殺して死ねよとて  
二十四までをそだてしや。

Ĉu viaj gepatroj kreskigis vin  
ĝis via 24 jaraĝo por ke vi  
murdu homon kaj estu morta?

与謝野 晶子  
JOSANO Akiko

JOSANO Akiko (1878-1942, Utaistino)  
versis por sia frato, kiu soldate  
iros al Japana-Rusa Milito, en 1904.

やっぱり . . . ?



手紙が検閲されたか、  
それとも、筆者に何か事故が？



レオが心配する彼女の無音  
EL ESTONIO の 後日話。

[レオより、3月22日発、28日着便]

私のエストニアの文通者へ、あなたは、直接雑誌を送ることを躊躇しているとお話ですが、実際のところ、東欧では生活全体が自由化されたと大きく言われてはいるものの、本当のところ、今はまだ信じられません。しかし私個人、この国境を越えた通信に関して、管理当局の態度は、好意的に動いていると思います。エストニアへの郵便の配達はずっと早くなりました。大体、8日から12日で届いています。ここ数年前は、1か月以上かかっていたのに！—それに、どの手紙も規則的に届いていて途中での検閲はしていないようです。それで、あなたの雑誌の1冊は私の手で送りました。但し、普通の手紙の形で、封をして。

前から私にもわかっていたことですが、東欧諸国の人たちの郵便交流で、例えば、「Sennaciulo」のように流入がある程度拒否されている雑誌などを送る時はこの方法（封をした手紙形式にする）がうまくいっていました。

エストニアの文通相手が、私の郵便物を無事受けとってくれたかどうかは、私にはまだわかりませんが。彼女なら多分、早速知らせしてくれる筈ですが。彼女の記事の、その2が載ったV. M. 誌についても、同じ方法でいけますし、私から送っておきます。

[レオより、5月7日発、13日着便]

Tamen mi volas aldoni informon pri la artikolo publikiganta leterenhavon de mia Estona korespondantino. Mi jam sciigis vin pri sendado de via gazeto N° 63, en kiu aperis la unua parto de ŝia skribaĵo. Mi ne scias, ĉu bonorde ĝi atingis sian celon tial, ĉar nenium leteron de ŝi mi ricevas intertempe; espereble nenio malagraba okazis al ŝi. Tamen mi prudente preferas atendi antaŭ ol sendi la numeron 64, ĝis kiam ŝi estos sciiginta min pri normala ricevo de la antaŭa gazetekzemplero. Malgraŭ ke laŭdire plimildigis la reguloj en Sovetunio, ni tamen restu singardaj.



松原いくの

昔の japano 達は4つしか koloroj を知らなかったらしい。

□□い □□い □□い □□い の4つしか識別し得なかったらしい。

(上の空欄に、ひらかな1 litero ずつ入れてください。)

その証拠の①

Bruna は、ちやい とは言わない。

Flava は、きい とは言わない。

Purpura は、むらさきい とは言わない。

Verda は、みどりい とは言わない。

あきらかに前記の4つとは、strukturo が全然異なっていることが判る。

その証拠の②

今も japanoj が使用して、怪しいと思わない例。

目に青葉、青葉城——実はみどり葉。

青い眼の人形——実は水色の瞳。

交通信号の青——実はみどり光なのに。

あかも、赤、紅、朱、胭脂などを一括して「あか」と言っている。

さて Al vi unu demando.

Esperanto で、いくつ色の単語が言えますか？

|     |     |     |     |  |  |
|-----|-----|-----|-----|--|--|
| あかい | あおい | しろい | くろい |  |  |
|     |     |     |     |  |  |

|  |  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|--|
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |



この夏、海外旅行の拠点に、  
こんなところ、いかが？

ある期間滞在して、いい友達を見付け、または文通相手と感激の出会い、  
その人の案内で安全に、宿泊費はとても安く、エスペ란チストだけに  
恵まれた夢旅行！

[ 7 月 ]

◆ 19日～25日 初心者のお宿

ハンガリー、Tata.

申込は6月20日まで。

問い合わせ先：

ESPERTUR Lingvotendaro por komencantoj  
Hungara Esperanto-Asocio  
Andrássy ut 27, VI. distrikto,  
H-1061 Budapest, Hungario.

tel. kaj telekso: 141-6305

(この ESPERTUR は年間通じて、いろ  
んなESP行事を計画しています。  
問い合わせれば、他の行事も知らせ  
てくれます。)

◆ 20日～28日 降竜湾への旅

ヴェトナム、ハノイ

Vojaĝo al la Golfeto "Malsuprenflu-  
ganta Drako"

問い合わせ先：

Hanojo-Halong, Hanoja Turisma Asocio,  
23 Nguyen Dinh Chieu, Hanoi,  
Vetnamio.

◆ 21日～27日 1週間で話せる

Paroliga Semajno. チェコスロバキア  
Esperanto-klubo,

Anna Horňáková 313/19,

CS-905 01 Senica, Ĉeĥoslovakio:

tel. (42) 802 4722

◆ 25日～27日 オスロ・ESPの日

ノルウェー・オスロ。76回UEA世界  
大会へ連絡

Norvega E-Ligo, Olaf Schous vei 18,  
N-0572 Oslo 5, Norvegio.

◆ 26日～8月04日 キャンプ 91

スイス・チューリッヒ(テーマ:世界平  
和、環境保護、地方自治体民主化による  
軍縮) Junaj Esperantistoj, Pf.639,

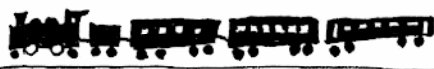
CH-8201 Schaffhausen, Svislando  
tel. 01-383 55 25

◆ 27日～8月02日 64回SAT大会

ベルギー・ブルッセル

Kasistino Clémentine STAQUET,

Rue du Loutrier 14, B-1170 Bruselo,  
Belgio



- ◆27日~8月03日 UEA世界大会  
ノルウエー・ベルゲン  
問い合わせ先: 前田
- ◆27日~8月03日 UEA子ども大会  
ノルウエー・ベルゲン  
S-ro Christopher Fettes,  
St.Columba's College,  
Dublin 16, Irelando,Britio.  
tel. +353-1-931984

[ 8 月 ]

- ◆01日~06日 セミナリオ:手芸とパッ  
チワーク フランス  
La Kvinpetalo, Route de Civaux,  
F-86410 Bouresse, Francio.  
tel. +33-49-428074

- ◆03日~10日 家族友情の集い  
Familia Amikeca Renkontigo (FAR)  
UEA子ども大会の続き

場所: イギリス・Rottingdean.  
問い合わせ: UEAと人会の Christo-  
pher Fettesさんへ

- ◆05日~25日 山のESPの集い  
ソウィット・西カフカズ  
3-a Montara Esperanto-Renkontiĝo,  
Internacia klubo "Migranto",  
str.Taverskaja 4, SU-103009,  
Moskvo, Sovetunio
- ◆06日~19日 習って実践  
フランス・エスペラントのお城  
Kultura Esperanto-Domo, Grésillon,  
F-49150 Baugé, Francio.

- ◆17日 ピンボン大会 ハンガリー  
3a Internacia Esperanta Tablotenis-  
konkurso. Medicina E-Fakgrupo:  
Pk.89, H-6801 Hódmezővásárhely,  
Hungario.  
申込は5月31日まで・・・残念!
- ◆20日~9月02日 夏の終わりの学校  
フランス・エスペラントのお城  
前記、但しこれも早く申し込まないと  
満員、締切になります。
- ◆27日~9月01日 24回国際人形フェ  
スティバル ザグレヴ・ユーゴ。  
Internacia Kultura Servo,  
Pf.499, YU-41000 Zagreb, Jugosla-  
vio; tel.+3841-424660.  
これは内戦のため、開催が危ぶまれ  
ています。救援の手紙を出しましょ  
う。詳しくは、KLEG、「La Movado」  
5月号, p. 5。

(全行事拠点から約1/4だけ紹介)



# VERDA MONTETO

Redaktita ĉe MAEDA Yonemi (dumonata) N-ro 66



天 地 真 理

奥村林蔵



Amaĉi·Mari と読むと、その昔 tuta Japanio を沸かせたあの ĉarma bela knabino を、naz-pinto のちょっと上向いた aminda knabino を思い出す。

テンチのシンリと読むと Universala Vero, 釈迦 Budao の「悟り」の大問題となる。

Princo de Hindio 悉達多が「悟り」を得て、Budao になったという「悟り」とは何か。

Kio estas Satori? どう悟ったのか。Kiel li satoris? 何を悟ったか。Kion li satoris?

まず彼が Princeco を捨てた motivo は、城内にて昼間、pompe sinornamanta belulinaro の夜の寝乱れ姿を見て、人間の表裏に dubo を持ち、城外にては、maljunulo, malsanulo, morto, suferanto の四苦を見、又 ter-vermo をば喰う birdo, birdo を狙う aglo, leporo を食う tigo など、殺しあいの mondo を観て、ますます vivo と morto に疑問を抱いたと思われる。

さて、この eksprinco は granda ĉagreno を抱えて多勢の Kleruloj を訪ねても、ĉiuspecaj 難行苦行をしても、vana と知り、諦めて何とか-rivero で水浴してさっぱりして、菩提樹の下で meditado. 村の naiva knabino の呉れた laktaĵo を飲んで、finfine li satoris, oni skribas. 何を、どう、何と satoris?

私の解釈では、tuttage 働いて、夕方 varmfonto で sinbani して、浴衣がけで glason da よく冷えた biero を、bela servistino の酌でぐっと飲み、Ho! Paradizo, Paradizo と口に出した所か。Certe tiel, mi kredas.

Li satoris 難行苦行はだめ、postbana一杯の biero が鍵。即ち agrabla vivo が第一。そして naiva vilaĝanino の呉れた laktaĵo は親bovino から奪ったのではなく、親bovino から私へ捧げてくれたもの。Ter-vermo は身を殺して birdo を養ったもの。(捨身奉仕)、自らの体を焼肉にして飢えた maljunulo に食べさせたという leporo の fabelo。AからBを見ると殺し合いだが、BからAをみれば助け合いだ。

Malsano があるから sano の時の feliĉo が、maljuniĝo があるから juneco の feliĉo が、morto があるから vivi することの ĝojo がある。

事実は1つ。七人の advokatinoj のように真実は1つ。それを dekstre から見るか、maldekstre から見るか。Plus 方向に観るか minus 方向に観るか。nur それだけ。これが Budao の悟りだ——と私は悟った。Ĉu vi konsentas?

我が家の門前に vento の都合で、いつも紙屑が kirl-dancas. 掃いても掃いても、又吹き寄せてくる。Vi diablo! と初めはいきり立っていたが、今は vento の吹き寄せてくる rubaĵo を待ちかまえていて塵取りへ押し込む。Tre simpla afero と、大いに悟っている。

Budao の sutro de koro をよむと、"Ĉio estas nenio" と言い切っている。そして又、Nenio estas nenio alia ol ĉio と来る。明も無く無明も無い。考え方1つだ、観方1つだ、となかなかしゃれたことを言っている。La tuta monda afero は ne naskiĝas nek mortiĝas, ne multiĝas nek malmultiĝas, ne pura nek malpura いずれも心一つと書いている。諸行無常とは人間いつか mortos という事ではなく、ĉiam vivas, ĉiam progresas という事であると悟る。受験勉強にいためつけられた studento が、ekzameno が無かったら自分は idioto になってしまうぞと悟る。この点 Sutro de Koro はよく出来ている。普門品は超魔術師、阿弥陀経の陳列戸棚などと全くちがう。

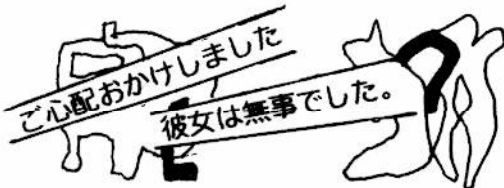
1991-04-07

やっぱり . . . ?

レオ・ロベール(フランス)発。

Pri mia Estona korespondantino, mi tuj trankviligu vin : nenio malagraba al ŝi okazis, kaj ŝi bonorde ricevis la du ekzemplerojn de Verda Monteto, en kiuj aperis la partoj el ŝia atestaĵo. Male ŝi fiere elmontrivian gazeton al geamikoj, kaj ĝusties admiron, ke ŝia verkaĵo estis publikigita en lando tiel malproksima, kiel Japanio. Ankaŭ mi iom maltrankviligis ricevante nenian informon pri mia sendado; nun mi scias, ke esceptokaze prokrastis respondon pro familiaj zorgoj. Ĉio iris glate, vi estu tute trankvila!

EL ESTONIO の続き



[エスベラントのお城にて、6月19日]

私のエストニア女性文通相手のことで、早速ご安心していただきたく思います。彼女には困ったことは何もなく、彼女の証言が2回にわたって載せられた Verda Monteto 2号分、無事受けとってくれていました。困ったところが、Verda Monteto をともだちに見せて自慢し日本みたいなあんな遠い国で、彼女の書いたものが公表されたことに、みんな感心したそうです。私が送ったものについて何の知らせもなかったのも、私も少々心配しました。今わかったことは、彼女は家族のことで例になく返事を送らせてしまったとのこと。すべて、うまくいっています。ご安心を!



ハンガリーのエスベランチスト。 57年前、和歌山は高野山のお土産店で、  
『涙の渡り鳥』を日本語で朗々と歌って、聴衆を魅了！

Denove pri FEDORĈAK

TANAKA MASAMI



Jam antaŭe mi raportis pri FEDORĈAK en nia gazeto, tiam mi skribis japane, ĉifoje mi volas skribi esperante. En la monata gazeto de "EL POPLA ĈINIO" aprilo 1991, mi legis artikolon pri FEDORĈAK raportita de S-ro CHEN YUAN (nuna prezidento de la ĈINA ESPERANTO-LIGO). Li skribis jene, La unua fremdlanda esperantisto renkontita de mi estas FEDORĈAK. Li estis hungaro, elektra inĝeniero, specialisto, kiu helpis Sovetunion en ĝia Unua Kvinjara plano, ..... en 1933 li venis de Sovetunio al ŝanhajo kaj en la 30-a de aŭgusto 1934 atingis Kantonon.

(en Kantonon li instruis esperanton)

-ĈU FEDORĈAK forlasinte Kantonon vojaĝis al japanio aŭ el japanio al ĉinio? mi ne povas diveni, sur malnova foto, ĉe mi, fotita FEDORĈAK, troviĝas la dato 13-an de aprilo 1934.

Jene rakontos pri li rememorante kiel ni pasigis tagojn kun li.

DEMETRI FEDORĈAK atingis al ni je la komenco de aprilo 1934-a kaj gastigita ĉe la domo de mia amiko s-ro YOKOGAKI en KOYAGUĈI -Ĉo WAKAYAMA KEN.

Ĝistiam ni ne havis okazon renkontiĝi kun eksterlanda esperantisto, do, ni bonvenigis lin kun ĝojego.

Dum lia restado, ni tri kunvenis ĉiuj vesperoj kaj interparolis kun li ĝis profunda nokto.

Kiam iu-vespere ni kusiĝis kune en unu lito, tiam FEDORĈAK rakontis trankvile pri si mem, ke li lasis sian naskiĝ-lokon en sia juna aĝo kaj vojaĝis alilandojn, dume li okupis sin kiel laboristo kaj ĝis tiam revenis neniam al la naskiĝ-loko.

Tiel dirante al ni, li aldonis vortojn,

" mi estas kosmopolitano denaskiĝa "

Estus eble propono de FEDORĈAK, dimanĉe, ni piknikis al la SANKTEJO KOJASAN, kien ni povis veni unu horon per tramo.

Survoje kiam ni ekstaris antaŭ unu vendejo de memoraĵoj por aĉeti ilustritan poŝtkarton, tiam la mastro de la vendejo vidante nin invitis tre afable al la salono, kaj gastigis nin per luksaj manĝaĵoj.

Baldaŭ kolektiĝis familianoj kaj scivolemaj homoj ĉirkaŭis nin, vidante ilin FEDORĈAK fariĝis bonfumora kaj diris " mi devas servi al ili " kaj ekkomencis kanti en ĉarma voĉo, lia ampleksa sono-ro eĥis tra la salono.

Tra la stratoj, tra la stratoj,  
marŝas, marŝas la soldatoj.  
Deksesjara bruna junulino  
iras ĉe 1<sup>a</sup> regiment-fino.



La aŭskultantoj ravitaj kunfrapante manojn sendis varman aplaŭdon sur lin, kaj ili petis ankoraŭfojon.

Responde al tio, li kantis,ĉifoje, japanan kanton en tute japana lingvo kun melankolia ritmo,

NAMIDANO ŬATARIDORI ( migrantaj birdoj plorantaj).

La kanto, tiutempe kantata populare inter japanoj.  
Al ni estis granda surprizo, vidante lin tian, kian...dum kantado li ludis sugestume, metante manojn sur sia brusto delikate skuiĝ-ante tutkorpon daŭrigis la kanton eĉ montrante tristan mienon.

Kiam, kie, li lernis japanan kanton tiel ekzakte ?

Post kelkaj tempoj, mi legis artikoleon pri li en la organo de J.E.I en TOKIO, ke FEDORĈAK vizitis tien kaj al la deĵoranto prezentante malgrandan paketon li diris...Jen estas mia donaco kiun mi portis el ĈINIO, ĝi estas terbuleto de KONFUCEA- NAŬZEOLO.

Iam antaŭe mi demandis al mia malnova korespondanto en hungarujo pri FEDORĈAK sed li ne sciis eĉ lian nomon.

Fakte, la tempo flugas kiel sago, post kiam mi adiaŭis lin, jam pasis 57-jarojn, li estis por mi nenielforgesebla kara instruisto de esperanto.

(daŭrigota)



## エスペラントのお城で

(フランス-グレジヨン)

自由な国際的雰囲気を楽しむ レオ・ロベールの  
手紙(6月19日発)の一部を紹介します。

エスペラントのお城として有名な  
エスペラント文化会館グレジヨン城  
の正面

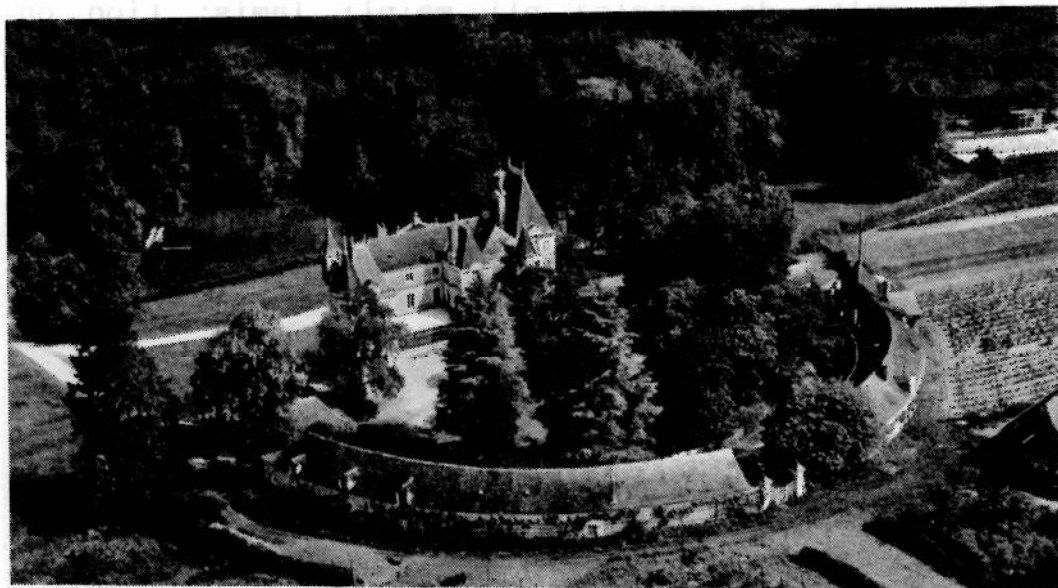


Cenon, la 19an de junio 1991

Kara frato Yonemi,

Pro kutimo, ĉekape de tiu ĉi letero mi ĵus skribis la nomon de mia loĝurbo, Cenon; tio estas malĝusta tial, ĉar tiun ĉi leteron mi skribas sidante en ĉambro ĉe la Esperanta Kulturdomo en la kastelo Grezijono.

Jes, ni tie "libertempadas!" ĉar ĉijare ni ĉeestos neniun Esperanto-kongreson, eĉ ne la S.A.T.-kongreson en Bruselo, ni decidis tamen ĝuadi la Esperantan etoson vizitante la kastelon en Grezijono. Dum la dua duono de junio ĉiujare okazas internacia renkontiĝo kun libervola programo; tre plaĉas al ni tia sendevigeo, ĉar verdire ne allogas nin partopreno en kurso, nek kiel lernantoj, nek kiel kursgvidantoj. Do mia edzino kaj mi ripozadas pasigante la tempon en piedirado tra la trankvila ĉirkaŭanta kamparo, ankaŭ al la proksima urbeto Baugé ( nur du kilometrojn distanca ); aŭ en legado de libroj kaj revuoj; aŭ en ... babilado kun aliaj gastoj. Ŝatata malstreĉiga restado ... Ni tie alvenis antaŭ du tagoj, lundon la 17an, kaj planas plurestadi ĝis mardo la 25a.



空からエスベラントのお城。  
豊かな森にかこまれて、お城は裏側を見せています。まるく囲んだ倉庫らしいものは、改修されて、いくつかの集会場になっています。

Supozeble vi precize rememoras pri la Grezijona Esperanta Kulturdomo, kiun ni kune vizitis okaze de via lasta traEŭropa vojaĝo en 1985. Vi tiam prezentis lumbildojn pri geedziĝfesto japantradicia, kio tre interesis la ĉeestantojn. Bedaŭrinde ni pasigis nur mallongan tempon tie - vesperon kaj tranoktadon -, ĉar sekvontan tagon ni devis veturi al Normandio. Tamen vi havis eblecon kapti la ĝeneralan aspekton de la kastelo, kaj fotis ĝin. Fakte la ekstera aspekto ne ŝanĝiĝis, ĝi ĉiam staras ĉirkaŭate de vigle verdaj arboj, de grasaj herbejoj ĉe borde de iom romantikaj lagetoj. Sed la internon oni multe plibonigis laŭaspekto, ankaŭ laŭkomforte, tiel ke nun ĝi rajtas prezentiĝi, kiel alloge komforta, kvankam modesta, restadejo eĉ por postulemaj gastoj. Kiam vi ĝin vizitis, tiam sufiĉe multe da detaloj pli malpli lamis; tion oni ne plu rajtas riproĉi. Multege laboradis la volontulaj geesperantistoj por atingi al tia bonega rezultato; ili meritas grandan dankemon de la tuta esperantistaro.

[ Komforta restado ĉe Grezijonoの和訳 ]

スノン、1991年6月19日

はいけい、

いつものくせで、この手紙の冒頭に、私の住む町の名前、スノンと書いてしまいましたが、これは間違いでして、実はこの手紙、グレジヨンのお城の中にあるエスペラント文化会館の一室にすわって書いてるのです。そう、ここで私たち夫婦で休暇をとっているのです！



スクリーン ekrano の前で、  
若い espistinojの楽しい skeĉo.

今年は何のエスペラント大会にも、ブルッセルのSAT大会にも参加しないつもり、でも、グレジョンのお城へ行って、エスペランチストの雰囲気を楽しもうということにいたしました。6月の後半は、毎年ここでは、自由プログラムによる国際的な集りがあるのです。こういった拘束性のないのが、私たちに気に入りました。講習に参加するのは、生徒としても、講師としても、あまりうれしくない。このお城で、家内と私は、お城のまわりの田園を歩いたり、近くのボージェの町(2Km)まで足をのぼしたりして、時間を過ごし、体を休めています。時には本や雑誌を読んだり、時には . . . 他の人々とお喋りをしたり。ほんとに楽しい心休まる滞在で . . . 2日前の17日の月曜日に着いてあと25日の火曜まで泊まるつもりです。



いろんな国の人が泊まっていて、  
たちまち仲良しになる 不思議な雰囲気。



こちらでも話の花が咲いています。机の上には、スライドとプロジェクターが。

たぶん、あなたもこのグレジヨンのエスペラントの家のこと、思い出されるでしょう。1985年、あなたのヨーロッパ旅行の時、2人でここに泊まりました。その時、あなたは日本の伝統的な結婚式のスライドを上映して、たいへん観客の興味をひきました。あの時は残念ながら、夜と一泊だけの短期滞在で、翌日はもうノルマンディーに出発しました。しかしあなたはこのお城の概要は見られましたし写真も撮りました。あれから、外観は変わっていませんし、まわりは相変わらず、緑ゆたかな木々があり、ロマンチックなあお池の岸辺の、よく繁った草原が囲んでいます。ところが建物の内部は、見



お城の右側面。静かな中庭は散歩に好適。

栄えも快適さもずっとよくなって、今は、質素ながら、注文の多いお客にとっても、実に住みやすくなっているのです。あなたが来た時は、あちこちかなりチグハグな内部構造でしたが、今では非のうちどころもありません。ここまで仕上げるのに、関係エスペランチストの有志がかなりたくさん仕事をしています。この人達には、全エスペランチストは大いに感謝すべきです。

UEA 1991年 Jarlibro より。

## KULTURA ESPERANTO-DOMO

**Kastelo „Grésillon”**  
F-49150 BAUGÉ, Francujo.

La K.E.D. akceptas, de la mezo de junio ĝis la fino de aŭgusto, ĉiulandajn esperantistojn, kaj karavanojn frue anoncitajn en aprilo, majo, junio kaj septembro.

La Kastelo estas malferma de la 15-a de junio ĝis la 1-a de septembro. Kvin studperiodoj jam estas aranĝitaj kun interesaj programoj.

## venu al la KULTURA ESPERANTO-DOMO

Bela, komforta kastelo; milda klimato; famkonata turisma regiono de Loire-Kasteloj, kultureca kaj amikeca rondo: jen ĉio por vi en nia ferirestejo. La urbo Baugé estas atingebla per fervojo el Parizo en 4 horoj. Antaŭa enskribiĝo por restadoj nepre necesa. oni konfirmu alvenon kelkajn tagojn antaŭe.

**PETU LA PROGRAMON POR 1991**  
Informpeto sendota kun internacia respondkupono al:

Kultura Esperanto-Domo, Grésillon,  
F-49150 Baugé, Francujo.

☎ (41) 89.10.34 (N.B. Tiu numero nun validas la tutan jaron.)



## Ĉu krimo okazis?

A: Saluton!

B: Saluton!

A: Estas bona vetero, ĉu ne?

B: Jes, Certe.

A: Ĉu vi vidas, jen estas policano?

B: Jes, mi jam longe vidas lin.

A: Kion li faras tie, trans la florbedo?

B: Li nun serĉas ion.

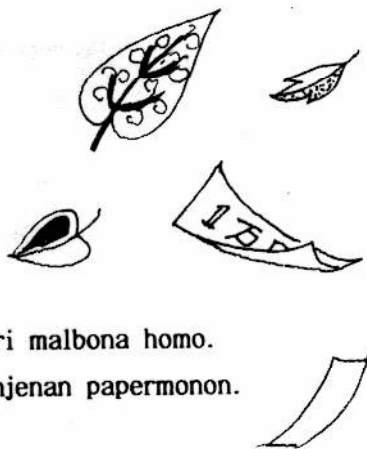
A: Eble krimo okazis tie kaj li serĉas ion pri malbona homo.

B: Ne, ne okazis krimo. Li nun serĉas iĉimanjenan papermonon.

A: Iĉimanjenon?

Kiel vi scias tion?

B: Mi scias --- ĉar mi tuj antaŭe trovis ĝin.



## HEREDANTINO

Iu riĉulo mortis kaj li postlasis abundajn heredaĵojn. Lia filino, la unusola heredantino, delonge ne vivis kune kun li. Neniu konis ŝian loĝlokon.

Lia advokato petis al detektivo, bona amiko de la advokato, serĉi ŝin, kun ne certa informo, ke ŝi eble loĝas en Tokio. La detektivo volonte konsentis plenumi la peton. Jam pasis du semajnoj sed li ankoraŭ ne ekiras al Tokio.

La advokato riproĉas la detektivon:

"Kio okazis al vi? Kial vi ne ekiras al Tokio?"

"Mia juraj formalaĵoj ankoraŭ ne estas plenumataj."

"Kiaj formalaĵoj?"

"Rilate al mia eksedziĝo."



# FOTOPAFOJ EL 関西大会

( '91 6/22 ~ 23 )



第1日の会場は、タワーサイドホテル内で、受付などの servoj はきゆうくつそう。



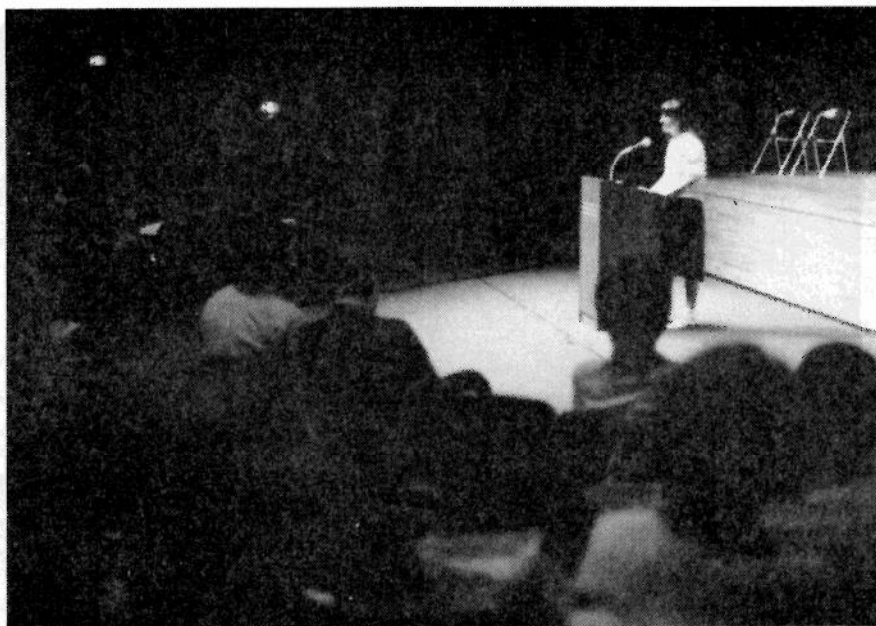
第2日の会場は、芦屋市民センター「ルナホール」で、ここでの受付は、やや、ゆったり。

開会式。芦屋の女性市長、北村春江 さんのご挨拶。



阪直 さんの「文法教室」は、超満員で、何人かあふれてしまいました。





チェコのイレーナ・平井さんの講演『私の国の変化について』



記念撮影

# VERDA MONTETO

Redaktita ĉe MAEDA Yonemi (dumonata) N-ro 67

どうぞ お泊まり

ください

1991年度

1. アメリカ
2. アルゼンチン
3. オーストラリア
4. オーストリア
5. ベルギー
6. ベトナム
7. ブラジル
8. フランス
9. イギリス
10. ハンガリー
11. チェコスロバキア
12. フィンランド
13. 中国
14. デンマーク
15. コートジボアール
16. エジプト
17. フィンランド 1
18. フランス 79
19. ドイツ 129
20. グアテマラ 6
21. インド 2
22. スイス 17

別宿主の人数。

44. ニュージーランド
45. ベルギー
46. ブラジル
47. オーストラリア  
(ウイ)
48. ハンガリー
49. チェコスロバキア
50. フィンランド  
(バルト)
- 韓国
- エジプト
- ス
- ア

# Pasporta Servo

LISTO DE GASTIGANTOJ DE TEJO  
1991-1992



TIU ĈIROŠURO  
APARTENAS AL

J.H.O.

エスペラント

話す方なら

エスペラントを話す方なら  
どうぞ お泊まりください

1. 泊めてもらえる条件

a. エスペラントが話せること。

b. パスポルタ・セルヴォの住所録冊子を持っていること。

借物はいけません。表紙の所有者名の欄に、自分で署名したものを。

\*パスポルタ・セルヴォ冊子入手法

日本エスペラント学会に注文。1,300円（送料別）

宿主は無料でもらえます。有効期間は1年。（次年度の冊子発行まで）

2. 宿主は宿泊料を請求してはいけません。但し、食費などについては、話し合えてください。

3. 宿泊予約については、冊子の住所のあとに、宿主がいろいろ条件を書いていますから、それに従ってください。

SKRIBA PETO 予め手紙で予約してください。

（礼儀として国際返信切手1枚、航空便で返事がほしければ2枚封入しておく。）

TELEFONA PETO 電話で予約。

SEN ANTAŬA ANONCO 予約なしで泊めてくれます。

4. 泊まれる日数、人数についても、宿主は住所の下に指示していますから、それに従ってください。

2 G. = 2人まで泊まります。 3 T. = 3日まで泊まります。

その他、喫煙者お断り、女性に限る、寝ぶくろ携帯のこと、など条件のついている宿主もあります。

5. 組織

a. 本部は、万国エスペラント協会（UEA）の青年部（TEJO）の Pasporta・Servo 部で、ここは、加入・脱退の受付と、住所録冊子の編集だけのしごと。

b. 各国代表者（LANDA ORGANIZANTO）のいる国があります。この人は、加入者の募集、情報提供、冊子編集の補助などのしごとのほか、国内周遊案内、パスポルタ冊子の販売など。

c. 地方代表者（LOKA PERANTO）は、自分の住むまちで、宿主と旅行者との連絡をしたり、時には、住所録冊子にのっていない宿主をさがしてくれたりします。

6. \*印のついている宿主には注意

この宿主は、1年ないし2年、本部に再加入か脱退かの連絡をしていない人。だから、この宿主に宿泊申込をする時、予めその健在をよく確かめてください。

[余話] ストラスブール(フランス)のジャクリーヌ・ルベさん(40才、多分女性)は、バスポルタ・セルヴォにこんな事を書いています。

『フランスまでの航空運賃を払ってといわれても、そんなことできません。いくら自分の国で使いたいからといって、私のテーブコーダーを持ち去るのは困ります。置き土産に、1,100 フランス・フランの請求書を残した人は、私が仕事に出ている間に、私の電話で各国へ長電話をしていましたが、全く困ります。私の本棚の本は、面白かったら読んでもいいけれど貸り出しは困ります。宿主と同じベッドに寝るなんて、フランスでもそんな習慣はありませんよ! それでも私は、バスポルタ・セルヴォに宿主として継続加入しました。たぶん私はマゾヒストなんでしょうかね。』

バスポルタ・セルヴォを利用される方、くれぐれもこんなご迷惑をかけないように。

1991年度版バスポルタ・セルヴォ搭載の、国別宿主の人数。

|                     |     |                     |    |                  |      |
|---------------------|-----|---------------------|----|------------------|------|
| 1. アルジェリア           | 3   | 23. ホンコン            | 1  | 44. ニュージーランド     | 3    |
| 2. アルゼンチン           | 12  | 24. ハンガリー           | 69 | 45. ベルギー(リマ)     | 1    |
| 3. オーストラリア          | 10  | 25. イラン             | 22 | 46. ノルウェー        | 165  |
| 4. オーストリア           | 2   | 26. アイルランド          | 3  | 47. 秘トガ          | 1    |
| 5. ベルギー             | 13  | 27. アイスランド          | 2  | (グイラ・ノヴァ・デ・オレム)  |      |
| 6. ベネチア             | 1   | 28. イスラエル           | 4  | 48. ルーマニア        | 4    |
| 7. 秘トガ(カカハ)         | 1   | 29. イタリア            | 19 | 49. セネガル         | 4    |
| 8. ブラジル             | 68  | 30. 日本              | 35 | 50. ソヴェト         | 60   |
| 9. イギリス             | 56  | 31. ユーゴスラビア         | 26 | (バルト3国など、きょうわく)  |      |
| 10. フルガリア           | 24  | 32. カメルーン(ドウアラ)     | 1  | ふくむ)             |      |
| 11. チェコスロヴァキア       | 78  | 33. カナダ             | 25 | 51. 南アフリカ(プレトリア) | 1    |
| 12. チリ              | 2   | 34. リベリア(ネンケウ)      | 1  | 52. 韓国           | 23   |
| 13. 中国              | 22  | 35. ルクセンブルグ(ダルク)    | 1  | 53. スエーデン        | 49   |
| 14. デンマーク           | 6   | 36. マダガスカル(アンタナナリウ) | 1  | 54. スイス          | 12   |
| 15. コートジブワール(アビジャン) | 1   | 37. モロッコ            | 1  | 55. チュニジア        | 1    |
| 16. エジプト            | 1   | 38. マレーシア(クアラルンプール) | 1  | 56. トルコ          | 3    |
| 17. フィンランド          | 12  | 39. メキシコ            | 3  | 57. アメリカ         | 45   |
| 18. フランス            | 79  | 40. オランダ            | 37 | 58. ウェネズエラ(カラカス) | 1    |
| 19. ドイツ             | 129 | コンスタンティン・ルヴェイ       |    | 59. ザイール(キンシャサ)  | 1    |
| 20. ラトヴィア           | 6   | 41. ネパール(カトマンズ)     | 1  |                  |      |
| 21. インド             | 2   | 42. ナイジェリア(オウエリ)    | 1  |                  | 1178 |
| 22. スペイン            | 17  | 43. ノルウェー           | 5  |                  |      |

**TOKUSIMA** (Sur Sikoko, sipe atingebila de Osako en tri horoj.)

\* s-ro NAKADA Hiroshi / RM 102 Dai-2 Sky Heights Otubo, 78 Hasimoto, Hatiman-tyô, Tokusima-si 770, tel.: 0886-68-4803

**TÔKYÔ - TOKIO** \* s-ro ISII Yosiaki / Utino 1-4-1-507, Inzai-mati, Inba-gun, Tiba-ken (270-13), tel.: 0476-46-1388, 2-3 G, 7 T. Vespere kaj nokte mi povas bonvenigi vin ĉe la flughaveno per aŭte. Nefumantoj. Logas en Inzai, 20 km okcidente de la nova internacia flughaveno de Tokio.

**TOMAKOMAI** (70 km sude de Sapiro)

\* HOSIDA Atusi (1931) / Itoi 393-83, Tomakomai 053, tel.: 0144 -74-2539, 2 G, 3 T.

**TOYOTA** (30 km oriente de Nagojo)

KUROYANAGI Humiko kaj Yositaka / 24 Miyayama, Matudaira-Sigatyô, Toyota-si 444-22, tel.: 0565-58-0197, 3 G, 365 T, SKRIBA PETO POR PLI DA GASTOJ. Dometo kun 3 ĉambroj uzebla. Bv. prizorgi mem pri manĝoj, kiam gasto restos pli longe ol 1 semajnon! Situas periferie de urbo.

**TSUCHIURA** (60 km de TOKIO)

s-ro Katutaka KUDO (1929) / (300) 1-12 1m1 kawa Tsuchiura Ibaraki-ken, tel.: 0298-22 2717, 2 G, 4 T, SKRIBA PETO. Bonvenas agulojn.

**TUTIURA** (60 km nordoriente de Tokio)

\* s-ro KUDO Katutaka (1919) / (300) 1-12 Amakawa, Tutiura-si, Ibaraki-ken, tel.: 0298-22-2717, 2 G, 2 T, SKRIBA PETO DU SEMAJNOJN ANTAŬE. Preferas nefumantojn. Unu dormoĉambro kaj granda halo. Bonvenigas vigla agulo.

**WAKAYAMA-SHI** (60 km sude de Osaka)

Sachie KOBAYASHI (1922) / 1-5-17 Kitabashi-kita Wakayama-shi, tel.: 07 34-55-1722, 2 G, 2-3 T, SKRIBA PETO.

Takayo MATSUSHITA (1948) / 19-7 Kandori Wakayama-shi 640, tel.: 07 34-53-5333, 1-2 G, 1 T, SKRIBA PETO. Nefumanto kaj nealkoholemulo.

Hirotsugu FUKUMOTO (1947) / 641 Wakayama-shi Sekido 3-3-10, tel.: 07 34-44-3658, 2 G, 2 T, SKRIBA PETO. La loka grupo prizorgas la gastojn.

**YAMAGATA** (Nordoriente de Tokio)

\* s-ro KUNII Hyotaro (1942) / 2-6-10-2 Miyamati, Yamagata-si 990, tel.: 0236-23-5796.

**YOKOHAMA - JOKOHAMO** (20 km sude de Tokio)

LOKA PERANTO: \* SIBAYAMA Zyun-iti kaj Noriko (1950) / Nase-tyo 70-17-215, Totuka-ku, Yokohama 245, tel.: 045-812-4048, 2 G, 2 T, SUFICE FRUA SKRIBA PETO. Nur nefumantoj.

\* s-ino NAKAMURA Hiroe 5-44-18 Tomiokanisi, Kanazawaku, Yokohama 236, tel.: 045-774-1819, 1 G, 2 T, SKRIBA AŬ TELEFONA PETO. Nur vi-rinoj. Ĉe Noukendai de Keihin-ekspreso.



## フェドルチャック - (2)

現在の中国エスペラント連盟の会長 CHEN YUAN さんは  
彼からエスペラントの手ほどきをしてもらった。



Denove Pri FEDORĈAK (2)



TANAKA MASAMI

ĈIAM Li estis ŝercema, petorema kaj li ofte elkraĉis sarkasmajn vortojn, kiuj pikis min je la koro.

Ŝerceme, kiel ekzemple, li neniel vokis min per mia denaska nomo MASAMI, anstataŭ tio li min vokis MASU-ĈJO.

Ĉu vi ne pensas ke ĝi enhavas ian abomenindan sencon?

Ĝis kiam mi legis artikolon skribitan de s-ro CHEN-YUAN en la gazeto "EL POPOLA ĈINIO," mi ne sciis ke FEDORĈAK restis en SOVETUNIO kaj laboris tie kiel elektra inĝeniero.

Pri la restado en SOVETUNIO li ne preparolis al mi eĉ unu vorton, nun mi divenas ke li konscie evitis tuŝi la temon pri tiu ŝtato, eksentante la cirkonstancon kaj atomosferon de japanio tiu-tempa.

*De antaŭjaroj komencis blovi turnventoj de faŝismo kaj militismo sur la landon de japanio, eminentaj kritikistoj, eĉ esperantistoj, kiuj amas mondpacon, estis ĉiam atente observataj de politika polico, pri tio mi mem konfirmis, kiam min venis vizite ŝtata politika detektivo tute sen antaŭsciigo.*

Pri ĉinio li multe preparolis, dum lia restado en KANTONO, li instruis esperanton al kursanoj ...aŭ pri vojaĝoj, li vojaĝis ĉien ajn tra ĉinio, el ili li rekomendis al mi iun

konatan lokon, laŭ lia rakonto, tie estas mirinde bela vindindejo kun speguleca granda lago, ... estas por mi ega bedaŭro ke mi forgesis la nomon.

Fine venis adiaŭa tago.

Frumatena aprila venteto estis agrabla, ni rapidis al fervoja stacio por akompani FEDORĈAK, kiu ekvojaĝas al NAGOJA.

Antaŭ la stacidomo mi petis al li subskribon pri la impresado de japanio, Jen liaj vortoj, kiuj lasitaj en la kajero.

"Japanio ... Domoj, kies pordoj ne troviĝas seruroj."

Kiam la vagonaro alvenis, haste li min brakumis kaj kisis min je la vango, kaj urĝe envagoniĝis portante grandan kofron.

Post nia adiaŭo, kiam pasis kelkaj monatoj, al mi venis unu bela bildkarto sendita de FEDORĈAK el BALI-INSULO en INDONEZIO, sur la karto estis skribita AL Sinjoro MASU-ĈAN TANAKA.

Ankoraŭ nun mi kredas, ke li vivas bonfarte IE en la mondo kaj estas rigardanta, kiel fruktas la semoj, kiujn li lasis ĉie..... en ĉinio rikoltas prospere, tamen bedaŭrinde en japanio ne tiom kreskiĝinta.....

Fino.



IOM ALDONE

S-ro CHEN YUAN raportis en la gazeto "EL POPOLA ĈINIO" aprilo 1991, .... la unua fremdlanda esperantisto de mi estas FEDORĈAK .... legante lian raporton tuj mi sendis al li leteron pri FEDORĈAK, kun kiu mi pasigis tagojn.

S-ro CHEN YUAN estas famekonata lingvisto kaj nuna Prezidanto de la ĈINA ESPERANTO LIGO. Li naskiĝis en 1918, kiam li partprenis en la kurso de esperanto en KANTONO gvidita de FEDORĈAK, li havis la aĝon de dek-kvinjaroj kaj tiam li estis mezlerneano.

julio 1991

## 選手宣誓

奥村林蔵



一夏を沸かせた高校野球。四日市工の佐藤秀之主将が次のような選手宣誓をしている。

”チーム一丸となって、フレッシュでフェアな、そしてファイトあふれるプレーをすることを誓います。”（アサヒグラフ）

これは、地が日本語で、所々に、というよりは肝心の所が皆、外国語で、カタカナで挿入されている。

そのカタカナの外国単語に対して、『選手団』・『新鮮』・『奇麗』・『気力』・『競技』という美しい日本語が存在している。だから、すなおな日本語で言うと、

”選手団一丸となって、新鮮で奇麗な、気力あふれる競技をすることを誓います。”

ということになる。

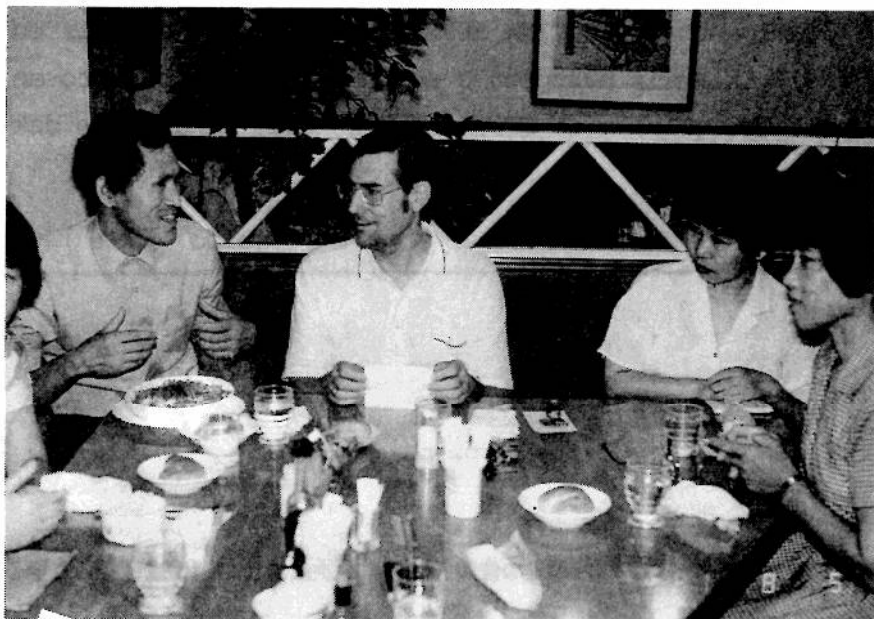
今、日本語も少し判かる気障な外国人のエスペランチストがいて、エスペラントで選手宣誓をすることにして、前記の中の単語をエスペラントでない言葉、たとえば日本語を気取って使用し、カタカナ代わりにローマ字で挿入すると、どうなるか。 たぶん

”Ni ĵuras ke ni SENSYUDAN unu-anime KYŌGI-u, kun SINSEN-a, KIREIN-a kaj plena KIRYOKU-o.”

とでもなりましょうか。

1991-8-28

## クレーマン夫妻の来訪



ベル・ファミ・レストランで昼食。

近畿の寄り道和歌山へは、外国のエスペランストの来訪は、たいへん少なくなっています。ドイツのエスペランチスト夫妻クレーマンさんの和歌山来訪は、生きたエスペラントを聞き、話し、とてもいい勉強になりました。

夫妻は、8月4日夕刻和歌山駅に到着。前田宅に1泊。5日朝、月曜・木曜の例会の皆さんと喫茶「けまり」で話し合い。土曜おしゃべり会の皆さんと歓迎の夕食。6日は福本さんの車で高野山へ。7日朝、奥様の郷里群馬へ向われました。

前田の知人とはいえ、わざわざ和歌山へ寄り道して下さったのは、ほんとにありがたいことでした。

月曜・木曜の皆さんから2~3思い出や感想をいただきました。

(問) Ĉu vi havas guston pri japanaj manĝaĵoj?

(答) Mi manĝas viandaĵon sed ne ŝatas fiŝon kaj Natto-n.

(問) Ĉu viaj filoj vizitadis privatlernejon?

(答) Ne, ili ne vizitadis ĝin, kiel japanaj studentoj.

Ili vizitadis privatan lecionon pri violono kaj violonĉelo.

これは受験勉強ではありません。

Ili devis prepari por la ekzameno de abituriento. (大学進学適性試験) これは、自分の専門部門で計画的に自分で勉強するという、自分との闘いです。日本のように、すぐそばに競争相手がたくさんいる試験地獄にはならないのです。

(唐妻)

Belegaj Gesinjoroj Kleemann, bonvenon,  
mi estis tre ĝoja vidi vin.

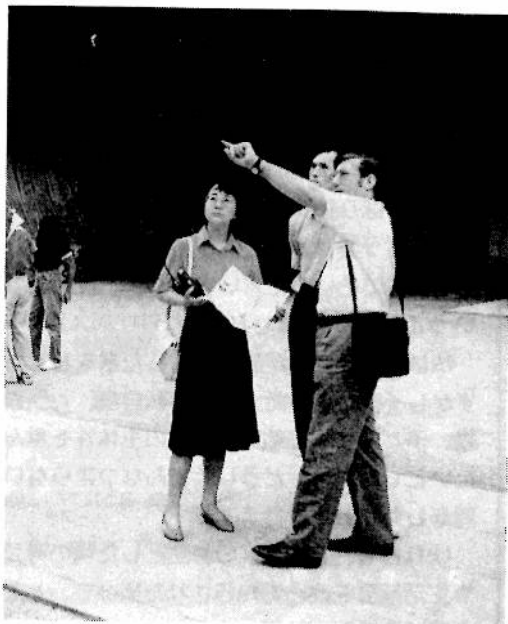
Ĉi tiu fojo estis por mi la unua sperto  
ke mi renkontis esperantistinon, kiu nas-  
kiĝis en Japanio kaj loĝas en eksterlando.

Mi fiksas miajn grandajn okulojn al vi  
kun admiro, al esperantista japanino.

Mi tre interesis, kion vi parolis.

Vi montris al mi, ke la edukado de Ger-  
manio estas elstara, ideala kaj firma,  
kaj la gepatroj estas tre atentema pri  
edukado. En ĉiu punkto, Germanio estas  
perfekta lando. Kiel feliĉaj vi estas!

(Niŝihara)



8月6日、高野山で、Dieterさん、屋根の葺きかたに興味を持つ。

高野山の精進料理、よく食べてくれました。



### 和歌山緑丘会

Wakayama Klubo Verda Monteto

会費の払込は、郵便振替をご利用ください。

振替番号 [大阪 6-3630]

名 儀 和歌山緑丘会

会費年 3,000円、家族・学生は1人 1,000円。

会計係：和歌山市狐島65012、牛島美恵子。

会費払込の方は、月曜、木曜の講座受講料は  
無料となります。

毎年、12月のザメンホフ祭の会場で、牛島  
さんが直接集金してくれます。

私の質問：“Ĉu vi konsentas, se via filo deziras internacian geedziĝon?”

私のたどたどしい質問に対して、S-ino Yoshie は一瞬、間をおいて、

『それは息子の問題です！』

と、きっぱり答えました。そして、

『ドイツでは、子どもが他人からチョコレートを貰っても、親に言いません。親もお礼をいうことはありません。』と付け加えました。

私は自分の質問が愚問であった事をとて恥ずかしく思いました。日頃、私自身、“親は親、子どもは子ども”と夫々の主体性を重んじたいとしながら、どうしてこんなつまらない質問をしたかと悔まれます。

けれども、ドイツ人の毅然とした物の考え方や生活態度を改めて知らされた思いで、とても心強くなったのも思ったことでした。

( KAMEI )



紀三井寺の長くけわしい石段。

memorfotado. シャッターは福本さん。



# Kuirpoto serĉita

Aikawa Setuko

Rizo estas ĉiutaga manĝaĵo de japanoj.

Por kuiri rizon japanoj ĝenerale uzas elektran kuirilon. Meti rizon kaj akvon en la ujon, fermi, ŝalti, — jen ĉio. Post duonhoru la kuirilo malŝaltiĝas aŭtomate, kaj la rizo estas jam kuirita.

Mi ne kuiras rizon per tia ilo, sed per pli simpla poto.

Jen mia poto por riz-kuirado.



商品名は  
「文化鍋」

Ĝi estas farita el aluminio. La iom elstara rando estas taŭga por kuiri rizon, ĉar en bolado amelo de rizo fariĝas glua. La rando ne lasas la gluan akvon elflui el la poto. Mi metas rizon kaj akvon en la poton, kaj ĝin varmigas sur gasa kuirforno. Kiam ĝi ekbolas, mi igas la fajron malpli forta. Post kelkdek minutoj mi estingas la fajron post kontrolo pri finkuirigo.

Mi aĉetis ĝin antaŭ 25 jaroj. En

|                    |                     |
|--------------------|---------------------|
| rizo               | 米 (米粒は rizerō)      |
| Ĉiu-tag-a          | 毎日の、日常の             |
| kuiri              | 煮炊きする               |
| ĝenerale           | 一般に                 |
| elektra kuir-il-o  | 電気調理器具<br>(ここでは電気釜) |
| akvo               | 水、湯                 |
| ujo                | 容器                  |
| ŝalti              | スイッチを入れる            |
| du-on-hor-o        | 半時間                 |
| mal-ŝalt-iĝ-i      | スイッチが切れる            |
| aŭtomate           | 自動的に                |
| il-o               | 道具                  |
| simpla             | 簡単な、単純な             |
| poto               | 鍋、ポット               |
| aluminio           | アルミニウム              |
| el-star-a          | (周囲より) 高い           |
| rando              | へり、ふち               |
| bol-ad-o           | 沸騰                  |
| amelo              | でんぶん                |
| glua               | 粘った、のり状の            |
| lasi               | ~のままにしない            |
| el-flu-i           | 流れ出る                |
| gaso               | ガス                  |
| kuir-forn-o        | こんろ                 |
| fajro              | 火                   |
| estingi            | 消す                  |
| kontroli           | 調べる、確認する            |
| (英語のコントロールとはちがいます) |                     |
| fin-kuir-iĝ-o      | 炊きあがること             |
| aĉeti              | 買う                  |

tiu tempo tia poto ne estis malofta, kvankam elektra kuirilo jam estis ĝenerale uzata. Mi kuiradis per ĝi dum 25 jaroj.

En la lasta jaro mia filino fianĉiniĝis.

"Panjo, la malnova kuirpoto plaĉis al mi."

"Jes, mi scias tion. Ne nur mi, sed ankaŭ vi kuiras per ĝi."

"Rizo, kuirita per ĝi, pli bone gustas. Mi baldaŭ foriros el ĉi tiu domo por havi novan hejmon. Mi foriros kun la poto."

"Kion vi diras! Ĝi estas mia kara poto. Ne forportu ĝin. Mi aĉetos por vi novan, samforman poton."

Mi komencis serĉi samforman poton. En telefonlibro mi trovis nomojn de vendejoj de kuiriloj. Mi vizitis vendejon post vendejo.

"Antaŭe tiaspecan poton ĉie oni vendis, sed lastatempe ni ne vidas tian. Neniu aĉetas tian, ĉar aŭtomata kuirilo sufiĉas." Mi ricevis la saman respondon en ĉiu vendejo.

En iu sabato mi iris sur strato por ĉeesti kafejan kunvenon de Esperanto. Hazarde mi vidis vendejon kun kuiriloj. Mi eniris kaj demandis pri la poto.

"Jes, ni havas ĉi tie", respondis la vendistino.

mal-oft-a      まれな、珍しい  
kvankam      ~だけれども  
uzi              使う

fianĉ-in-iĝ-i      (女性が) 婚約する

plaĉi              気に入る  
(人でなく物が主語になることに注意)  
ne nur ~ sed ankaŭ ~

                    ~だけでなく~も  
gusti              ~の味がする

(gusti bone      よい味がする、おいしい)  
for-ir-i           去る、離れていく

sam-form-a      同じ形の

telefon-libr-o      電話帳  
vend-ej-o          店、売り場

tia-spec-a        その種類の



hazarde           偶然、たまたま  
en-iri-i           (中へ) 入る

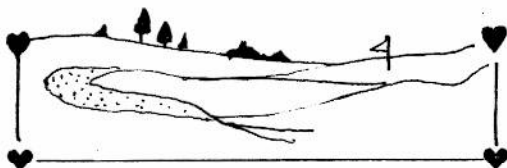
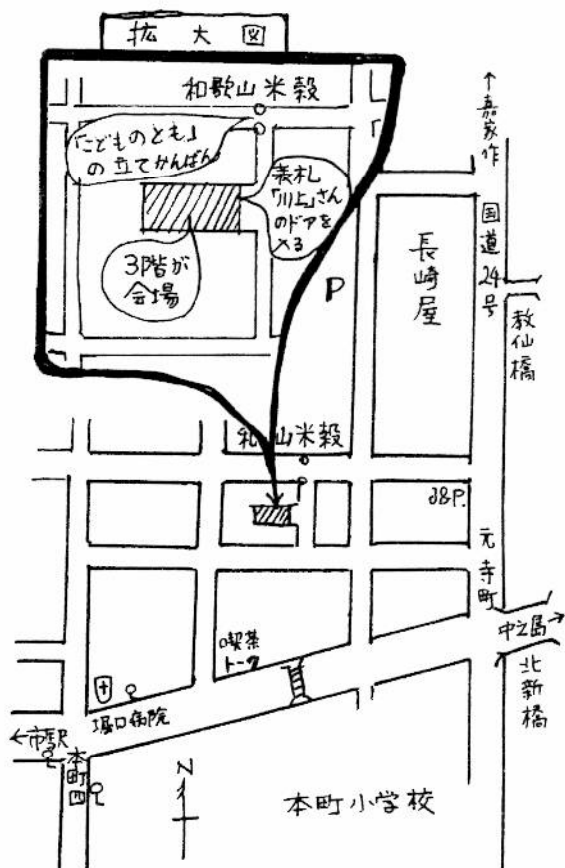


Fine mi sukcesis havi novan poton por la filino. Mia malnova, malbela sed kara poto plu restos ĉe mi.

### ザメンホフ祭

今年のザメンホフ祭は、木曜例会の会場で、気楽なパーティー形式になりそう。詳しくは、土曜おしゃべり会のハガキを利用させてもらってお知らせします。

[木曜例会会場「サロン "会"」案内図]



### GOLFISTO

Iu profesia golfisto vojaĝis eksterdanden kaj nokte havis plezuron ĉe iu bordelo. La prostituitino kriis eble ĉe la kulmino:

"Pori tu! Pori tu!"

La golfisto ne bone komprenis ŝiajn kriojn, do en la sekvanta mateno li demandis tion al la mastrino, kiu kun rideto klarigis al li la signifon de ŝiaj krioj:

"Fakte ...tio ...jes ja tio signifas vere, ke vi estas mirinda spertulo!"

La golfisto estis ege kontenta pro ŝia klarigo.

Dum okazis tiutaga golfmatĉo, lia kunludanto faris belabonan longegan pafon kaj trafis la trueton. Tion vidante, nia golfisto aplaŭde kriis:

"Pori tu! Pori tu!"

Strange la kunludanto furiozis:

"Kial!? Kial mi trafis malĝustan trueton?"



# SANO kaj RIĈO

今川 美代子

私達にとって Sano も Riĉo も共に dezirindaj aferoj です。

が、もし malica Dio が、どちらか一方のみ、Kiun vi preferas? とおっしゃれば、あなたはどちらにしますか?

Sano と Malsano, riĉo と malriĉo と組み合わせ、  
 a) Sano で riĉa    b) Sana だが malriĉa  
 c) Malsana だが riĉa    d) Malsana で malriĉa の4つでは、当然a)ですが、その次には、  
 どれをとりますか?

又もし、sana, nesana, malsana と riĉa, neriĉa, malriĉa との9つの組み合わせ

|                    |                      |                       |
|--------------------|----------------------|-----------------------|
| a) sana<br>riĉa    | b) sana<br>neriĉa    | c) sana<br>malriĉa    |
| d) nesana<br>riĉa  | e) nesana<br>neriĉa  | f) nesana<br>malriĉa  |
| g) malsana<br>riĉa | h) malsana<br>neriĉa | i) malsana<br>malriĉa |

これをご自分の欲しい順に並べてみてください。

|    |   |   |   |   |   |   |   |    |
|----|---|---|---|---|---|---|---|----|
| 1  | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9  |
| a) |   |   |   |   |   |   |   | i) |



これをテーマに、Ni diskutu, interparolu en la kunsido.

1991-04-06

[前号誤字訂正]

P.11 かこみ記事中、右段14行、

"Mia ⇨ "Miaj

# VERDA MONTETO

Redaktita ĉe MAEDA Yonemi (dumonata) N-ro 68

UEAの『Geonkloj esperantistaj』

UEAの Jarlibro には、教育文化関係のいろんなサービスと、その世話人が、たくさん紹介されています。この『Geonkloj .....』もそのひとつ。

16才までの少年少女と大人とを文通で交流させようという企画。

子どもたちはエスペラントを習っても、それを使う機会に恵まれず、また、同年代同志の文通を長続きさせる経験も少ないのです。学校の先生や、両親たちは、そんな子どもたちに勤めて、世話人あて自分の年齢と性別を書いて、申し込んで下さい。また、文通を引き受けてくださるおじさん、おばさんを、多くの国から募集して、リストを作っていますので、これにも応募してください。短くて簡単なエスペラントで、かわいい質問に答えたり、日本文化を紹介したりするのも、楽しい文通となりましょう。



おじちゃん  
おばちゃん  
ボクと  
文通して!  
……ワタシも!

## Geonkloj esperantistaj

(fond. 1958)

Administranto: f-ino P. A. Bellis,

Rockwood, 44 Ladderedge, Leek, Staffs,  
Britio ST13 7AE.



Geonkloj esperantistaj estas skemo por helpi junajn esperantistojn ĝis 16-jarajn per kunligado koresponda kun plenkreskuloj. La lernado de Esperanto nepre postulas postan uzadon, kaj la plej oportuna rimedo estas internacia korespondado. Sed ofte la infanoj havas nesufiĉan sperton por daŭre korespondi kun samaĝuloj.



Instruistoj kaj gepatroj estas petataj instigi siajn infanojn skribi al la administranto, dirante sian aĝon kaj sekson. La sistemo postulas liston de "geonkloj" servopretaj, el multaj landoj, por ke ni povu tuj kontentigi infanon, kiu petas.

La administranto volonte sendos plenajn informojn, kaj danke akceptos mondonacojn (uea-konto onkl-f) por helpi la servon.

UEA Jarlibro 1991, p.116

## 日本人はみんな神道信者ですね？

と質問する外国人がいます。しかし、クリスマスで大さわぎしたり、バレンタインデーでお菓子屋に奉仕したり、... お葬式や法事は仏教で皆真面目な顔で礼服を着て参列しています。日本人の信仰は一体どうなってるの？

『Sepdek-sep ŝlosiloj por Japana Civilizacio \*』という本は、そんな質問に対して、学問的、科学的に解説してくれます。神道に属する日本人は案外少ないのです。

\* Sepdek-sep ŝlosiloj por Japana Civilizacio

日本を知る77の鍵、梅棹忠夫編、G.Sutton訳。

寄稿者：国立民俗学博物館長 梅棹氏はじめ、同館の先生方、  
大阪市大・京大教授の皆さん。

1987年エスペラント100周年記念出版、353P. 1000円。



## § Sintoismo

Kiam oni antaŭ nelonge demandis japanojn en esploro, je kiu religio ili kredas, dudek sep procentoj diris budhismo, iom pli ol tri procentoj diris ŝintoismo,

研究調査で  
10-セント

unu procento diris kristanismo kaj proksimume sesdek kvin procentoj respondis, ke ili ne estas religiaj. Ŝajnas el la rezultoj de tiu esploro, ke la japanoj ne tre interesiĝas pri religio kaj estas aparte malmultaj, kiuj kredas je la ŝintoismo, la propra antikva religio de Japanio.

La afero tamen malklariĝas, kiam oni konsideras alispecajn statistikojn, kiel la nombro de homoj, kiuj je la Novjaro vizitas ŝintoisman sanktejon. Ŝajnas, ke pli ol sepdek ok milionoj da homoj tra la lando vizitas sanktejojn, kaj tiu cifero inkluzivas la pli ol tri milionojn da homoj, kiuj vizitas la sanktejon Meizi en Tokio. Krome, neniu tradicia urbo aŭ vilaĝo malhavas sian sanktejon, honorantan ties protektan dion, kie ĉiujare en printempo kaj aŭtuno okazas grandaj festivaloj. La ŝintoismo daŭre havas lokon ankaŭ en la ĉiutaga vivo, ĉar multaj homoj fiksas ŝintoisman amuleton al sia aŭto; estas kutime okazigi grundorompajn ceremoniojn sur lokoj, kie oni konstruos ponton aŭ domon; kaj supre sur modernaj oficejoj ofte troviĝas malgranda ŝintoisma sanktejo. Krome, en la hejmo oni kutime havas 'kamidana', breton por domaj dioj, kiel ankaŭ malgrandan budhisman altaron. Do, malgraŭ la esploroj, ŝajnas, ke la ligo inter la popoloj kaj la ŝintoismo ankoraŭ fortas. Tamen, la religia praktiko en la ŝintoismo tute malsamas de tiu, ekzemple, en la kazo de unudia religio kiel la kristanismo.

(ne finita)

Sepdek-sep ŝlosiloj por la Japana Civilizacio

宗教をもっていない。

...の結果から考えられることは  
あまり...でない

固有の伝統的宗教(の  
のに)

(はっきりしない)  
他の種類の統計(を  
見ると。...のような。

らしい。

その数字は...をい  
ている。

昔からあるどの町も村も、  
氏神さんを持っていない  
ところはない。  
神の加護に敬意を  
表わしている。

大きなお祭りをしてる。  
(場所を持つ)⇒と入れら  
れている。  
くっつけている。  
おまもり。開扉式'。

祭壇。(上記)研究調  
査にもかわらす"  
人々と神道とのむすび  
つき。  
宗教的行事

...のような一神教の場  
合。

過労死??...よくわからない。  
もっと日本のこと、よく勉強しなければ

レオ・ロベール (フランス)

1991年12月8日は、真珠湾攻撃50周年とかで、戦争に関する議論がいろいろ起こりました。その中に、『戦争は、相手国に対する無知・無理解から起こる。』というのがありました。わがフランスの兄貴レオ・ロベールは、エスペラントを意識しながら、よくこのことを言います。彼とはもう25年余りのおつきあいですが、今でも、彼我の理解不足に気がつくことが多いのです。

[Lasu min paroli]

Certe mi jam ricevis la ekstraktaĵojn el la aprila numero de Revuo Orienta, kiun vi aldonis al leterovia; temas pri la rubriko "Lasu mia paroli", kaj titolo de la artikolo tekstas jene: "Morto pro ekscesa laboro, ĉi tiu japana fenomeno!" Tre interesa pristudaĵo, ŝajne sufiĉe objektiva, kvankam farita de japano. Tamen ĉu la verkinto ne iom troe ampleksigas la malbonan flankon, eble senkonscie por singardeme preteriri eventualan kulpigon pro tro komplezema particeco? ...

筆者は、その悪い面ばかりをちょっと強調しすぎていませんか。たぶん、(あるいは) あまり一方的に、ていねいに書きすぎることで、つい誰かを傷つけることのないように、無意識に慎重になったのでは? ...

Mi mem evidente ne kapablas juĝi pri tio; kaj ĉiamaniere tiu teksto miaopinie estas interesa dokumento por ni eŭropanoj, aparte inda por pli ĝuste kompreni sintenon, reagojn, motivojn, pensmanieron, de la japanoj en la interrilatoj ne nur komercaj, ankaŭ homaj, politikaj. Ĉar fakte miskomprenoj, eĉ konfliktoj, ofte fontas el mal-samaj vivkonceptoj esence propraj al diferencaj civilizacioj, kvankam fundamente samas la profundaj sentoj universale ankritaj ĉe la homoj en kiu ajn kontinento ili vivas. Sed ĉu personoj, kiuj neniam forlasis sian vilaĝon aŭ limigitan regionteritorion, ĉu tiuj kapablas memforfuĝi el la katenanta premo de la jarcentaj kutimoj, moroj, antaŭjuĝoj, cetere

zorge flegataj de la naciismaj  
regantoj? ... Ve! necesus miraklo!  
...Miraklo, kiu nomiĝas: Esperanto...

Léo ROBERT

## KAMPANJO

エスペラントをもっと  
アジアに広めよう。

UEA役員 So Gilsu 博士



1. UEA会費一覧表 [B] に該当する国の人々は、約半額の会費になるので、代払い寄付をしてあげる。(Kontribui)
2. 一覧表 [B] の国の人々は、自分で運動情況の記事を書いて So Gilsu 博士宛に送れば、会費無料になる。応募者を見付けてください。(Kandidati)

### "KAMPANJO" kontribui al AZIA MOVADO

Monata salajro de multaj landoj en Azio egalas al la aliĝkotiĝo de UEA --- 42 guldenoj (ĉirkaŭ 3600 japanaj enoj). Malgraŭ malfacilaj cirkonstancoj, azianoj aktivas en la fronto de Nia Movado. Ili tamen ne havas Jarlibron de UEA, nek legas gazetojn, per kiuj ili povas konvinki siajn lernantojn.

Urĝa kaj certa helpo estas aligi ilin al UEA, per kio ili povas ricevi Jarlibron kaj la gazeton "esperanto". Mi lanĉis projekton C\* (aligi aziajn esperantistojn al UEA). Mi petas vin kunlabori kaj helpi per tio.

等しい

入会会費、ギルダー(オランダの通貨)。  
(むずかしい状態)にもか  
かわらず。  
エスペラント運動  
年鑑。...もない。  
納得してもらう。

入会してもらう。

やりはじめる

kiel kontribui

[寄付による代り] ]

Japanaj esperantistoj povas kontribui laŭ siaj bontro-  
voj.

適当な判断

- unu stelo---1800 enoj (21 guldenoj)
- du steloj---3600 enoj (42 guldenoj)
- tri steloj---5400 enoj (63 guldenoj)
- kvar steloj---7200 enoj (84 guldenoj)
- kvin steloj---9000 enoj (105 guldenoj)
- ses steloj---10800 enoj (126 guldenoj)

一部のエスペランティストの間で用いる国際的価格単位.

# kotiztabelo de UEA === Tarifo B : 42 guldenoj  
(Ĉiuj aziaj landoj krom Japanio, koreio, Israelo, Hinda Unio, Hongkongo, Kuvajto, Malajzio, Singapuro, Tajvano)

会費一覧表. 金額表

Kontribuantoj regule ricevos la raporton pri AZIA MOVADO pere de la modesta cirkulero "Esperanto en Azio". Ĉi tie vi povas legi la trian kaj kvaran numerojn.

ここに書いてある国々以外のアジアの国の人々は会費一覧表により、年42 guldenoj を払えば、UEA 会員になれるのです。  
...によって。

kiel elekti kandidatojn

[無料会員になる方法]

Aziaj aktivuloj apartenantaj al la landoj de la tarifo B, verku artikolon pri unu el la jenaj temoj.

活動家。...に属する記事を書いて下さい。

1. Kion fari kaj kiel progresigi nian movadon en Azio?
2. Kia estas la nuna stato de nia movado en via lando, regiono, kaj kiel plibonigi tion?

進歩させる

Kaj sendu la artikolon al prof. D-ro SO Gilsu

[記事の送り先]

Yangchon PO Kesto 11,  
Seoul 158-600  
Korea Respubliko  
tel/fakso -82-2-646-5413



# Bonvolu informi viajn korespondantojn pri la kampanjo, por ke ili kandidatiĝu. Kaj mi petas esperantajn gazetojn aperigi la supran tekston.

—らん表Bの図で、もしあなたに文通相手があったら、このことを教えてあげて下さい。

\* Projekto C

UEA の雑誌『esperanto』1991 年 4月号に、So Gilsu 博士のプロジェクト A, B, C, Ĉ の4つの、アジア運動プランを発表しています。

A : 各国の UEA加盟団体や個人会員の協同活動について。

B : Vojaĝantaj Delegitoj. アジアの国々をまわって、エスペラントを教え、Rondo 結成のお手伝い。その、いくつかの実例を挙げています。

C : アジアの活動家を、UEA に加入させること。

これがこのキャンペーン記事の中心となっています。

その実況について、下記参照。

Ĉ : アジアの活動家を、アジア・ヨーロッパに研修旅行させる。

\*\* Projekto C の詳細 (UEA esperanto 1991. 4 月号より)

『このキャンペーン発表第1年目、無料会員になれるよう記事投稿してきたのは、殆ど中国からで、ベトナムからは1人だけ。翌年からはもっと広く周知させることに努力します。』

寄付は、UEA から 40 steloj, 日本大会から 80 steloj, 韓国大会から 42 steloj, ジョエル・プロソフスキーさんから 1 stelo, フィンランドから 49 steloj. これだけのお金で、109 人のアジア活動家を UEAに加入させられます。』

:前号誤字訂正:

p.13. 右欄 ↓3 行、

eksterdanden ⇒ eksterlanden



角尾政雄先生が亡くなりました。

Revuo Orienta 1992.1月号の INTERMEZEで、先生が、1991年11月29日ご病気で亡くなられたことを初めて知りました。本誌には、1991年6月号まで、たびたびご投稿いただいております。遅ればせながら、謹んでお悔やみ申し上げます。

## 霊の数

-- DEMANDOJ AL REI-ISTO --

最近、霊界とか守護神とか盛んに世間で言われ、テレビでも霊に関する放映が繁盛している。そこで私は質問する。



Estimata Rei-ista Moŝto.

Kun kora respekto mi demandas al Vi, humile, pri tio, kio min maldormigas en la nokto pro ega maltrankvilo. Mi esperas, ke Vi afable donu al mi trankvilon en la koro per Via trafa revelacio.

Riverence Via OKUMURA - Rinzo

DEMANDO 1. Ĉu nia Rei postvivas senmorte en Rei-mondo aŭ ĉu estingiĝe neniĝas post nia karna morto?

RESPONDO: あなたは何とお答えになりますか?

DEMANDO 2. Se nia Rei postvivadas en Rei-mondo post nia karna morto, en Rei-mondo svarmas milionoj da milionoj da Rei, inter tiuj de Kristo, Budao, Hidejoŝi, Goemon kaj mi kaj vi. Mi timas, ke okazus kaoso ke kiu estas kies Rei. Ĉu ne?

RESPONDO: いかがでしょう、あなたのお答えは?

DEMANDO 3. En okazo de novenaskita bebo, ĉu lia Rei ankaŭ nove naskiĝas, aŭ ĉu iu jam ekzistanta Rei al ĝi kuniĝas?

RESPONDO: どちらでしょうか?

DEMANDO 4. Se Rei nove naskiĝas al bebo, la nombro de Rei senfine tro multiĝas. Ĉar Rei naskiĝas sed ne mortiĝas. Ĉu jes?  
Se Rei ne naskiĝas, la nombro de Rei estas ĉiutempe fiksita totale.  
Ĉu jes?

RESPONDO: どう考えればいいのでしょうか?  
霊は、数があるのでしょくか?



# 1991年度 会計報告

1990(H2).11.17.~ 1991(H3).11.16.

## 収入の部

| 項目    | 金額      | 摘要                   |
|-------|---------|----------------------|
| 前年度繰越 | 163,799 |                      |
| 会費    | 99,000  | 当日会費 19 人, 年会費 28 人。 |
| 別会費割引 | 5,520   | JEI, KLEG より         |
| 寄付    | 35,440  |                      |
| 貯金 利子 | 5,600   |                      |
| 図書売上代 | 7,465   |                      |
|       | /       |                      |
| 計     | 316,824 |                      |

## 支出の部

| 項目    | 金額      | 摘要       |
|-------|---------|----------|
| 通信費   | 47,740  | 切手、葉書代   |
| 印刷代   | 88,758  | VM印刷代    |
| 事務用品費 | 3,872   | 封筒、紙やき 他 |
| 会議費   | 19,471  |          |
|       | /       |          |
| 計     | 159,841 |          |

|      |         |
|------|---------|
| 収入の部 | 316,824 |
| 支出の部 | 159,841 |
|      | /       |
| 次期繰越 | 156,983 |

和歌山緑丘会会計係 牛島美恵子

Momento j  
el nia Z-Festo

福本さんの司会で、会は乾杯で始まる。



木曜夫人 Jáuda Rondoの皆さんの準備がよく行き届いていました。



自己紹介は、近況報告、信念披露など。



〔出席者〕略敬称

上中章子、牛島美恵子、江川治邦、垣口典代、  
亀井幸枝、唐妻尋子、田中正美、谷上 屹、  
殿井一郎、西原未佳子、長谷川好史、  
福本博次、船浜明美、前田米美、松下享代、  
宮本勝正、吉富相子

福引きで、いつも愛用の使い捨てカイロが当っ  
て喜ぶ編集生。

# 和歌山緑丘会

[活 動]

Wakayama Klubo Verda Monteto

会費の払込は、郵便振替をご利用ください。

振替番号 [大阪 6-3630]

名 義 和歌山緑丘会

会費は年、3,000 円、

家族・学生 1人 1,000円。

会計係 和歌山市狐島 65012、牛島美恵子

会費払込の方は、月曜・木曜の講座受講は、  
無料となります。



編 集 だ よ り 前 田 米 美

編集生の突然の入院で、VERDA MONTETO 発行予定がすっかり遅ってしまいました。ご覧のように、原稿不足にあえぎ、殆んど自作でやむを得ざるがありました。大へん 両なくって、おわびいたします。

すぐ 次の号を出す 2月がせまっています。いつも奇数月の中頃には、原稿が大体そろっているが、書いて下さる予定の原稿が、少しおくれの程度でまわっているのですが、次号では、それもいささうありません。

本号は、ほんとに堅苦しい記事ばかりになったように思います。そこで読者のみなさんからの、親しみある原稿をいただきたいと思ひます。

1ページに 1200字~1600字はあります。これは、編集生がワープロなどで打ち直したり、縮小コピーをした場合、2ページ以内位にまとめるのがいいです。どうか奮ってご投稿下さい。

ワープロのタイプライター 自分でお持ちの方は、たて 19cm、よこ 14cm の枠内に原稿を作ってください。そのまゝ 割り付けられるので、編集生大助かり。遠井さんがいつものように、きれいな カットやでし給えを入れてくれます。勿論、自分で 揃って下されば、尚 ありかたいです。

内容は、どんなことでもいいのですが、できれば、日本文の場合、少しでもエスペラントに関係あることを、エス文の場合、どんなことでもいいですからやさしいエス文にして下さい。

大切は、上にも書きましたように、奇数月の 15日頃までに到着の原稿は、次号 (VERDA MONTETO はいつも偶数月に出ています) に載ります。但し原稿が多数に 変わったら、次々々にまわりますが、原稿を一部縮小 (この場合、電話でご相談させていただきます) させていただくこともありますので、ご教示ください。御礼としては、掲載号を一部多く送らせていただいております。ご希望により、5部までお送りします。

(1991. 12. 31)

★月曜講座 (1987年7月開始)

毎週月曜日午前10:30~12:00

和歌山市九番丁、喫茶「けまり」3階

(市役所の北 100メートル)

現在のテキスト

日本の絵本を2冊、分担して翻訳中

出席者: 唐妻尋子(連絡係)、鈴木政子、

小林充佐子、福本信子の皆さん。

入門コーナー

垣口典代、松下享代(講師)

★木曜講座 (1984年11月開始)

毎週木曜日 午前10:30~12:00

会場: 当分、会員宅で。2月ごろから

和歌山市元寺町南ノ丁、サロン「会」

3階。(長崎屋の西南 100メートル)

現在のテキスト

『La Eta Princo』(星の王子様)

La Unua Kursolibro

出席者: 上中章子、亀井幸枝、西原未佳子

(連絡係)、船浜明美、吉富相子、

時々、松下享代の皆さん。

★土曜おしゃべり会

毎月第一土曜日 午後1:00~3:00

市駅前、喫茶・英国屋2階

テキスト・会費は不要。各自飲み物など

自由に注文して自由におしゃべり。

出席者: 牛島美恵子、江川治邦、斉藤久美

子、田中正美、谷上 屹、長谷川好史

福本博次 (Konstanta zorganto) の

皆さん

★隔月刊誌「Verda Monteto」発行

# VERDA MONTETO

Redaktita ĉe MAEDA Yonemi (dumonata) N-ro 69



Wakayama Geknaba Ĥoro  
vizitos eŭropon  
kun afablaj helpoj  
de esperantistoj surlokaj



和歌山児童合唱団のヨーロッパ演奏

—エスペラントとユネスコが協力して実現— 江川治邦

昨年11月、和歌山児童合唱団(岩橋延直団長)より、和歌山ユネスコ協会(松尾久会長)に  
<1992年度春休みにヨーロッパ演奏をしたいので、そのアレンジと協力をお願いしたい>との  
依頼がありました。

和歌山ユネスコ協会としては、姉妹提携先のボン・ユネスコクラブに依頼する手もあるが、事  
の内容(複数都市での演奏)や、交信に必要な言葉の問題もあり、ここはひとつ、エスペラント  
のチャンネルでお願いしたいと、同ユネスコ協会国際部理事で緑丘会々員である私に、その可能性  
について打診されてきました。

時間的な余裕のない状況でヨーロッパの文通相手と交信の結果、数年前来和したオランダの  
S-ino Constance HARVEYさんから、自分の町の Bergen での演奏会は引き受けると回答があり、  
つづいてドイツの Bonn から、ボン青年エスペラントクラブの S-ro Ulf KEMMER君が、ボン・ユ  
ネスコクラブ会長バンガート女史と相談の結果、ボン・ユネスコクラブ主催でやりましょうと、  
返事がありました。

近年、和歌山児童合唱団は、中国(済南)、カナダ(リッチモンド)、アメリカ(ペーカース  
フィールド)といった姉妹都市ばかりでの演奏旅行であったが、今回はエスペラントのお蔭で、  
本場ヨーロッパで演奏ができると張りきった練習に入っています。民際による好意での、単なる  
演奏ツアーに終わらない教育的な配慮のプログラムで国際交流ができると、関係者一同が喜んでく  
れています。

「エスペラントとはどんな言葉か」「英語による民際で、これだけのアレンジが出来るだろう  
か」と、元全国PTA会長の岩橋団長(歯科医、和歌山市教育委員、ktp.)は驚いている。そんな  
こともあり、1月26日は、合唱団員(13才~14才)と関係各位に対し、エスペラントに  
関するオリエンテーションを行い、その言葉の易しさや中立性、それにホマラニスモにも触れ、  
最後に、皆さんと一緒に易しいエスペラントの歌を歌った次第です。

それにしても、オランダのコンスタンスさんも、ドイツのウルフ君も、『自分たちにまかせてくれ、内容のあるものにするから』と、自分自身のこととしてがんばってくれました。現地の市長、教育委員、ユネスコ協会との折衝、演奏会場のセット、ホスト・ファミリーのアレンジに万全を期すべく努力してくれています。

勿論、今回の訪欧に際して、日本側のユネスコ会長や合唱団団長の挨拶は、エスペラントを中介言語として相手の言葉に通訳されるよう膳立するつもりです。コーラス演奏には25曲程度を用意しているようですが、そのうちの1曲はエスペラントで歌っていただくことにして、現在小西 岳さんに翻訳（小さな世界）を依頼している次第です。エスペラント界では珍しいイベントであるとして、日本エスペラント学会理事長、西川豊蔵さんがこのツアーに協力者として参加してくれることにもなっています。ここまでくれば、あとは成功を祈るのみです。

#### <旅 程>

- 3月25日 大阪→成田→ロンドン ロンドン泊
- 3月26日 ロンドン→アムステルダム→(バス)→ベルゲン泊(ホームステイ)  
\*アムステルダム市内観光(アンネの家、ゴッホ、レンブラント展、ダム舟遊他)
- 3月27日 \*オランダの中学校での授業参観(6教室で)  
\*午後、同中学校ホールで合唱(日本舞踊も) ベルゲン泊(ホームステイ)
- 3月28日 \*ホストファミリーと6チームに分かれて Bergen 近隣の自転車遠足(遊びの中でコミュニケーション)  
\*中学校で市民向けのコーラス演奏(日本舞踊も) ベルゲン泊(ホームステイ)
- 3月29日 \*遅起きしてホストファミリーと別れる  
Bergen → Bonn へ向けバス旅行 途中干拓地等を見物  
夕方ボン到着。ボン・ユネスコクラブ歓迎会  
ボン泊(ホームステイ、ユネスコ会員宅、中学生宅)
- 3月30日 \*午前中 ボン市内のバス観光(マルクト広場、ベートーヴェン・ハウス、ボン大学、国会議事堂 他)  
\*午後、市長歓迎会(非公式に旧市庁舎内で歌う)  
お買い物  
\*タ ホール(教会?)で公式コーラス演奏(日本舞踊も)  
ボン泊(ホームステイ)
- 3月31日 \*午前中 学校訪問-授業参加(数学・語学)、会食  
\*午後 ケルンへバス遠足  
\*タ ボンの中学生と学校で交換コーラス  
お別れパーティ - ボン泊(ホームステイ)
- 4月 1日 ライン河下り → バスにてロマンチック街道へ  
(ハイデルベルグ → ローテンブルグ)、ローテンブルグ泊



4月 2日 ネットリンゲン、アウグスブルグ、ノイシュバンシュタイン城  
→ ミュンヘン  
ミュンヘン泊

4月 3日 ミュンヘン → ロンドン  
ロンドン市内観光 ロンドン泊

4月 4日 \*ロンドン自由行動 ロンドン泊

4月 5日 ロンドン(10:25 Hr) ↓機内泊

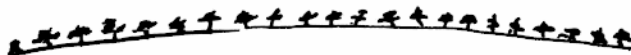
4月 6日 大阪(13:45 Hr)

団員と関係者総員50名の参加になっています

## 神道の危機、伝来した仏教との対決



Ŝintoismon konfrontis konkurenco de nove importita religio, la budhismo



### § Ŝintoismo - 2

La ŝintoismo baze estas animisma religio, kiu perceptas la eston de dioj aŭ sanktecon en bestoj, plantoj kaj eĉ senvivaĵoj kiel ŝtonoj kaj akvofaloj. Ĝiaj radikoj etendiĝas el la fora pasinteco. Granda nombro da aĵoj, trovitaj inter restaĵoj datiĝantaj ekde la Zyōmon-periodo (ĝis 200 a.K.) kredeble havis ian magian signifon, ekzemple figuroj el ŝtono aŭ argilo, ŝtonoj en la formoj de fungoj kaj cirkloj de ŝtonoj. Aldone, oni trovis multajn arojn da votaĵoj, datiĝantaj el la plej fruaj tempoj kaj konsistantaj



アニミズム：自然界のすべてのものは靈魂をもっていると考えられる原始的な宗教観。存在を感じとる。

根源

なにかの神秘的なイミを。人や物の形

石をならべたサークル

神への誓いのもの

模型によって作られた→votaĵoj

el modeloj de speguloj, juveloj, domoj kaj homoj, formitaj el ŝtono aŭ argilo. En la plimulto de la okazoj oni trovis ilin en lokoj proksime ligitaj al hodiaŭaj ŝintoismaj sanktejoj, kiel rokoj aŭ montoj en nekutimaj formoj, laĝetoj kaj putoj, insuloj ĉe danĝeraj aŭ strategiaj punktoj sur velkursoj kaj tiel plu. Ankaŭ kiam oni elfosas la restaĵojn de domo, estas kutime trovi tiajn votaĵojn en la loko, kiun okupis la kuirejo.

決まって今日の…に近いとろで

船のコース上の、危険な、あるいは戦略上のポイント

住居跡を掘ってみると

Do ŝajnas, ke la ŝintoismo estas japana formo de religia praktikado, kiu ĝuas proksimajn rilatojn kun la ĉiutaga vivo de la popolo, kiel ĝi ĝuis ankaŭ en la pasinteco. Ne ŝajnas, ke ĝi havis la formon de organizita aŭ sistemigita religio. Fakte, la ŝintoismo iĝis sistemigita religio, kiam ĝin konfrontis konkurenco de la nove importita religio, la budhismo.

宗教的な祭礼行事、特典としてもっている。

(神道が、佛教との競合で対決させられた時)  
<意訳>

Laŭ la historiaj kronikoj, la budhismo atingis Japanion en aŭ 538 aŭ 552. Ŝajnas, ke ĝi unue estis rigardata ne tiel multe kiel religio, sed simple kiel nova formo de scio, kiu estis monopoligita de certaj grupoj en la japana socio, kiel la enmigrintoj kaj aristokratoj, kiuj provis enporti la civilizon de kontinenta Ĉinio en Japanion. Sed, dum la tempo pasis, kompreno pri la nova religio pliiĝis inter la nobeloj kaj intelektuloj ĉe la kortego, kaj kelkaj homoj havis sufiĉe da kredo por monafiĝi. Poste okazis provoj igi ĝin la nacia religio de Japanio, kaj nombro da imperiestroj fariĝis kredantoj je la budhismo.

年代記

単に、新しい形の知識として

独占された

渡来人や貴族階級

宮廷

僧となって入門する(ほどの)

国教

\*(fonto): Sepdek-sep Ŝlosiloj por Japana Civilizacio

日本を知る77の鍵、梅棹忠夫編、G.Sutton訳。

寄稿者：国立民俗学博物館長 梅棹氏はじめ、同館の先生方、

大阪市大・京大教授の皆さん。— 4 —

1987年エスプラント

100周年記念出版、

353p. 1000円。

## ラインランドの甘く 不思議な夜



RENDEVUO KUN YOŜIKO

*Albert F. Stephan*

Roberto parkis sian aŭtomobilon proksime je la rando-ŝtono de la trotuaro kaj antaŭ hele lumigita montro-fenestro de memserva magazeno. Li elveturiliĝis. Li observis la loĝdomon vidalvide. Interesis lin la fenestro de la tria etaĝo, kie lumis lampo. Estis vendredo, vespero.

Lia brakhorloĝo montris la sepan horon. La trafiko sur la strato estis ankoraŭ vigla. La fenestro en la tria etaĝo subite malheliĝis. Ŝi certe nun venos. Ŝi ja promesis lin rendevui hodiaŭ, sed devus plenumi antaŭe kelkajn aferojn, poste ŝi havus sufiĉe da libertempo por li.

Kiel la antaŭnomo montras, ŝi estas Yoŝiko, japanino, kies patro laboras ĉe japana entrepreno en granda urbo de la Rejnlando. Roberto konatiĝis kun ŝi dum iu festo de la japana kolonio. Estis amo ek de la unua rigardo. Impresite de ŝia aminda vizaĝ-esprimo kaj de la belaj nigraj haroj kaj la maniero, kiel ŝi flekseble paŝis. Kiam ŝi diris ion per delikatsentema voĉo, oni povis vidi belajn blankajn dentojn.

La dompordo estis malfermita. Elvenis Yoŝiko. Ŝi mansvingis al Roberto. La strato-lanternalumo estis ŝia scenej-lumigo. Li estis iomete nervoza. Li estis ne certa ĉu ŝi reciprokus sian amon. Li spertis, ke estus tre malfacile konkeri ŝin. Li jam

dubis havi sukceson.

Yoŝiko venis trans la strato kaj salutis lin amikece ridante, eniris la aŭtomobilon. La veturado komenciĝis.

"Ni veturu unue al la Karmen-strato", ŝi petis. Roberto altigis la rapidecon de sia Mazda super la kilometra nombro, kiu estis permesata, kaj esperis, ke Yoŝiko admirus lin pri lia kondut-taŭgeco. Antaŭ iu domo en la Karmen-strato ŝi petis stopi, eliris, malaperis en la domon kaj revenis aminde ridetante post duona horo.

"Nun veturigu min al la Karlo-strato, Roberto." Li submetite kapjesis kaj direktigis la veturilon tien. Yoŝiko eliris, malaperis en la domon n-ro 67 kaj revenis aminde ridetante post duona horo.

"Kaj nun mi ŝatas veturi al la Hansa-alteo n-ro 152", ŝi diris ĉarme. Kiu enamiĝinto povus rifuzi tian deziron aperigitan el dolĉa buŝo? Do, ĉio okazis, kiel antaŭe: Ŝi elveturiliĝis, malaperis en la domon kaj revenis post duona horo.

"Kaj nun veturigi min ...", Roberto interrompis ŝin. "Fino, Yoŝiko", li koleris. "mi ne plu veturigas vin ien, nek al la japana templo, nek al la japana lernejo, nek al iu stranga domo. Hej, kion vi faras en la domoj?" Ŝi koleretis. Ho, ja, aspektis vere dolĉe, kiam ŝi koleretis.

"Ho, Roberto mia, vi ne estas galanta, mi ne atendis tion de vi. Mi deziras hejmenveturi. Estas jam malfrue. Via koleremo venenas al mi la ĝojon por tiu vespero."

"Mi tute ne intencas ĉagreni vin, mia kara, tamen, la malfruiĝo estas via kulpo. Vi ja volis veturi tien kaj tien. Por plenumi viajn dezirojn, mi veturis tro rapide

kaj riskis pun-mandaton, ĉu ne?"

"Bone, Roberto, mi klarigos la situacion. En ĉiu domo mi devis informi amikon, ke mi ne povus esti ĉe li, ĉar mi ege ege deziras nur esti kune kun vi."

Kortuŝite li kisis sin sur ruĝaj lipoj.

Cetere, estis longdaŭra plezurplena vespero ... en la loĝejo de Roberto!

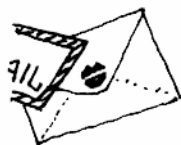
Fino

---

## S-ro OKUMURA Rinzo jam estas Onklo esperantista. (Vd. N-ron 68)

大阪市教委募集作文『高齢者の声』佳作入賞、大阪市ロータリークラブ賞

「小学生が相手、いつも若く」



奥村林蔵

教員として平凡に勤務する波乱のない満ち足りた毎日であったが、定年退職後、どうしようかと考えこんだのが三十年前のある日。

盆栽や園芸—自宅の前栽の世話もうとうしい自分。謡曲—学生時代に「高砂」を習いたくて手ほどきを受けたが、「君には無理」と言われて断念。囲碁—数学教師ながら、あの多岐な順列組合せは苦手。将棋—新将棋「ノーバ」という互いに二手ずつ打つという忙しいルールの新案を創始発表したが、世間から黙殺されている。ジョギング—走ったあと何をすることが問題なのだが、スケッチ—少々は今でもやっているが、そればかりやると嫌になる。書道—以って我が名を記せれば足る。と何や彼や考えたが、最後に思い当たったのがエスペラント。

国際語エスペラント、これは珍しい。

語学であって、どこの国の言葉でもない。

この宇宙時代の現代に、他の天体から地球へ来訪者があった時に、その対話は地球語でなくてはならない。

日本語やイギリス・アメリカ語、ドイツ語、フランス語などの方言では話は通じまい。たとえ彼等に超能力があって、こちらの方言を解してくれたとしても、その各国の国語という地球上の一方言をもって地球全体の言語を代表させる手はない。

我々の間においても、ある国語が他の国語を押しつけてその上位に坐ることは、本当の意味での、心底からの平等平和ではない。

と、まあ、こう言ったような理由で、私はエスペラントを定年後の仕事とする決心をした。そして、予想外にやさしい学習のあと、教職の余暇に外国の人と文通を始めた。それも世界の田舎の国、というと変だが、イギリス、フラ

ンス、アメリカなどの大都会的な国とでなく、ポーランド、フィンランド、ハンガリー、スペイン、キルギスなど、今日はやりの外国文通相手国とはちがった国々である。

定年退職後も、元教員のくせで、相手は小中学生が多く、ポーランドのカストーラ・クルーボ（少年少女文通会）からの紹介、イギリスの「エスペラントおじさんの会」からの紹介で、毎日手紙を書いている。

ついこの五月にも、このエスペラントおじさんへ、フランスの片田舎の小学生と文通してもらえぬかと、担任先生からの手紙。

生徒数十人、先生二人。

この村にはお店はパン屋が一軒ある切り。あとの日用品は、何日かに一回、商人が小型バンで売りに来るのを待つか、十キロ離れた町ルフェクへ買いに行くという田舎の村。

早速、承知して大阪城の絵葉書でやさしい返事を送ると、あっという間に第一信が来た。

「ワタシー人ガナントカ、カケマスノデ」と代表格のタティアナちゃんのたどたどしい大きな字でのB4が二枚の手紙。まわりには赤や青や黄で花や魚やハート型や波線が書きそえられていて、末尾には幼い筆跡で合計十一人のサイン。（封筒はもちろん担任が）

きっと級長のタティアナちゃんを囲んでワイワイガヤガヤ、照れつつも興奮しつつサインしたことだろう。目に見えるようだ。

この田舎の小学校に、遙かに遠い日本という国から手紙が来た、手紙を送れる、これは地球人が宇宙人と交流できた程の事件ではなからうか。

さて、その返事だが、担任の先生へ、級長タティアナちゃんへ、あと十人の児童たちそれぞれへと、ずっしり重い封筒をポストへ入れた。

あとどうなるか、しんどい仕事だが楽しみである。

サンフランシスコ州立大学の

## エスペラント夏期講座

6月29日 ~ 7月17日

新年早々の1月4日、カリフォルニアのS-ino Cathy SCHULZE さんから、案内書が届きました。気候のいいサンフランシスコで3週間の国際語生活を楽しみませんか。アジア、ヨーロッパ、南米などからの参加者もたくさんいるようです。

エスペラントを使っただのエスペラント入門講座も面白い。講師の中に、和歌山に来たことがあるハンガリーの美人 esperantistino、カートニー・イローナさんが見えます。ステファン・マギルと結婚して、ブダペストに住む、もう

大 veterano。

[クラス区分]

入門、初等、中等、上級、指導技術の5クラス。各、3単位。

[費用] 1USドル=130円として。

\*参加費 3週間 約 40,000円。

\*宿泊 // // 52,000円。

\*食費 昼食のみの場合、3週間  
約 15,600円。

3食3週間 46,800円。

[部 屋]

炊事施設、冷蔵庫付き。近くに大スーパー。

[出迎え]

外国からの参加歓迎。到着の日・時・航空ラインと番号を予告していただければ、空港まで迎えに行きます。

[気 候]

サンフランシスコの夏は、雨は降りません。気温 16 ~ 20 度C。プルオーバーに暖かいジャケットをご用意ください。

[講 師]

Jaderstrom Reginald (ホノルル)

Koutny Ilona (ハンガリー)

Werdirn Joachim (ポーランド)

3人の講師が交代で教えてくれますので、いろんな教えかたに接することができます。

[お楽しみ]

\*遠足は週末にやります。団体遠足と、自由遠足。

\*園遊会：日曜日、シュルツ夫妻（本講座主宰者）、ハーモン夫妻（北アメリカ・エスペラント連盟幹部）のお宅に招待される園遊会。講習生の寸劇、ダンスなど。

\*夜：講演、スライド映写、歌まつり、ダンス、研究サークルなどが予定されています。

[問い合わせ、その他]

\*下記、シュルツさん宛。

詳細案内書、参加申込書、宿泊申込書などが送られてきます。

S-ino Cathy SCHULZE

410 Darrell Rd.

HILLSBOROUGH,

CA.94010-6710 USA.

\*宿泊の方は、6月28日（日）に入室してください。

\*航空券などについては、日本の梅田善美さんに連絡してみてください。

OES ( Osaka Esperanto-Societo ) が TELEFONSERVO をやっています。プログラムは1週間替わりで、Esperanto 界のいろんな情報や講座を流しています。

TELEFON-N-roは、06-930-4481。「Novstelo」というコーナーもあって、各ロンドの新人を紹介していますが、こんど和歌山の新人が紹介されます。

来る3月15日から21日までです。いちど聞いてみてください。



この夏、8月17日から22日まで、中国の青島で、汎太平洋エスペラント大会が開かれます。この大会はもう5回目。旅行団は「国際文化工房」（東京都江戸川区平井6丁目57、5号の101）で組織されています。お盆の休みを利用した8月11日出発、北京、済南、曲阜泰山などをまわって、17日からの大会に参加し、23日帰国という旅程を組んでいます。申込用紙は、前田まで。

## ” 仰げば尊し ” 推敲座談会

Polura diskutado por  
Esperantigi Japanan  
Kanton "Aogeba Tootosi"

(Dankojn al  
Instruistaro)

日時：1992年2月13日(木)

場所：市内、内原、吉富さん宅

司会：前田 米美

記録：Magnetofono

司会者：近頃、和歌山でも学校では殆どこの”仰げば尊し”は、歌われなくなりました。この歌には、先生が上から抑えつけるような封建的な匂いがあったからでしょうか。奥村先生も若い頃の反抗期に、この歌を歌いつつ心の隅で、『先生も職業、商売ではないか。恩にきる必要なんかあるものか。』と反発を感じたこともありました。(以下、先生の手紙)

くしかし、55年間の教職生活で、遅刻常習生徒に毎朝電話をかけ、家出生徒を探しまくり、赤点生徒に補講をし、優秀生徒に追加課題を与え、24時間勤務、日曜日にはクラブに付添。毎年、在校生・卒業生から来る500枚の年賀状に洩れなくお返しの年賀状を書く。ただの商売心では出来ることではないと我ながら思う。やっぱり『仰ぐ』だけの値打ち、『仰いで』もらうだけの価値はあると思う。だから、卒業式には、私も、生徒と声をあわせて ” 仰げば尊し ” を歌います。生徒に謝恩を強要しているのではなく、私自身、幼い頃の小中高校生徒時代の先生を思い浮かべながら歌うのです。いつも胸を熱くして歌います。..... >

.....

司：それにしてもこの歌は、歌詞・曲ともに名作だと思います。教科書には『作詞・作曲者不明』となっていますが、ほっといても『なつめろ』となって残っていくのではないのでしょうか。

卒業式の近づいたある日、奥村先生はこのエス訳を思い立ちました。そして作りあげたものを緑丘誌のために送って下さいました。それが今お配りしたコピーです。ちょっと歌ってみてください。



Adore ni vin dankas, Kara instruistaro  
Ja pasis jarar' sage en lerneja kort'  
Emocie meditas ni je flugo de jarar'  
Nu ni ja disiĝu, Adiaŭ. Sanon al vi.



(あおげばとうとし)

A: Adore ni vin dankas u, あれ、ちょっと変ね。

B: そこはね、Adore ni vin da - nkas と、ひっぱればいい。

C: こうも歌えます。Ado - re ni vin dankas.

司：まだ他にも、ひっぱれる箇所がありそうですね。例えば、

Adore ni vi - n dankas,

D: そう歌うと、日本語の歌詞の『とうとし』とひっぱる感じが出ますね。

B: でも、エスペラントで歌うと、vi - in dankas と、ちょっと不自然な感じ。

C: そんなに、ひっばれる個所があちこちにあつたら、皆バラバラで困ります。ひっばる個所をはじめから、きちんときめておいてもらわなくては、皆いっしょに歌えません。困ります。

司: その通りですね。では、今までに出たひっばる個所を、どこにもっていったら、うまく歌えますか。

A: 話をもどした悪いけど、さっきの vin をひっばる時、『とうとし』の前の方の『と』の音(ソ)をすっとばして、『う』の音(ラ)に vin をあてはめてはダメ?

司: あ、それも、いけると思いますね。

あ お げ ば と う と し

A do re ni - vin dan kas

結局、ni をひっばる形ですね。

C: 私はそんなのイヤ。『とうとし』の『と』の音にも、エスペラントをあてはめてほしい。

司: では、1行目、どこをひっばるのがいいですか。

C: そんなの、きまりません。皆、自分の好みがあります。その上、私たちは、日本の歌をエスペラントに訳した経験もないし、そんな力もないから、どこをひっばるのがいちばんいいなんて . . .

司: 少しエスペラントの訳詞を変えて、ひっばる個所が無くなるようにしたら?

C: そんなの、よけい無理。

司: 例えば、vin dankas は al vi dankas とも言えますよ。そうすれば、エスペラントの音節がひとつふえて、ひっばる個所がなくなります。

C: やっぱり先生や。私には考えつきません。

司: では、1行目、どこでひっばるか決めるのはあとまわしにして。2行目はどうでしょう。

皆: (小声で歌ってみる。)

おしえ のに わに も はやいく とせ

A: Ja pasis jarar' sage en lerneja ko ru to ???! (笑い)

やっぱり へんな。

司: あ、エスペラントの歌では普通、1音節 (silabo) は、1つの音符にあてて歌うのです。

音節というのは、例えば、pasis は pa と sis の2音節。jarar' も ja と rar' の2音節ですから、2つの音符にあてはめるのです。kort' は1音節です。これにあてはまる音符は、『く・と・せ』と3つ音符があるので、ko - - rt' と3つ分ひっばることになります。

ko ru to と余分な u や、終りの o をつけて発音すると、時には koruto という別の単語があるかのように勘違いされます。

A: むづかしいね。ko - - rt' は歌いにくい。

B: こんなの、どう?

おしえ のに わに も はやいく とせ

Ja pa- - sis ja- rar' sa- ge en ler- ne- ja - kort'

( - は、1音符分ひっばるしるし)



(以下 次号)



# VERDA MONTETO

Redaktita ĉe MAEDA Yonemi (dumonata) N-ro 70



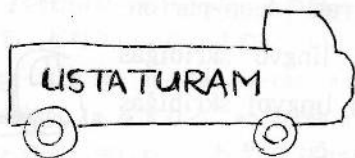
USTATURAM kaj CIMOTA



OKUMURA-Rinzo

Hodiaŭ matene, mi spektis la laboron de voj-konstrua kamiono de Urba Konstrua Administrejo. De antaŭ pluraj monatoj oni komencis plilarĝigi la vojon antaŭ mia domo, al 25-metr-larĝa avenuo kaj ĉiam bruas la operaci-maŝino.

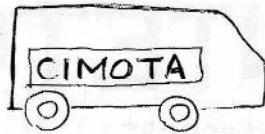
Hazarde mi rimarkis la skribon ĉe la flanko de la kamiono. Tie oni vidas USTATURAM. Kion ĝi signifas? Mi dubis mian okulon. Nomo de la laborkompanio? Ne japana, ne Esperanta, ĉu angla? Aŭ de ali-planeda lingvo?



Post kelkminuta profunda meditado, mi ekrememoris iun aŭto-ĉareton, iam antaŭe haltantan apud mia al-lerneja vojo, kun skribo CIMOTA ĉe la flanko. Eblus ke sam-idee farita skribo.

発見, 見物した。  
道路工事のトラック  
市建設課土木課, (局)  
拡張(すること)を  
騒音をとっています  
工事のキカイ  
偶然 横側面  
これどういう意味?  
自分の眼をうたがいました。  
よその窓屋の

思い出しました。  
小型車... なんか停っていた  
たぶん... あいよう  
同じ考え方で書いた 標示



Mi laŭiris ĉirkaŭ la kamiono kaj trovis sur alia flanko la ĝustan nomon de la kompanio, kun ĝia blazono.

ⓧ ! . . . La enigmo solvita.

Kaj dum mia vespera bano, mi rememoris la prelegon de profesoro TANAKA Ŝirô, lingvisto pri Araba Literaturo en Osaka Fremd-lingva Universitato, T.V.talento kun pseŭda nomo kaj kostumo Hassan Kahn, mia samlerneja posteulo.

Li prelegis pri Arabo ĝenerale, kaj epizodis :

Iu komercisto, intencanta negoci kun Arabo kaj profit-gajni, volis presi flug-folion en araba lingvo. Li, prudenta, petis al profesoro TANAKA revizii la ses-linian reklaman tekston, kiu tute konfuzis la profesoron kompetentan pri Araba lingvo. Ĉiu vorto estas komprenebla, sed la strukturo enigma, tute kaosa.

Post intensa pristudo(?), la talenta profesoro rimarkis, ke la ses-linioj estis originale trilingua, la komercisto duonigis, pro la limigo de spaco, ĉiun linion, kaj metis la dekstran parton sub la maldekstran duon-parton, pro tio, ke li ne sciis ke la araba lingvo skribiĝas de dekstre al maldekstre. Sufiĉe multaj lingvoj skribiĝas de dekstre al maldekstre, oni devas scii, ĉu ne?

En la mondo, ekzistas diversaj manieroj skribi: Iuj skribiĝas de dekstre al maldekstre, iuj de maldekstre al dekstre, kaj uj de supre al malsupre, sed neniu lingvo uzas manieron skribi de malsupre

トラックのまわりを歩いて歩きました。

紋章 → 商標

謎はとけました

講義

大阪外大

仮名・筆名 → 芸名

後輩

挨拶を話してくれました。

アラブ人と取引しようと

もうけようと、広告のチラシ

悪意深いで、鼻検することを

広告文

可能な

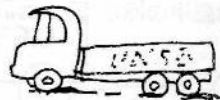
構文は謎で、混乱している

集中的な研究の結果

その文では

各行を半分に切つて

右の部分を左半分の下に



書き方

ある言語は上から下へ

al supre. Sed la mondo estas vasta, la universo estas  
senlima. Mi iafoje trovis en mia Japanio surstrate  
katakana-skribon de malsupre al supre, tute nature  
legita, tra la antaŭ-fenestro de ultra-rapida buso  
en iu aŭta ŝoseo, jene ER - AM - OT , plej proksime  
ER, sekve AM, plej fore OT. Oni senreziste legis ilin.

全く自然に読めた

超特急バス

いちばん遠くに  
抵抗なく

1992-02-22 Osaka

Polura diskutado por Esperantigi Japanan  
Kanton" Aogeba Tootoŝi"

## ” 仰げば尊し ” 推敲座談会 その2 (終り)

( Dankojn al Instruistaro )

C : こんなのもできます :

おしえの に わ に も は や い く と せ

Ja pa-sis ja-rar' sa-ge en ler- ne- ja kort'

司 : どちらもいいですね。この行では、ひっぱる場所が2つあるようです。 Bさんのひっぱり  
とCさんのひっぱりの一部入れ替えて組み合わせることもできます。ためしてみませんか。

皆 : (入れ替えて歌ってみる)

C : どれも同じように聞えます。

B : Cさんの en ler- ne- ja kort' は、ひっぱるところを le- ru- ne- ja と歌ってはダメで  
すね。でも ler- ne- ja はどう歌うのでしょうか。

司 : le- だけでひっぱって、ne のすぐ前に軽く r をくっつけるのです。

le- rne- ja kort'

D : やっぱり、ちょっと歌いにくい。

司 : エスペラントの歌にはよく出てくる形です。慣れていただかねば . . .

2行目も、どれがいいか、きめにくいようですね。 こんなのでしょうか？

Ja pa-sis sa-ge la ja-rar' en ni- a ler-nej-kort'

jarar'の前に la を入れる。en lerneja kort'に nia を入れ、lerneja の a をとって、  
kort' と合成しました。これで、ひっぱるところがなくなりましたが。

B : lernejkort' は発音がいそがしいです。

司 : その上、作った本人でも気に入らないのは、

おしえの に わ に も

Ja pa-sis sa-ge la ja-rar' のところ。

日本語の歌詞では「おしえの」でことばがちょっと切れているのに、私のエス訳では、



の、に わ に も

sa-ge la ja-rar' とくっついてる感じがどうも落ち着きません。

こんなことまで考えてると、エス訳はいよいよむづかしくなるのですが。

司：3行目はどうですか？

皆：（小声で歌ってみる）

B：これはいけますね。このままでいいです。

C、Ĉ、D：さんせいです。

司：そうですね。これはこのままでいけます。



奥村先生クシャミしておられると思いますが、投稿のお手紙では、『拙訳を材料にして、火花の散るような、けんけんごうごうの（笑い）討論会を期待します。』とありました。だから遠慮なく意見を出してください。

（epizodo）

” 仰げば尊とし ” は以前にエス訳されたものに、松葉菊延さんの（第1行）

Ho, estu glor' al penlabor' de la instruistaro

というのがあって、これだと発音がちょっと忙しく歌いにくいというので、奥村先生は、お気に入らないのです。それで思いついて、ご自分でエス訳されたそうです。

司：第4行にうつります。どうでしょうか。

B：音符に歌詞があてはまり、ひっぱるところはないのですが、Adiaŭ の Adi で (a)フェルマータと (v)息つきになって、Adiaŭ がちぎれてしまうのは、ちょっといやですね。

司：この行は、奥村先生も苦心されたようで、nu とか ja をはさんでいますね。

B：こんなの、どうでしょうか。

いまこそわかれめいざさらーば

Nu, ni — ja dis-i- — ĝu Adi-aŭ sa- non al vi

司：ああ、それもいいですね。Adiの2音節を、『いざさらば』の『い』の1音符にあてはめました。ちょっと忙しい感じもしますが、Adiaŭ は平素なじみ深い言葉ですから。でもちょっと惜しい気もします。ここまではやさしい単語で、ひっぱりを入れながらも、歌いやすく1音符1音節でやってきたのに。

C：はじめの Nu ni — ja の ni のひっぱりはどうも私には、エスペラントらしくないような気もします。

司：そういう感じもうなずけます。どうもこれは、最終決定案を出すのは いよいよむづかしくなりました。どれでもよいような、よくないような。いや、よいとか悪いという問題ではなくて、歌いやすいか、やすすくないか、好きか嫌いか、感覚の問題になってきます。私たちは、ひっぱるところをどこにするかを問題にしてみました。これも感覚の問題で、人によってそれぞれ違うでしょう。そうなるをやっぱり、原訳者奥村先生の感覚で統一していただいた方がいいと思います。どうでしょうか？

B: 奥村先生は、私たちでも歌いやすい、やさしい単語で、のんびりのぼしながら訳されているように感じました。

C: 私もそう思いました。だから私たちがあんまりいじくと、それがこわれていくような気がします。

司: 私も賛成です。奥村先生は、『自由に書き直して、木曜婦人の手で poluri したことにして発表する』よう言ってますが、私たちの 에스ペラント力ではちょっと無理。でも、今日はいい勉強ができました。せっかくの皆さんの意見ですから、併記して、その中から、奥村先生のお気に入りのものを選んでいただいて、まとめていただくのは?

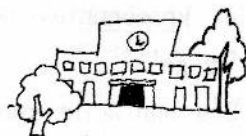
D: 結構です。なんてちょっとえらそうに言ってもいいのかしら。(笑)でも結局は、前田先生と奥村先生におまかせします。

皆: お願いします。どんなの出来るか、たのしみになってきました。

司: では皆さんの意見を併記して、奥村先生に送って、校閲点検していただくことにします。ご苦労さんでした。

## あおげばとうとし

Adore ni vin dankas



Trad: OKUMURA-Rinzo

作詞・作曲者不明☆

♩ = 112  
*mp*

1 あおげばとうとしわがしのおん -  
2 あさゆうなれにしまなびのまど -  
A-do-re ni vin dan- -kas, ka-ra ins-tru-is-tar' -

おしえのにわにもはやいくとせ -  
はたるのとしび。つむしらゆき -  
Jam pa-sis ja-rar' sa- -ge en ler-ne-- ja kort' -

*mf*

おもえばいととしこのとしつき -  
わするるまぞなきゆくとしつき -  
E-mo-ci-e me-di-tas ni je-flu-gode ja-rar' -

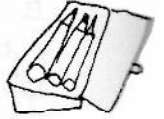
*rit* *mp* *a tempo*

1-2 いまこそわかれぬいざさら - は -  
Nu ni - ja di-si-gu -, A-di-aŭ.Sa-non al vi!





Adore ni vin dankas, kara instruistaro!  
 Jam pasis jararo! sage en lerneja korto!  
 Emocie meditas ni je flugo de jararo!  
 Nu ni ja disiĝu. Adiaŭ! Sanon al vi!



### Postparolo de la reviziinto

Kiel vi jam certe scias:

Kantoj Esperantaj, havantaj multajn vokalojn, kvankam  
pli malmulte ol la japana lingvo, estas kanteblaj  
 kaj aŭskulteblaj, precipe ĉe silaboj konsistantaj  
el konsonanto+vokalo, kiel japanaj vortoj, ekzemple  
 'sa-ge'.

Sed malfacile kanteblaj kaj pli malfacile aŭskulteblaj  
 ĉe silaboj konsistantaj el vokalo+konsonanto,  
 vokalo+konsonanto+konsonanto, konsonanto+vokalo+  
 konsonanto+konsonanto, kaj aliaj, ekzemple:

'-as', 'ler', 'kort', 'iam', 'flustr'.

母音

日本語よりは少いけれど  
 聞きとりやすい  
 音節・シラブル  
 で組み合わせられている  
 子音+母音

### § Ŝintoismo - 3

Sed en la japana socio la rolo de la impriestro,  
kaj teorie kaj praktike, estis gvidi ŝintoismajn ritojn  
kiel ankaŭ ŝtatajn aferojn. Do, la budhismo, kiu emfazas  
 la ideon pri la transmigradon de animoj kaj la ekzisto  
 de absoluta estaĵo, supera al la imperiestro, minacis  
 eĉ la fundamentojn de la japana ŝtato. Pro tio la  
apogantoj de la budhismo devis montri, ke ĝi povus



天皇の役割  
 理論的にも、实际的にも  
 神道の祭りを主宰すること  
 國家的行事として

支持する人々

esti avantaĝa por la ŝtato, kaj por tiu celo estis tre oportune, ke la frua budhismo estis de la mahajana speco, kiu okupas sin pri la bonfarto de la ŝtato, pli ol aliaj variaĵoj.

Dumtempe, tiuj je la flanko de la ŝintoismo klopodis ŝanĝi ĝin de delonge primitiva religio en religion kun filozofio kaj strukturo, kiuj ebligis al ĝi konkurenco kun budhismo. Tio estis la komenco de la transformo de la ŝintoismo en ŝtatan religion, kaj tio signifis, ke la budhismo kaj ŝintoismo ne tiel multe kuniĝis, sed restas du paraleraĵoj en Japanio. Poste, dum la Edo-periodo, preskaŭ ĉiuj japanoj havis kontaktojn kun la budhismo, ĉar la budhismaj temploj respondeis pri la gvidado de enterigaj ritoj, dum la ŝintoismo restis la religio de la ĉiutaga vivo de la popolo.

La fenomeno de la altgrade sistemigita kaj organizita religio, superkuŝanta sed ne anstataŭanta primitivan religion, troveblas ankaŭ en la historio de la disvastigo de la kristanismo kaj islamo. Sed eĉ sen konsideri la ekzemplojn el la romia kaj saracena imperioj, troviĝas multaj okazoj, kiam novreligiaj regantoj transprenis de la malnovreligiaj regintoj, kaj dum nova religio disvastiĝas inter la popolo, la malnova estas grade puŝata fonen kaj subpremata, pluvivonta nur kiel eraĵoj praktikoj, alprenitaj en la novan religion. Kompare kun ĉi tiaj okazoj, la kunvivado de la budhismo kaj ŝintoismo provizas per granda kontrasto.

KOYAMA Syuzo

Docento(siatempa), Nacia Muzeo pri Etnologio.

(fako) Prahistorio

利便がある

大衆的

たずさわる

他の宗教の変形



長期にわたる原始宗教  
(から脱して)

をわた、…のある

改造

国家宗教への

それほど多く(深く)結合  
することなく

2つの併立する宗教

江戸時代

に責任をもってうけつた

埋葬儀式の主宰

高度に系統化され組織  
化された

支離的でありながら原始  
宗教にとつてかわっていない

を 考えないにしても

受け継いだ(時)

ある程度

うるへおしやられ抑圧された  
生き残つていった  
祭り行事の部分的なもの  
としてだけで"

大きな対照となっている

INTERNACIA MAGAZINO SENDEPENDA と、国際情報  
の不偏中正をめざした ” Monato ” 誌  
は、1992年1月号から編集者が替わりまし  
た。

12年間、編集長をつとめていた Stefan  
Maulは、年令と健康状態を理由に、編集のしご  
とを、仲間にゆずりました。新しい編集 Stabo  
は、今まで編集を分担していた人達に新人を加  
え、15人の名前が1月号に出ています。Ste-  
fan Maulは完全に引退せず、続けて El mia

vidpunkto という欄を受け持ち、各国特にヨー  
ロッパの政情を彼らしいことばで解説してい  
くようです。

3月号から、小さな記事を2つ紹介します。  
leterojという、読者、通信者の自由な誌上討  
論の欄から。左の小さい記事は、本誌の Sin-  
toismoにちなんで、『宗教に於ける toleremo  
について』、右は、日本の Monato 通信者ヤマ  
サキ・セイコーさんの、Monato礼賛。

### Sendia civilizo (2)

Al Amily en sia teksto (MONATO,  
1992/1, p. 9) diras ke Islamo estas  
universala, tolerema religio-kulturo.  
Uzante la vorton „tolerema” la aŭtoro  
atestas, ke li ne komprenas la signi-  
fon de tiu vorto. Preskaŭ al ĉiuj religioj  
mankas toleremo. (Pro tio la oftaj reli-  
giaj militoj.) Sed Islamo estas ne nur  
netolerema, sed sklavige postulema.  
Kiel nomi religion kiu devigas virinojn  
kovri la kapon kaj eĉ vizaĝojn? Ĉu tio  
estas toleremo, ke eĉ virinoj ne isla-  
maj kiuj restadas en ekzemple Irano  
devas kovri la kapon? Ĉu tion vi no-  
mas toleremo? Mi nomas ĝin despot-  
ismo. Feliĉe mi loĝas en lando kie  
vere regas toleremo.

Mila v.d. Horst-Kolinska, Nederlando

### Ĝoige frua alveno

Mi miris, ricevante la januaran nu-  
meron la 21an de januaro. Tio estas  
rekordo, pri kio mi gratulas vin. Ĝi  
estas la unua bonaĵo de tiu numero,  
kaj la dua estas ke la fakoj estas  
bone aranĝitaj kaj nete titolitaj. Trie,  
prononcindikoj en krampoj (imitinda  
tradicio de MONATO) estas provizitaj  
preskaŭ senescepte per akcentmar-  
koj. Kvare, familiaj kaj individuaj no-  
moj estas vicigitaj kiel en ĉies pro-  
praj lingvoj: mi pensis ke ZAMENHOF  
Ludoviko ne tre plaĉus al li ĝuste  
kiel mi ne tre amas mian familian  
nomon metita post mia individua.  
Des pli necesa estas indiko de la fa-  
milia per versaloj (kiel kutime faras  
MONATO). Kvine, la prezento de la  
fondinto de la magazino en la kolo-  
fono ĉekomence de la ekzemplero:  
Stefan MAUL meritas tian trakton kiel  
Berthelot en *Esperanto*, Liebknecht  
kaj Hasencleven en *Vorwärts* kaj  
Jaurès en *L'Humanité*.

Yamasaki Seikō, Japanio

